

ORIGAMI

TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価600円



クローズアップ Close-up

「ガブリエル」制作過程 —魅惑の(?)64等分蛇腹—

Why "Gabriel" is Attracted to the Pleats
with the 64ths

北條高史

Hojyo Takashi

折り図 Diagrams

ジャイアントパンダ

Giant Panda

マーク・カーシェンバウム

Marc Kirschenbaum

展開図折りに挑戦! Crease Pattern Challenge!

ガブリエル (第三作)

Gabriel (Version 3)

北條高史

Hojyo Takashi

イベント情報 Event Information

第10回記念 折紙探偵団 国際コンベンション直前情報

Information about 10th anniversary
Origami Tanteidan International
Convention

連載折り図 / Thematic Series with Diagrams

やわらかユニット物語 川村みゆき

The Stories of Mellow Units Kawamura Miyuki

おりかみ我楽多市:やまぐち真

Origami Odds and Ends Yamaguchi Makoto

通巻 **86** 号



川村みゆき
Kawamura Miyuki

第8話 ユニットとくすだま Unit and KUSUDAMA

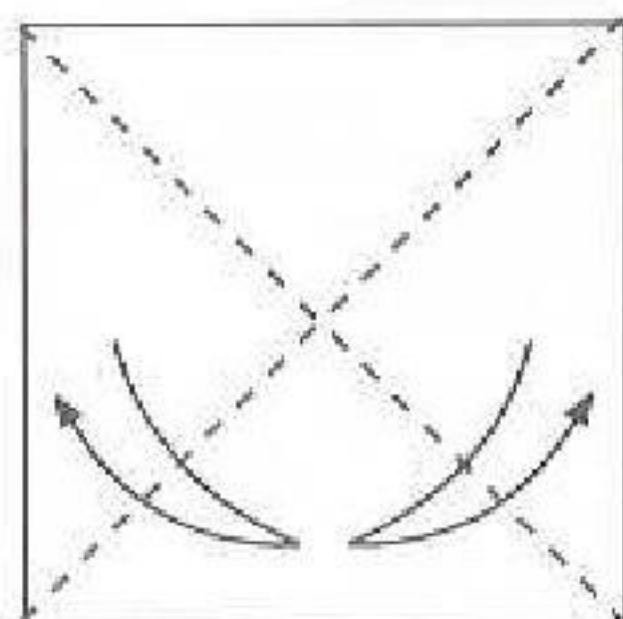
伝承のくすだまは部品の凹凸が歯車のように互いにはまり込んで、まとめたときに型崩れをおこさないようになっています。ユニット作品でもそんな構造を持つものは作れないかと考えてみました。

A model of the traditional "Kusudama" is stable, because the modules are locked into each other like gears. So I created a unit model with a Kusudama's structure.

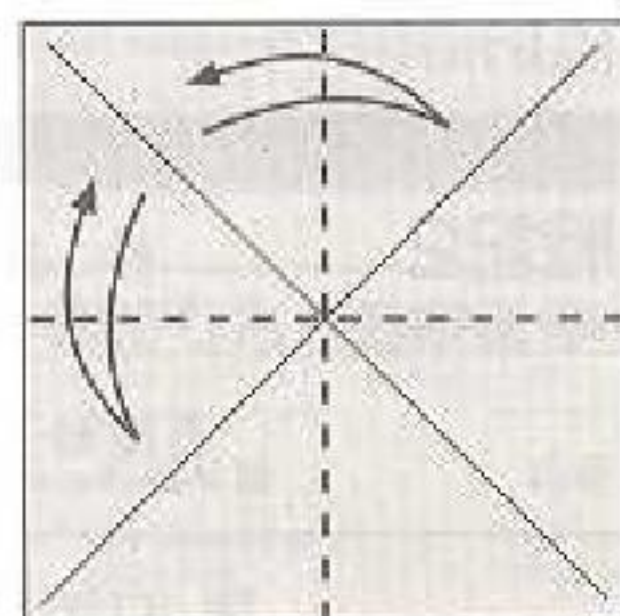


【スター・クレマチス】 STAR CLEMATIS

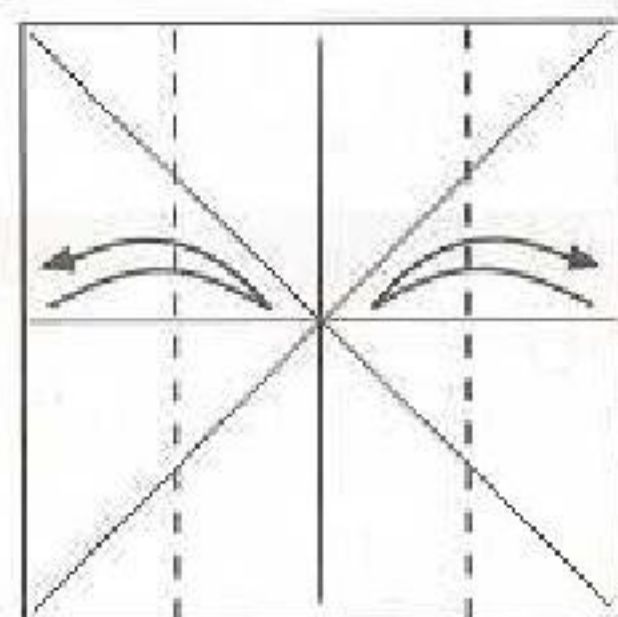
©2004 Miyuki Kawamura
Created 20030622



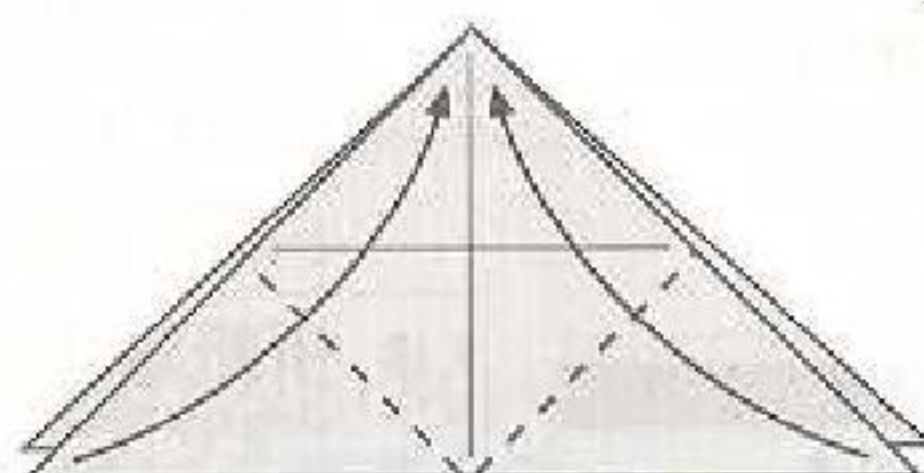
①



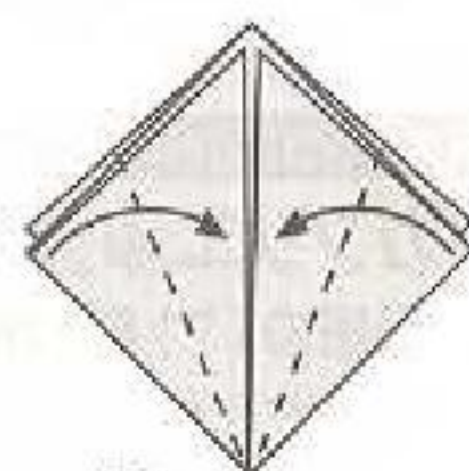
②



③

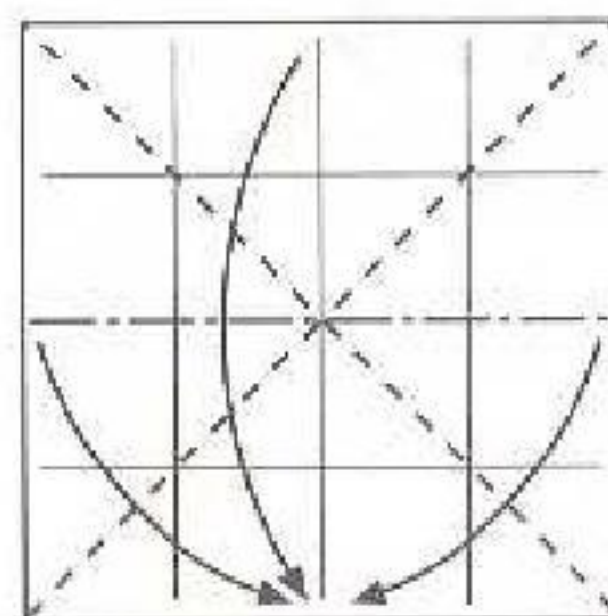


⑥

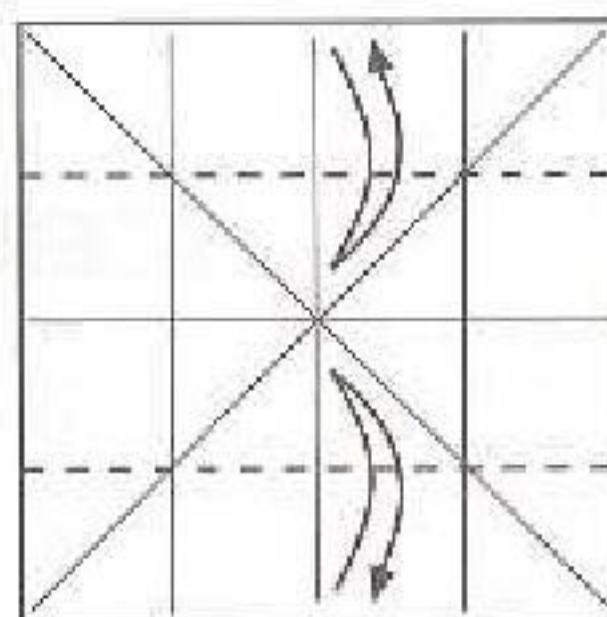


⑦

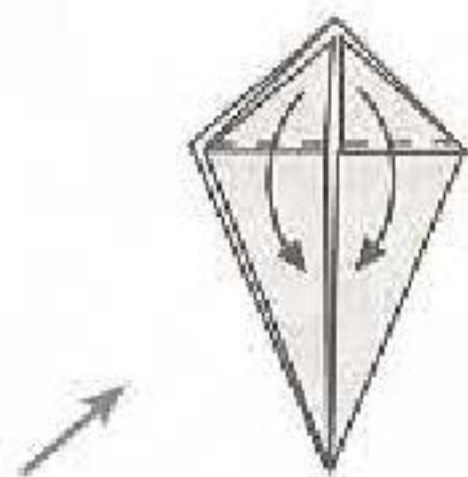
裏も同じ。
Do the same on the reverse side.



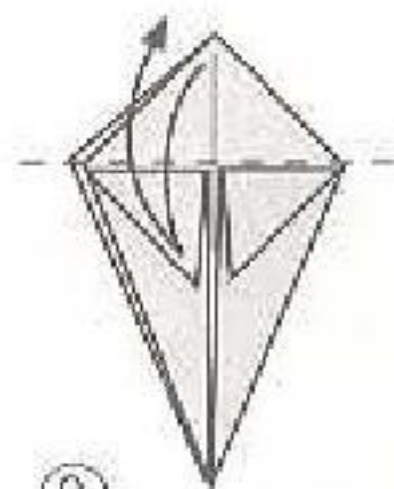
⑤ 風船の基本形。
Make a water bomb base.



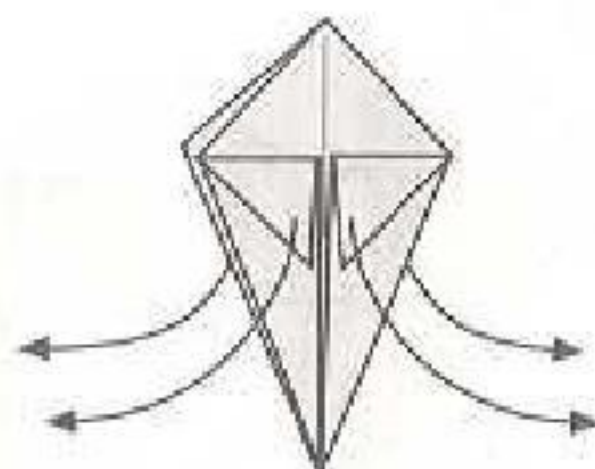
④



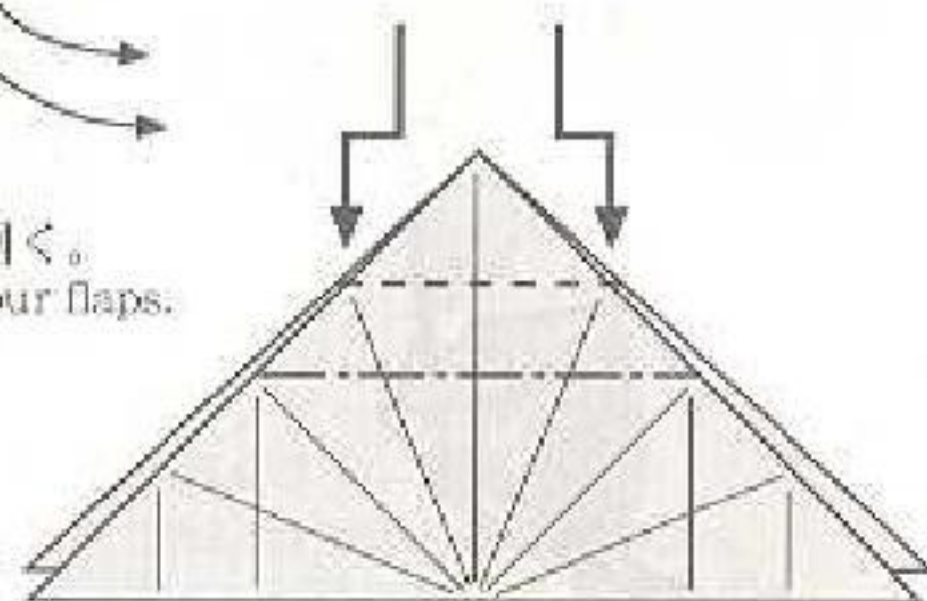
⑧ 裏も同じ。
Do the same on the reverse side.



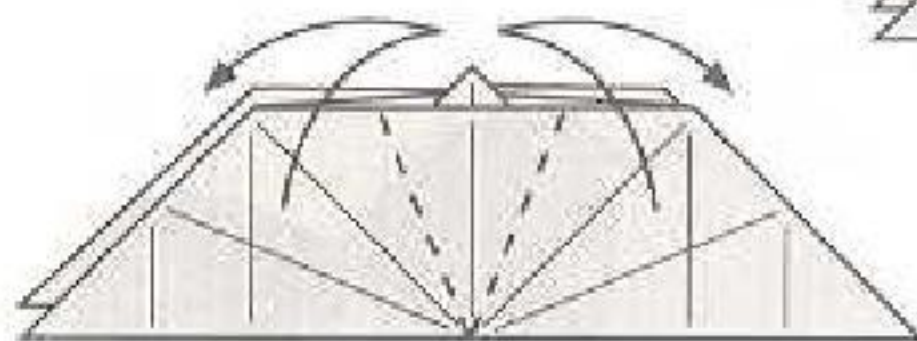
⑨ 折り目をつける。
Fold and unfold.



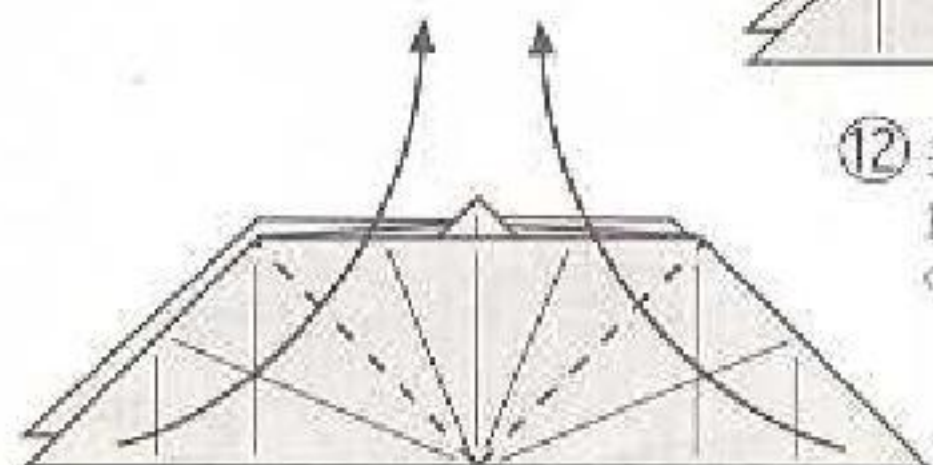
⑩ 4つの角を開く。
Unfold the four flaps.



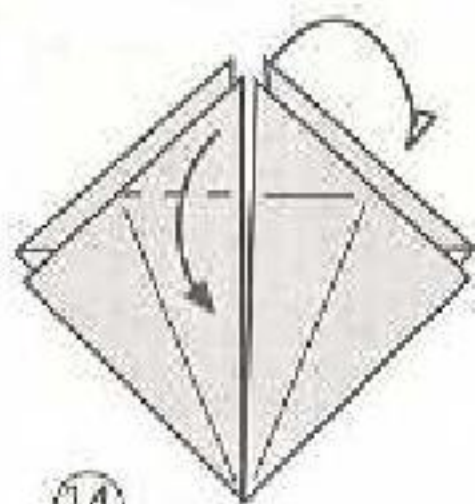
⑪ 沈め段折り。
Open sink in and out.



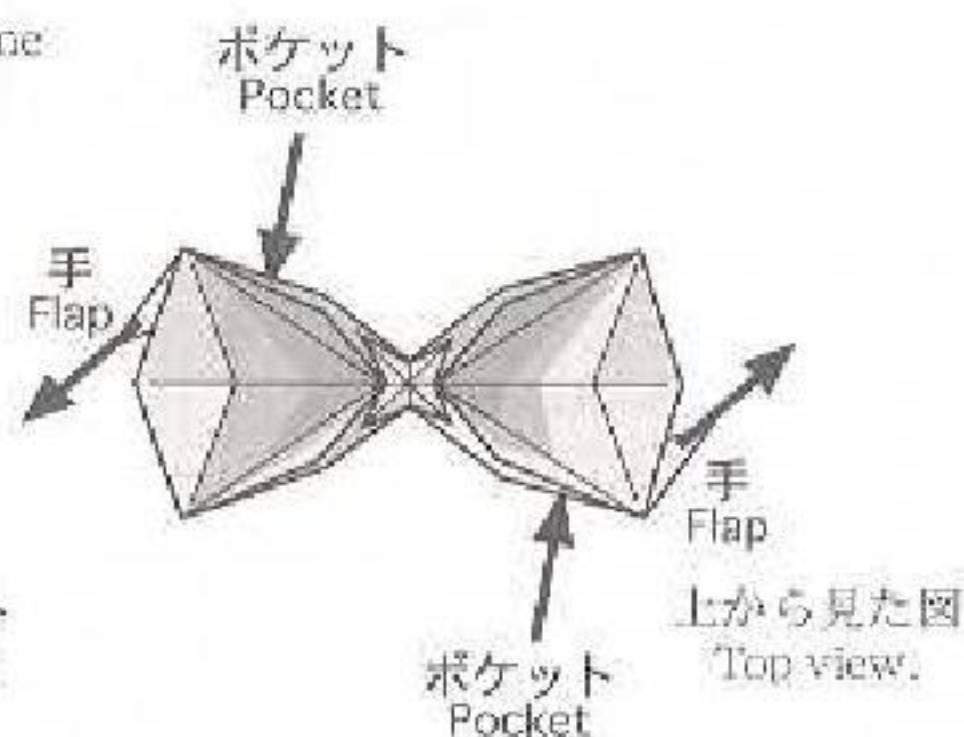
⑫ 折り目をつける。裏も同じ。
Fold and unfold. Do the same on the reverse side.



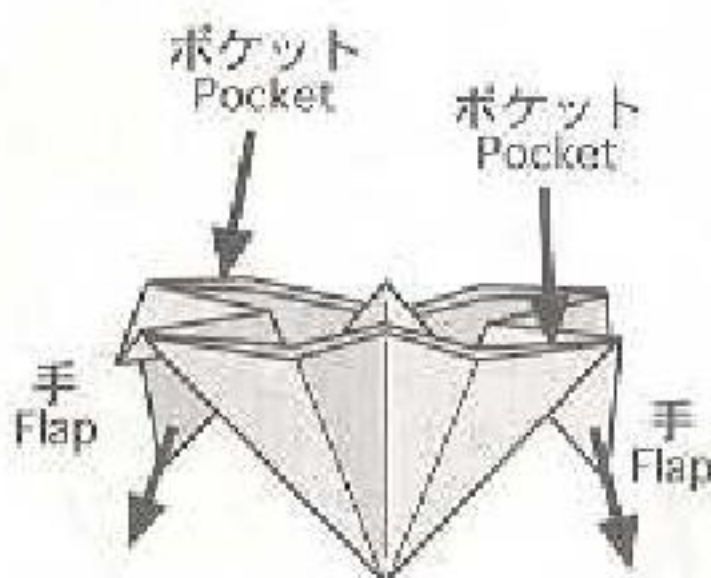
⑬ 角を折り上げる。裏も同じ。
Fold up the two flaps. Do the same on the reverse side.



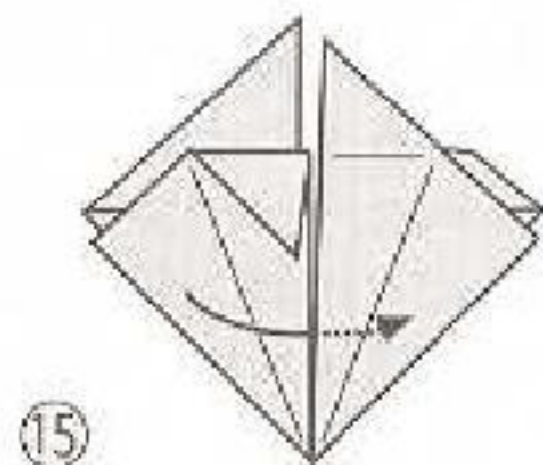
⑭



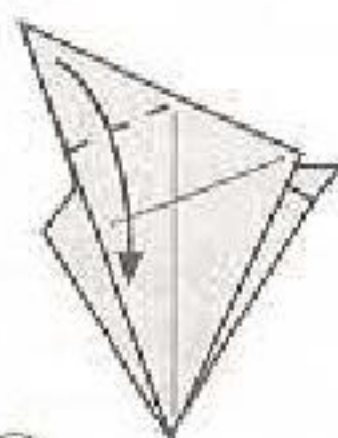
「スター・クレマチス」のユニット
The STAR CLEMATIS unit
同じものを 30 枚作ります。
You need 30 units.



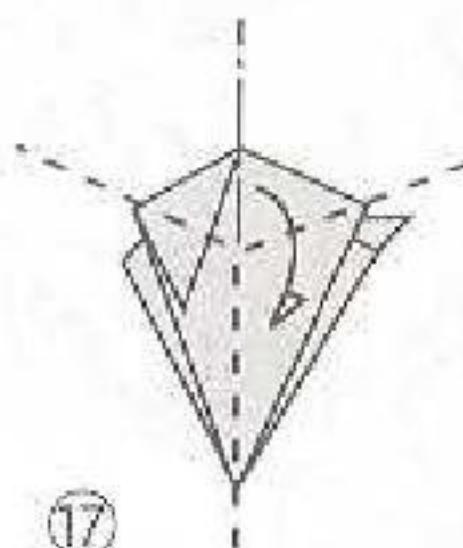
横から見た図
Side view.



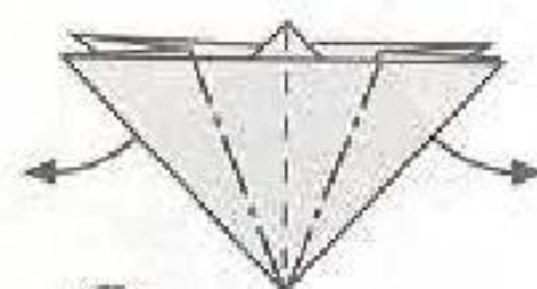
⑮ 隣のポケットに差し込んで立体化する。裏も同じ。
Tuck the flap into the pocket. The model becomes 3D. Do the same on the reverse side.



⑯ 裏も同じ。
Do the same on the reverse side.



⑰ 中割り折り。裏も同じ。
Reverse-fold. Do the same on the reverse side.

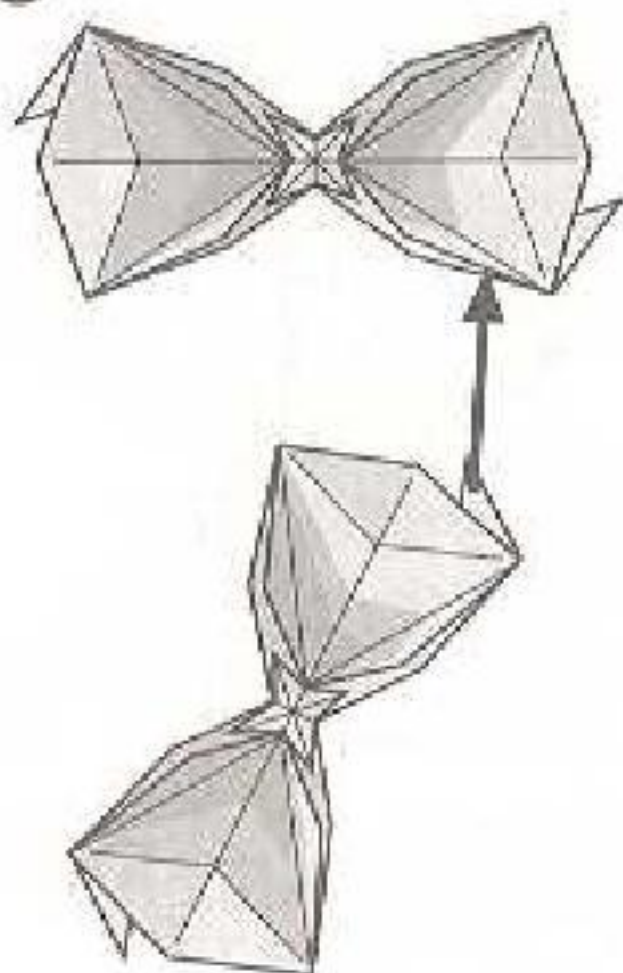


⑱ 横から見た図。少し開く。
Side view. Open a bit.

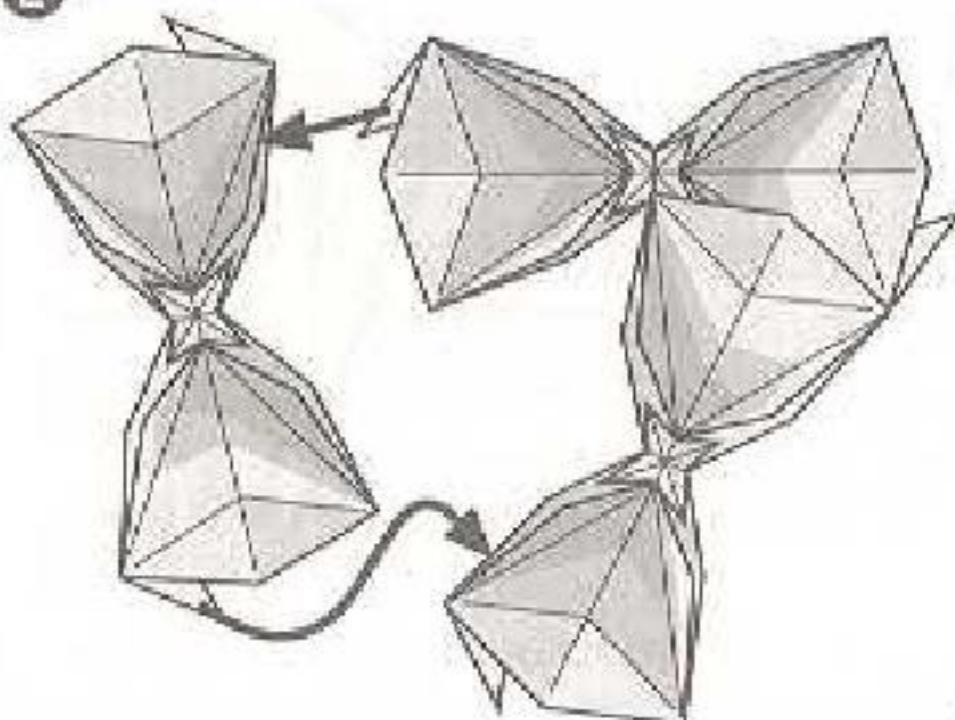


組み方 / Assembly

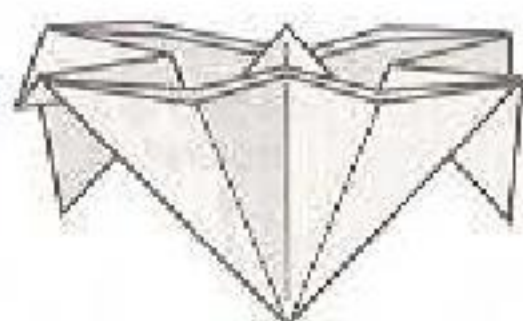
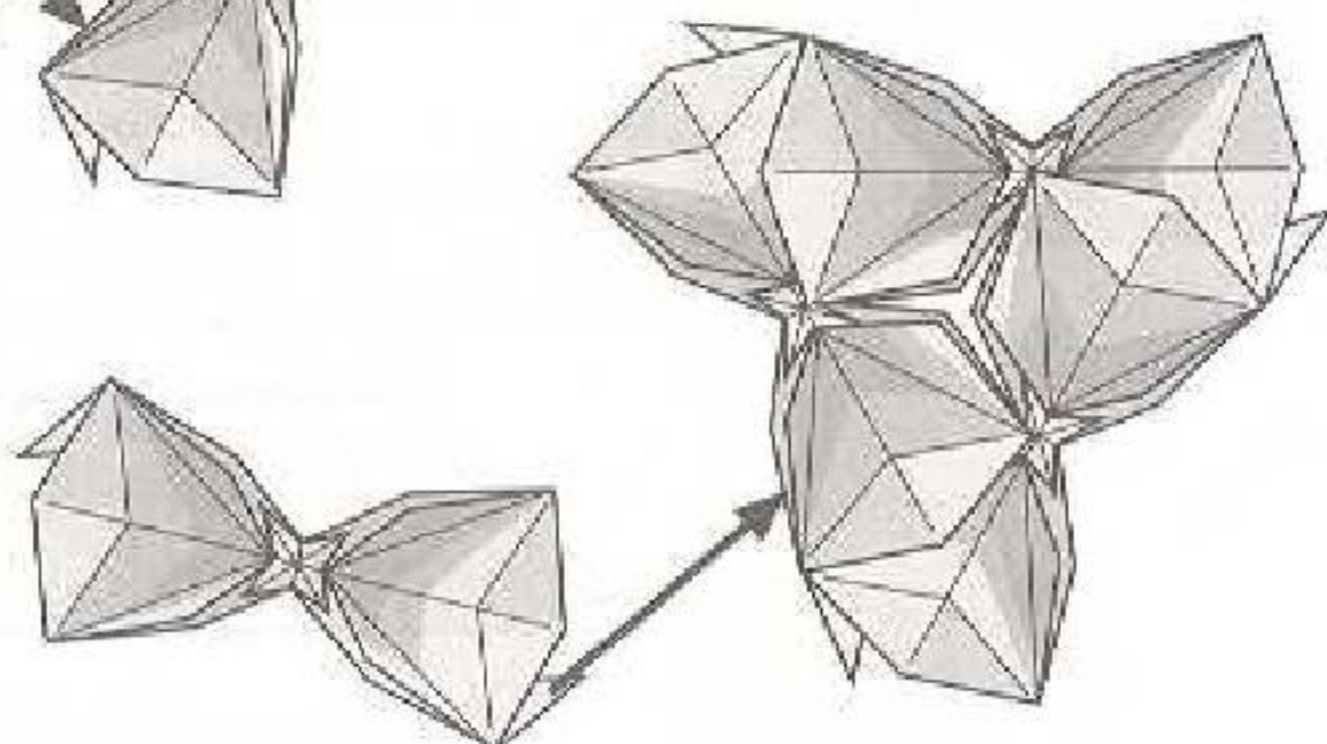
1



2

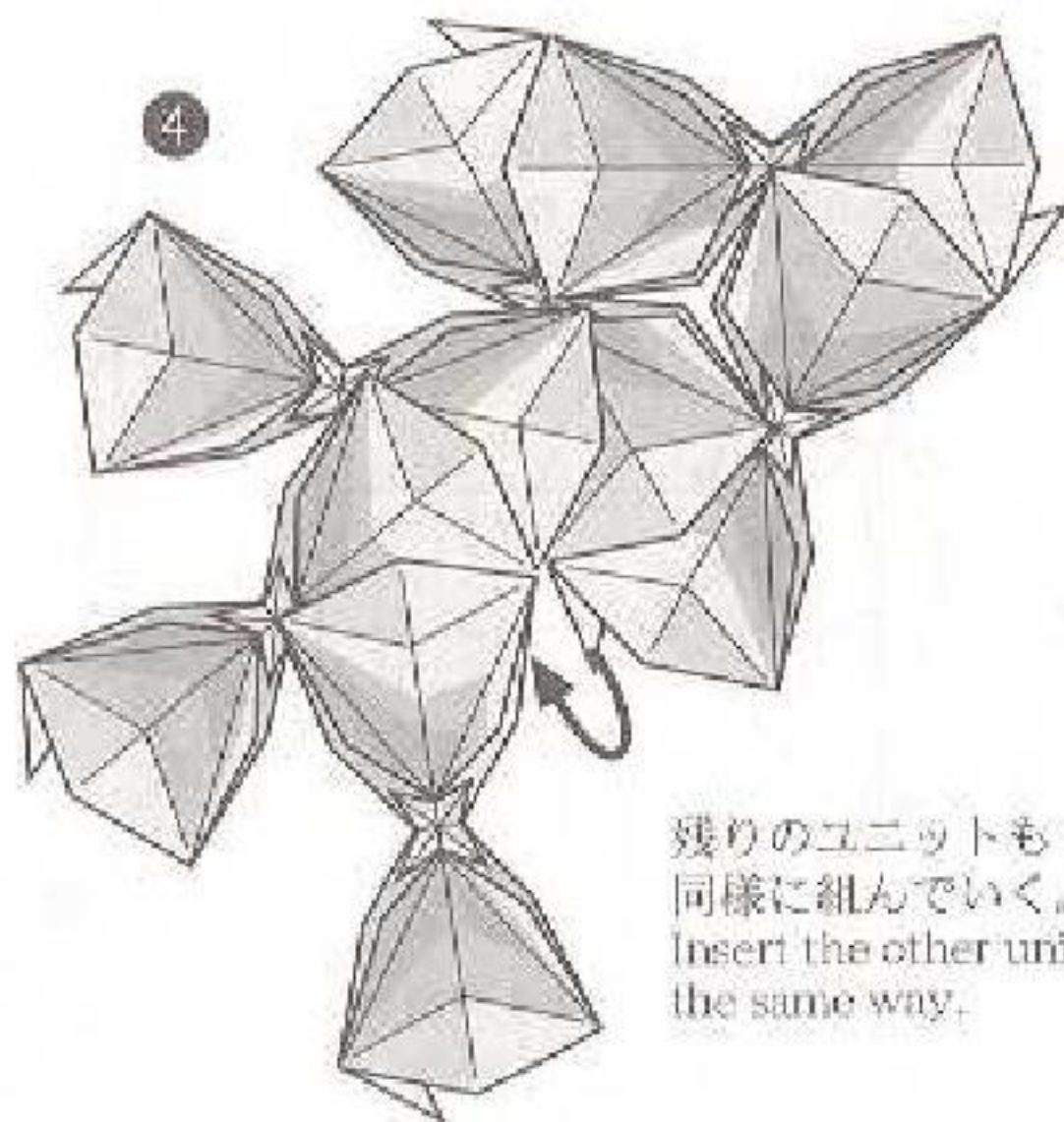


3

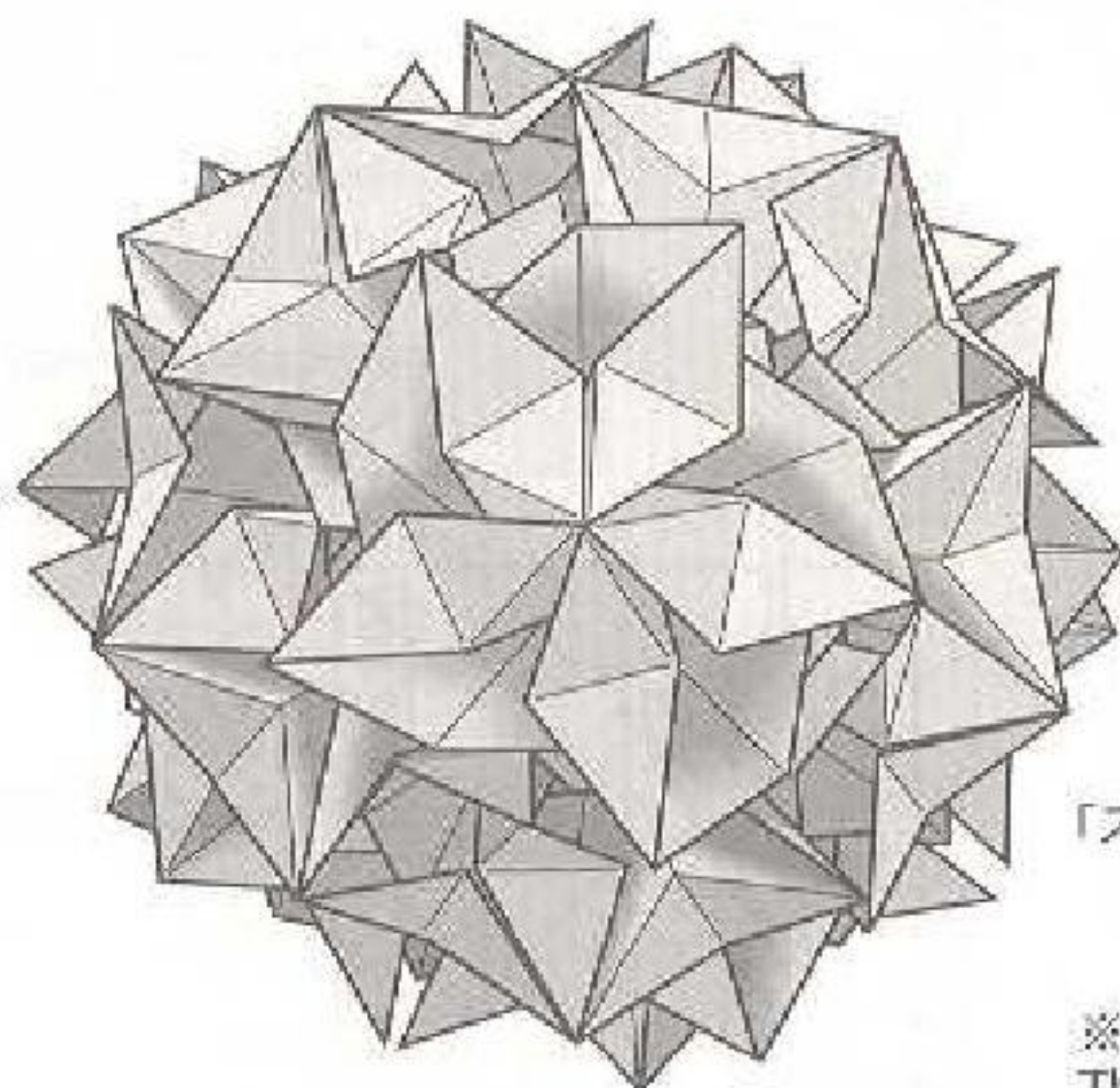


この部分は立体の
中心に集まります。
This point is set on the
center of the model.

4



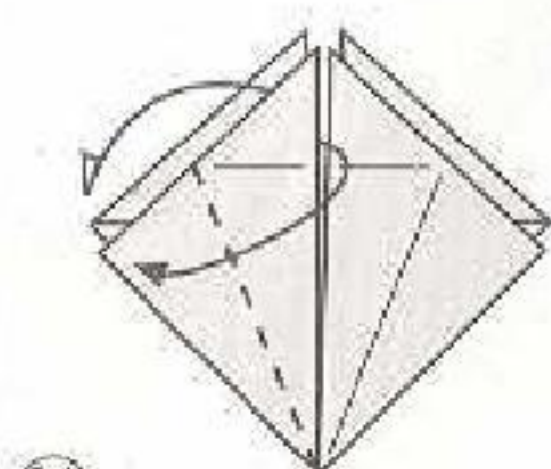
残りのユニットも
同様に組んでいく。
Insert the other units
the same way.



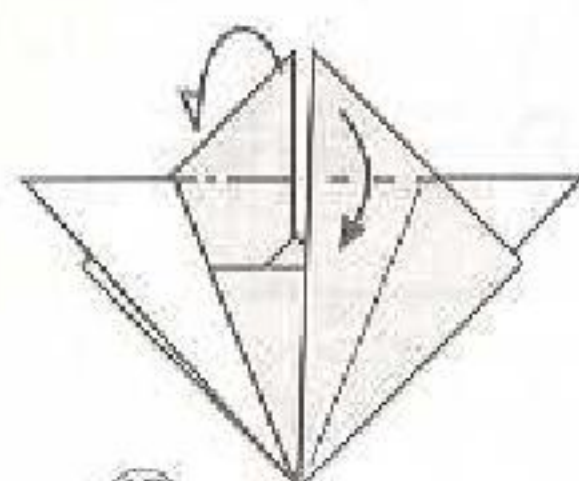
「スター・クレマチス」 30 枚組
STAR CLEMATIS
30 units

※ 6 枚、12 枚では組めません
The model with 6 and 12 units
are impossible to make.

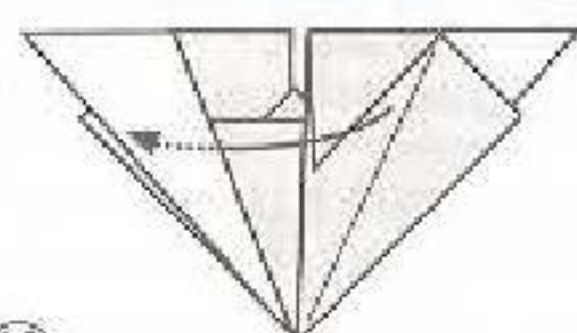
模様変わりのユニット An arrangement



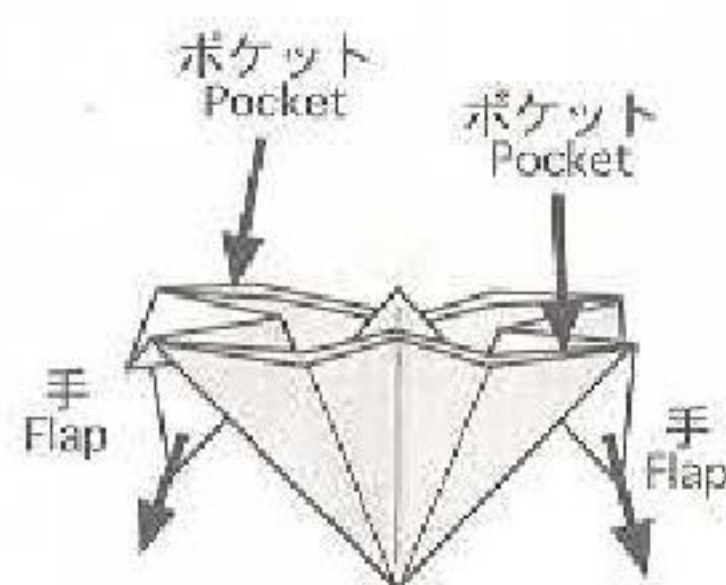
- ⑭
「スター・クレマチス」の⑭から。
左側だけかぶせ折り。裏も同じ。
Start From step ⑭ of STAR CLEMATIS
unit.
Wrap the left flap. Do the same on the



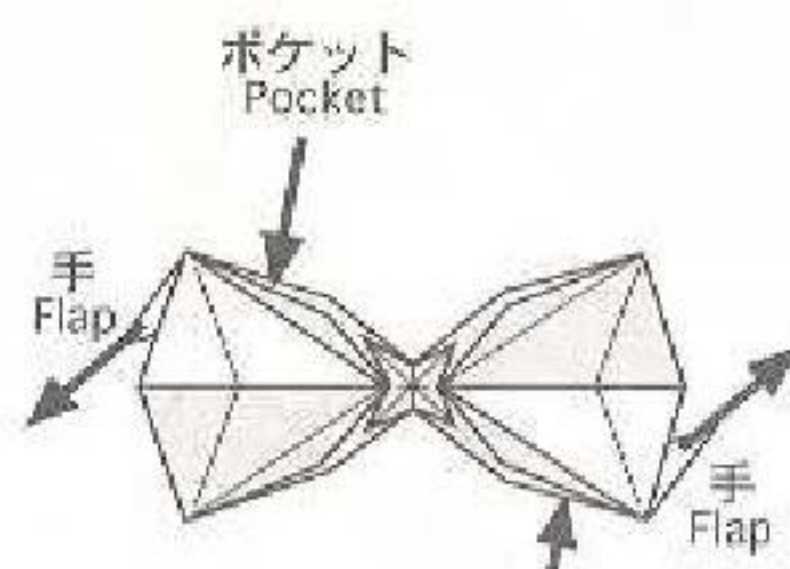
⑮



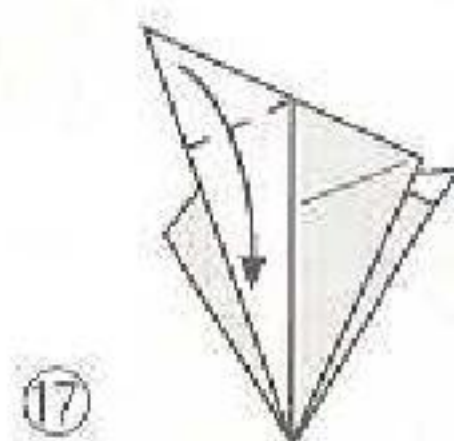
- ⑯
隣のポケットに差し込んで
立体化する。裏も同じ。
Tuck the flap into the pocket.
The model becomes 3D. Do the
same on the reverse side.



横から見た図
Side view.



上から見た図
Top view.



- ⑰
後は⑯～⑰と同様に折る。
Do ⑯ to ⑰ of the
original model.

橘基の 折り紙ビギナー奮戦記2

Another Origami Beginner's
Struggles and Agonies

第7回 海外遠征

I Did Not Go Abroad for Origami!

5月に丸1ヶ月、出張でアメリカのシアトルに滞在した。今回は妻も同行である。事前に探偵団の方から現地在住の折り紙関係の方を紹介していただいたおかげで、運良くシアトルとそれにバンクーバー、2つの折り紙グループの例会に参加するという幸運にめぐまれた。というわけで今回は初の海外レポートである。と言っても僕自身なんら変わることはないのだったが、。

シアトルに着いて2週間が過ぎ、妻がようやく連絡をとったのが探偵団から紹介していただいた早津さん。以後帰国までの2週間、実にお世話になっ

た。偶然にも連絡を取った次の日に例会があるという。またとない機会なので妻はともかく私までもが厚かましく参加させていただくことになった。日本の例会でもいつも緊張するのに、初めての海外の例会。一体どんなだろう?と内心ドキドキで臨んだ。

会場は町の図書館。場所は月ごとに変わるらしい。案内された一室にはもうすでに数名の人が集まっていた。気さくそうな方ばかりで安心した。一通り挨拶を交わすともう早速折り紙の話に突入。これは全世界共通のようである。共通と言えば会の進め具合もそうで、講師が1人いて作品を皆に教える。その日の講師のモルデンさんは新作のユニット折り紙を教えてください。探偵団の例会のたまものだろうか、割とそつなく完成! モルデンさんにしても1週間後に行ったバンクーバーの例会にしても、講師の方の説明が平易で分

かりやすいのが印象的だった。プレゼンを重要視するこの国ならではの。作品の紹介後はこれまた探偵団の例会同様、折り紙に関する話題、あるいは本や新作品の披露などなど。1人フランス人の少年が来ていて、その子が色んなことを質問しながら折っているのが面白かった。その質問に真剣に答える他の人の姿勢は、教育とはかくあるべしと思わしめた。こうして子供は大人へと成長するのだろう。

バンクーバーの例会ではウーさんと会えたのが嬉しかった。夏のコンベンション用にウーさんが準備しているという妖怪折り紙の試作品も見せてもらった。

仕事以外に折り紙でも楽しめたシアトル滞在。早津さんを初め多くの方々にお世話になった。改めて出会いの大切さを感じた。

第8回 正方形一枚折りの三角箱

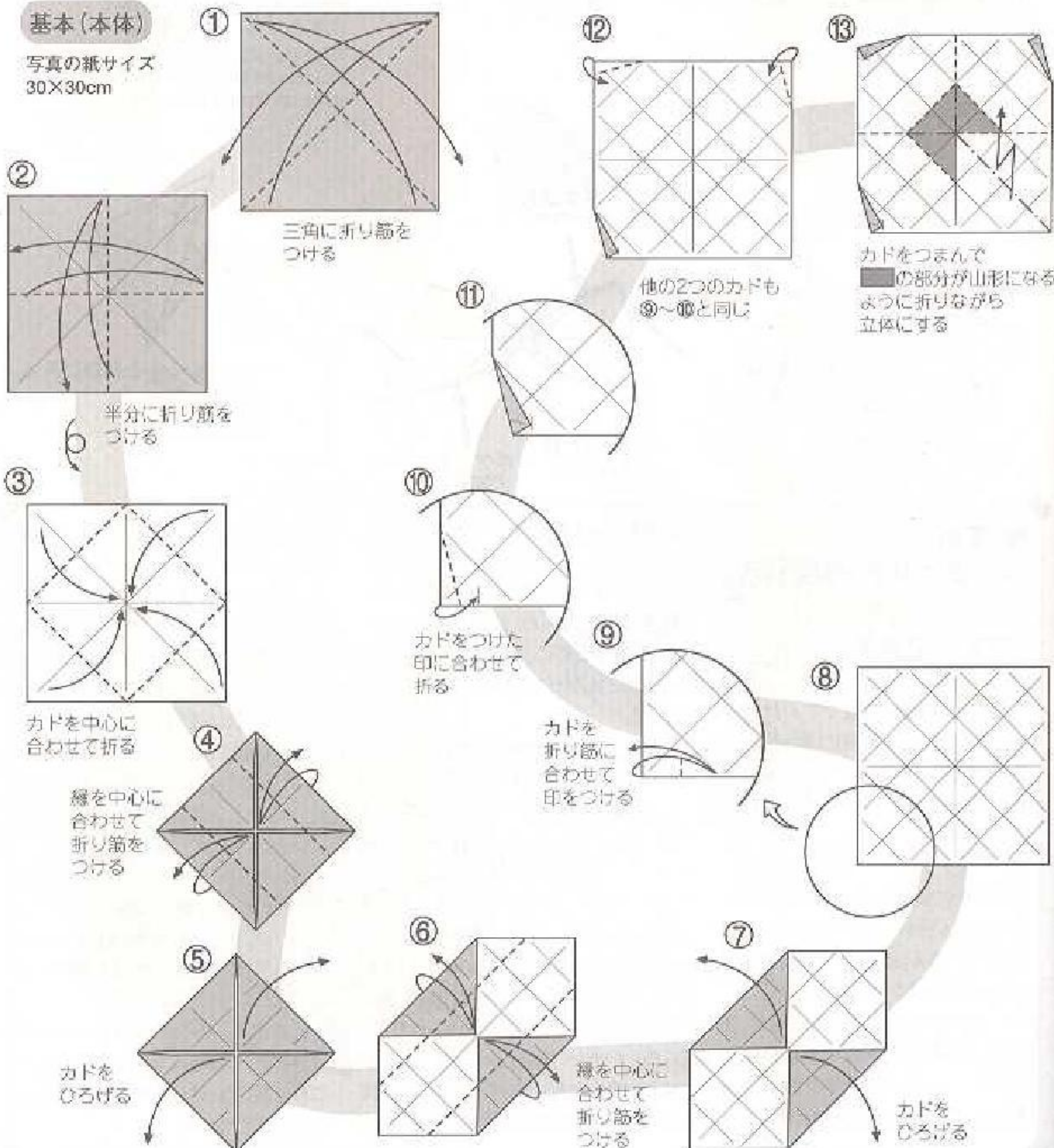
Triangular Box from an Uncut Square Sheet

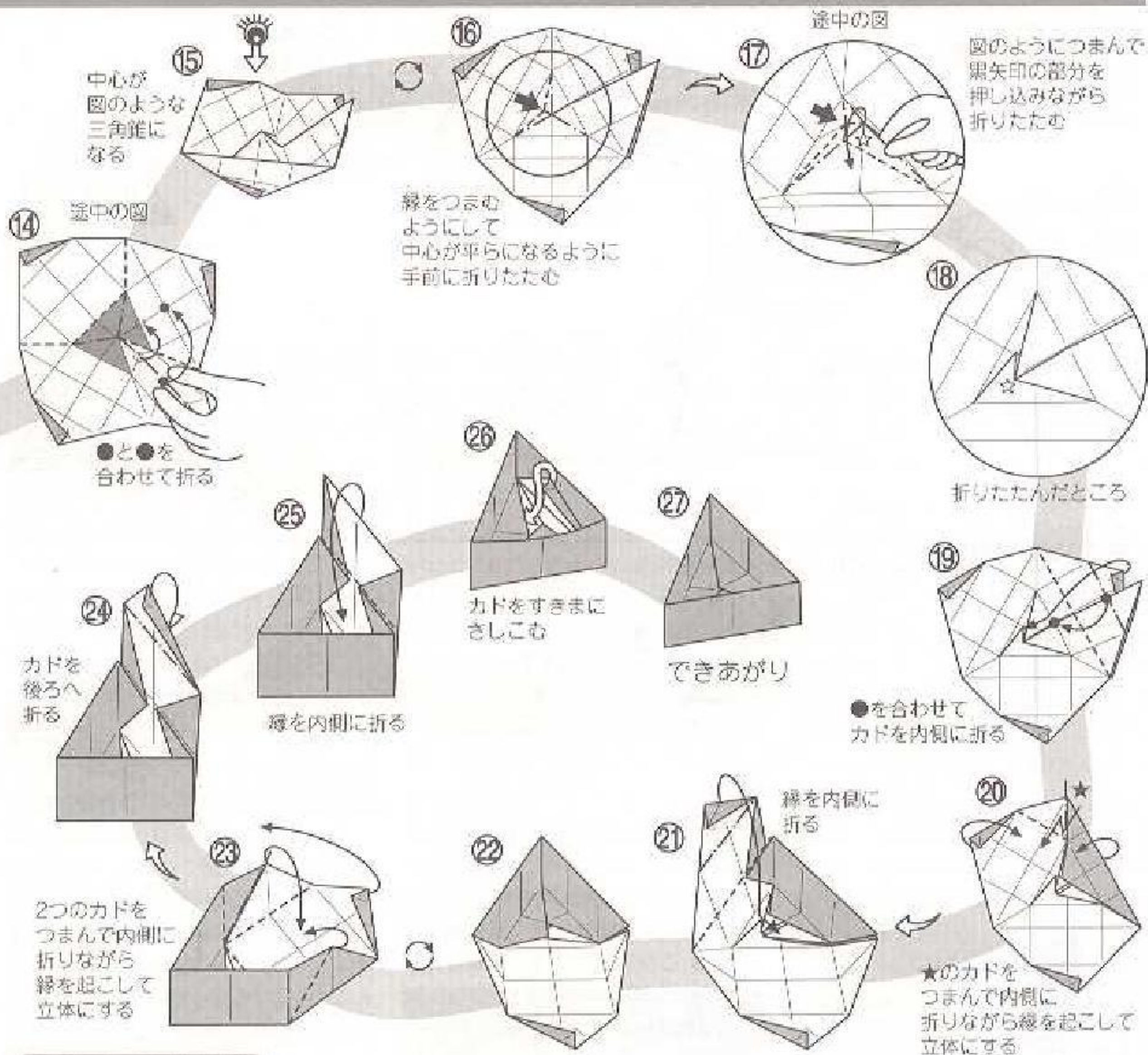
伝承の「重ね箱」の三角バージョンです。この作品は、先日のNYコンベンションで、P.10の「三角皿A」を講習中に思いつきました。本当の基本はお皿の方なのですが、1つのシリーズにまとまったので、ご紹介します。



基本(本体)

写真の紙サイズ
30×30cm

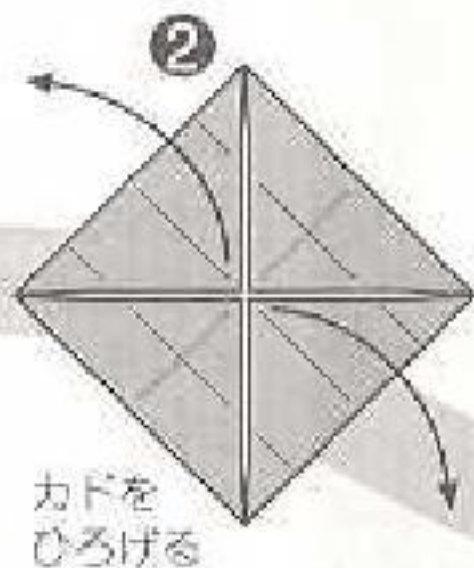
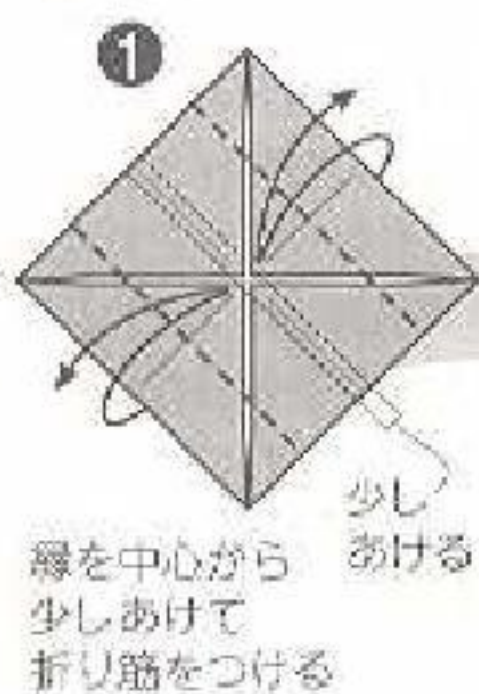




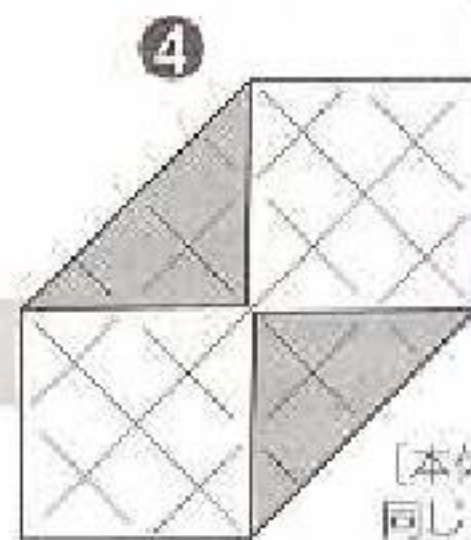
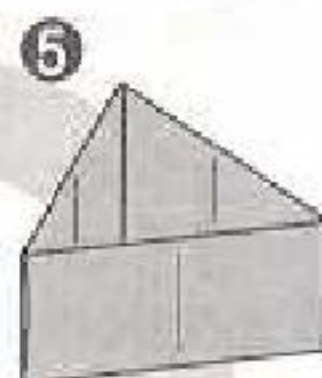
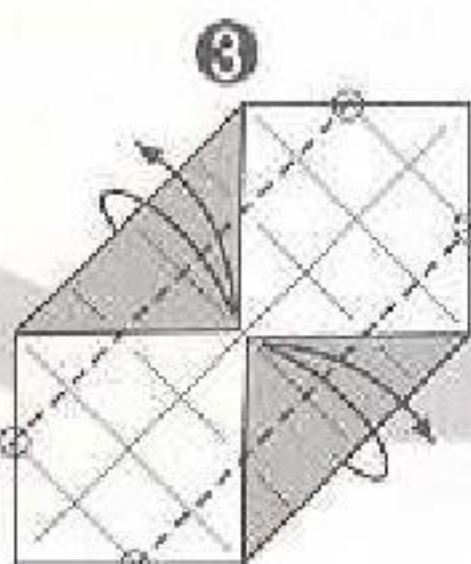
フタ(サイズの変更方)

写真の紙サイズ30×30cm

[本体]の④からはじめる

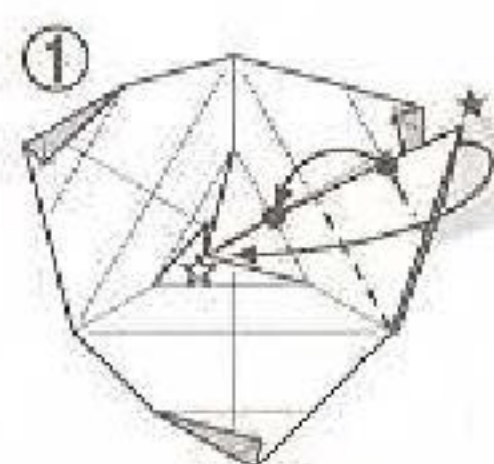


○を結ぶ線で折り筋をつける

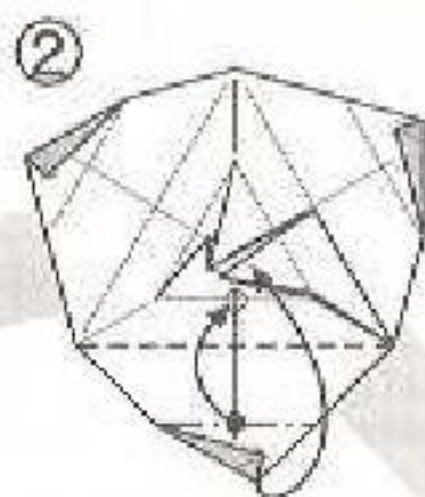


応用編・三角皿A

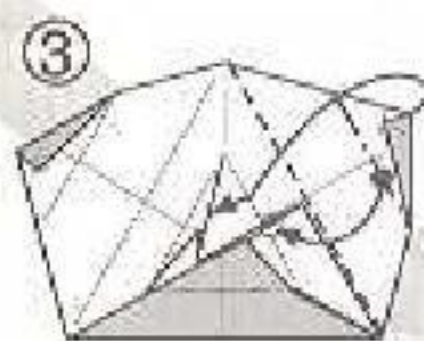
写真の紙サイズ30×30cm
[本体]の⑧からはじめる



★と☆を合わせて
カドを内側へ折る



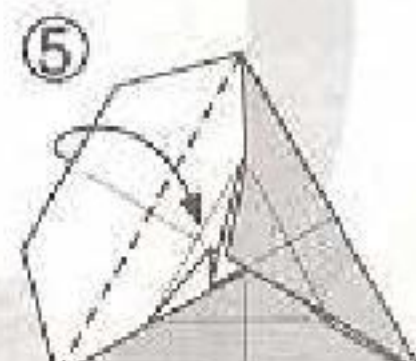
●と○を
合わせて
カドを
内側へ折る



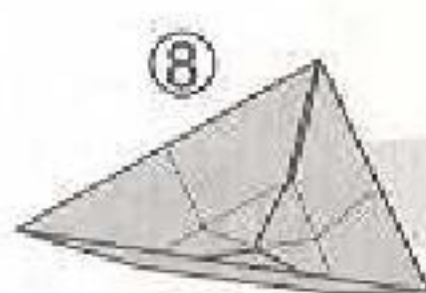
●と○を合わせて
カドを内側へ折る



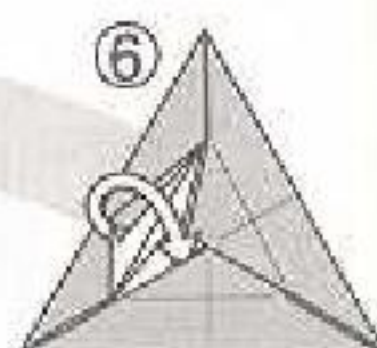
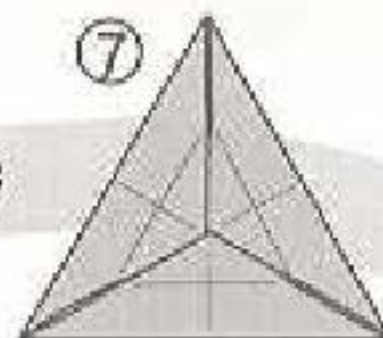
カドを
後ろへ折る



縁を内側へ
折る



できあがり



カドをすき間に
差し込む

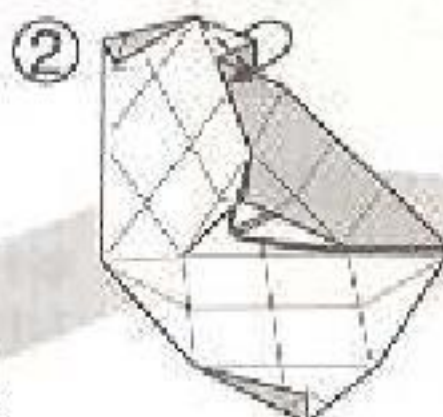
応用編・三角皿B

写真の紙サイズ30×30cm

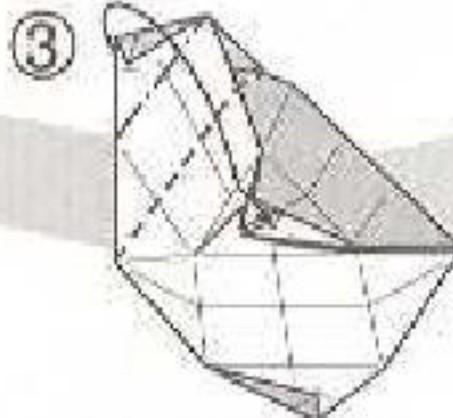
[本体]の⑧からはじめる



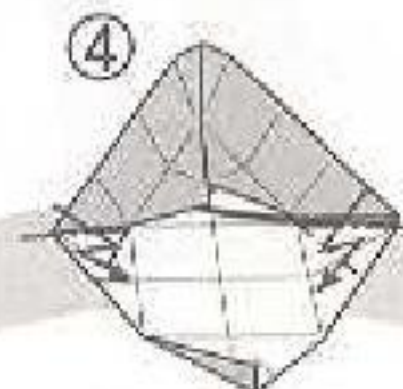
縁を折り筋に
合わせて段折り



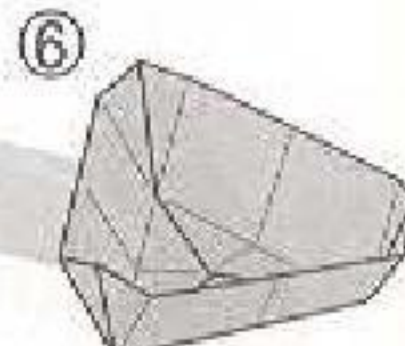
縁を折り筋に
合わせて折る



縁を内側へ折る



残りの部分も
同じように折る



できあがり

折り紙の
周辺

第8回
道具・へら

A Spatula for Folding

Origami and
Its Neighbors

布施知子・Fuse Tomoko

手

元に、動物のあばら骨を削って作られたへらが一本ある。人差し指を伸ばして握るとちょうど長さで、ゆるやかに反っており、それはそのままあばら骨の反りらしい。よく手になじみ愛用している。もう一本お気に入りがある、こちらは「ねずみさし」という香りのいい材の緻密なヒノキの仲間の木材で、タロ氏が削ってくれたもの。小型の果物ナイフのような大きさと

形をしている。大きい作品や堅い紙で折るときは、この二つを気分を使い分けている。他にも紙へらとところで「紙へら」は本当は何と呼ぶのでしょうか—はいくつか持っていて、アメリカで折り紙用紙とセットになっていた黒い塩ビ(かな?)のへらは、使うとべちべち音を立て、これはこれで普通の折り紙用紙を折るときなどに使っている。また、Jeannine Moselyさんの「スポンジ」という大作を前に、ご本人に「素手で折ったのか?」とたずねると、これを使っているのよ、とそれは赤ちゃんの粉ミルクのプルトップだそうで、いくらでもあるからとその場で一つくださった(ごめんなさい、Moselyさん、それ、どこかで無くしてしまいました)。

ところで、あばら骨製のへらは、Paulo Tabordaさんが持っていたのもので、私が持っていたタロ氏製の木製へらと交

換した。1994年大津の第2回折り紙サイエンスでのこと。Tabordaさんは、こんなのもどこでも売っているよ、牛か豚のだろう。ほくの方がもうかったな、と言った。

Tabordaさんと聞いてわかる人は、どのくらいいるだろう。今どこで何をなさっているのか、折り紙界とは接点なく暮らされているようだ。さざ波のような銀河のような、彼の美しい作品の骨子は、大津の論文集に載っているの、知らない方はぜひ見ていただきたい。

ドイツのおもちゃ屋さんで小さいけれど楽しい折り紙の展覧会があったとき、足をくじいたとって子供用のはしごを松葉杖代わりにしていたことなど、へらを握る度に、一風変わった彼のあれこれ思い出す。交換したへらを彼はまだ持っているだろうか。

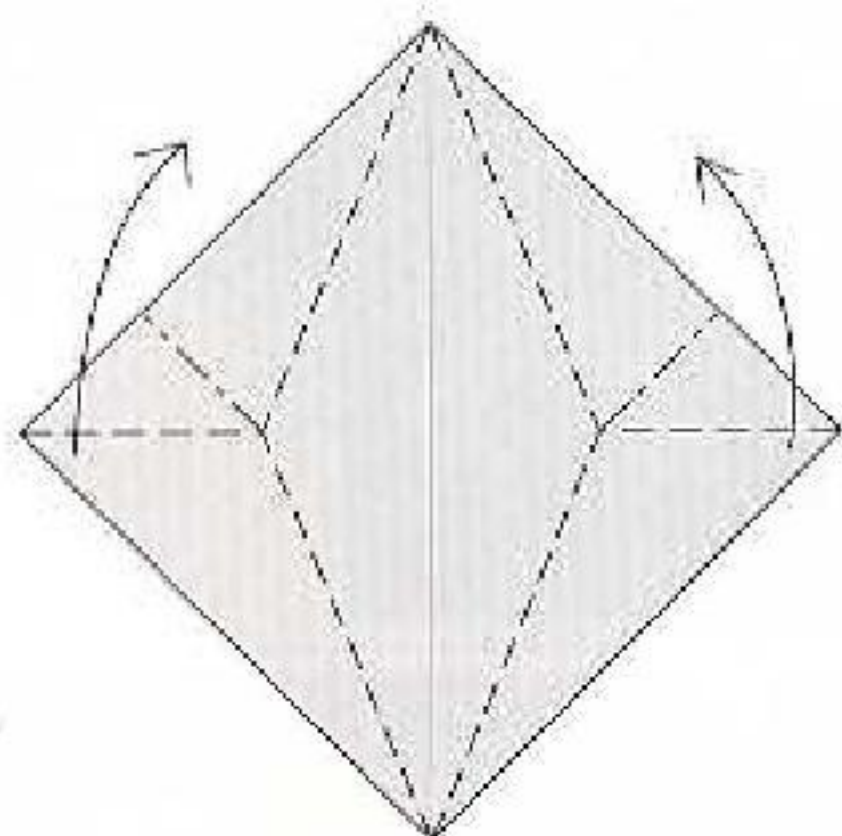
Giant Panda

ジャイアントパンダ

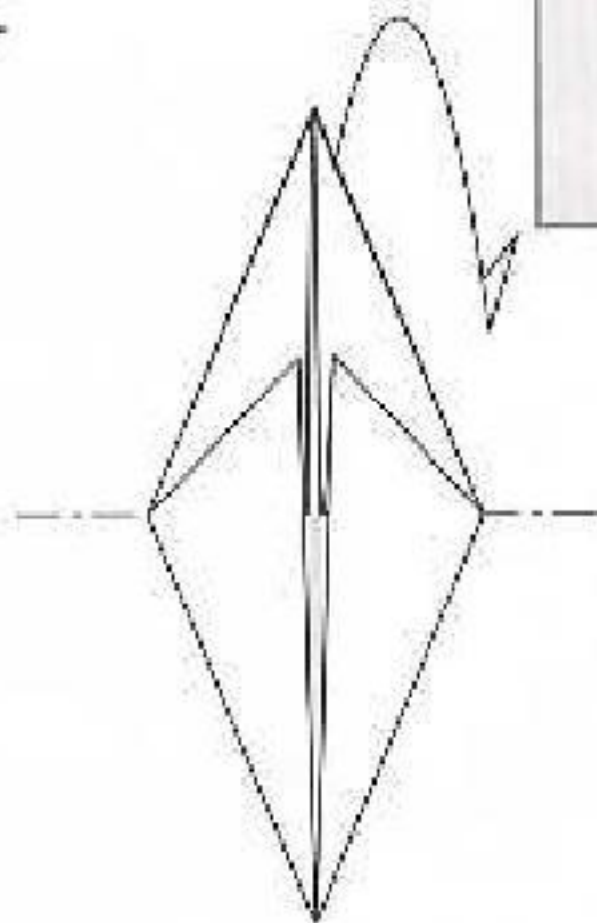
by Marc Kirschenbaum (NY)

マーク・カーシェンバウム

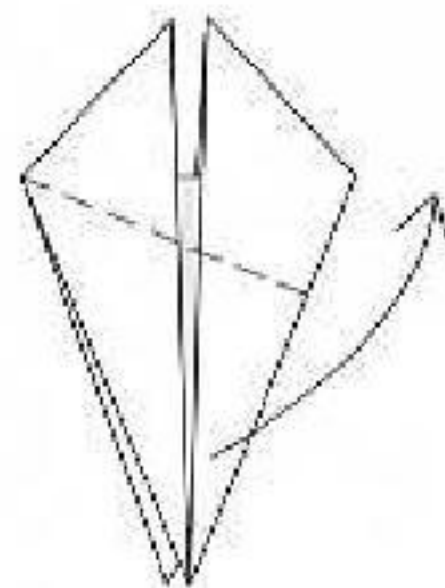
Translated by Tateishi Koichi / 翻訳: 立石浩一



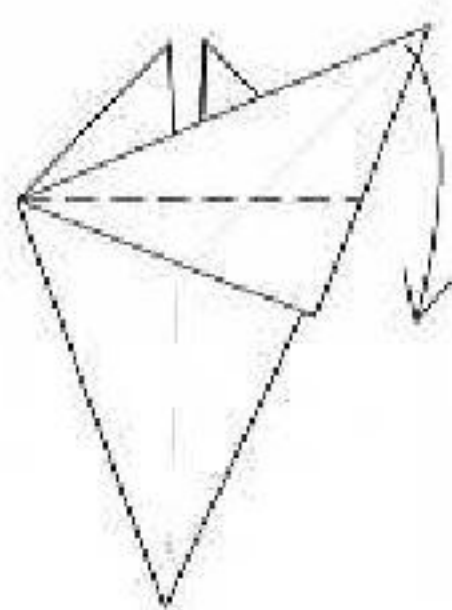
1. With darker side up, form rabbit ears on both sides.
色面を上。左右のカドをつまみ折り。



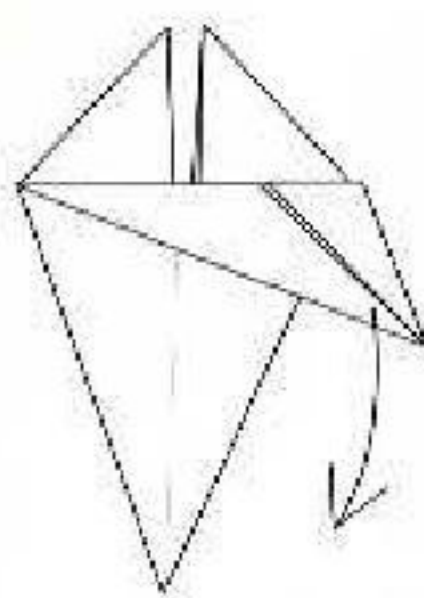
2. Swing back.
カドを裏側へ折る。



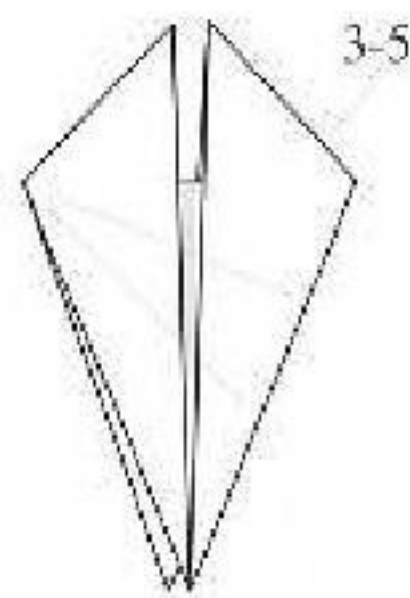
3. Valley up.
カドを縫に沿って上へ折る。



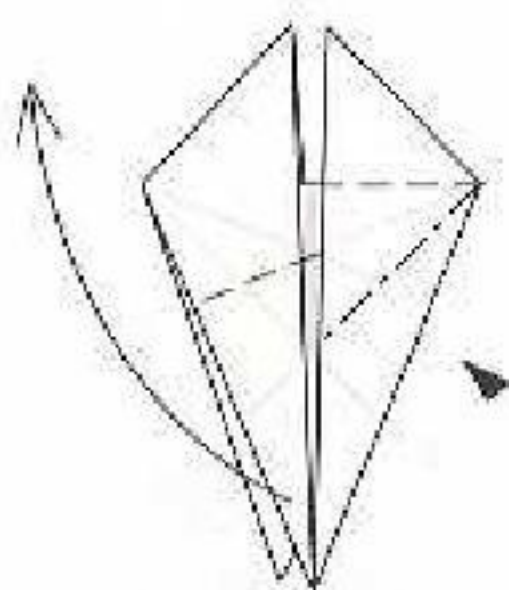
4. Valley down.
カドを水平に下へ折る。



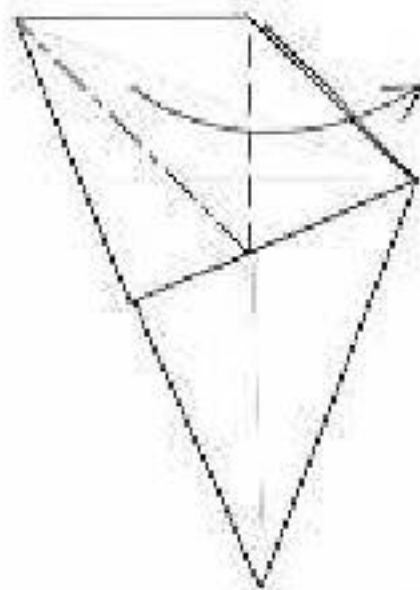
5. Unfold.
カドを下へ戻す。



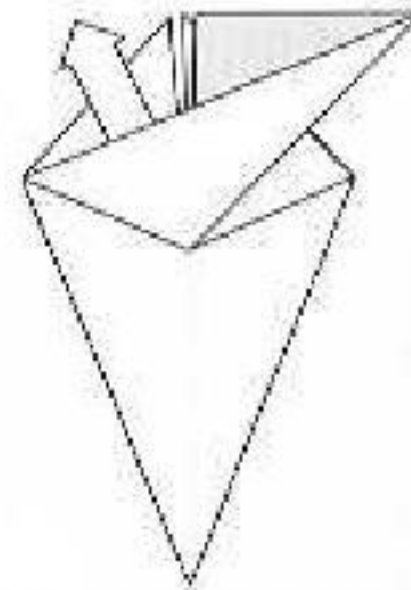
6. Repeat steps 3-5 in mirror image.
右側も同様に折る。



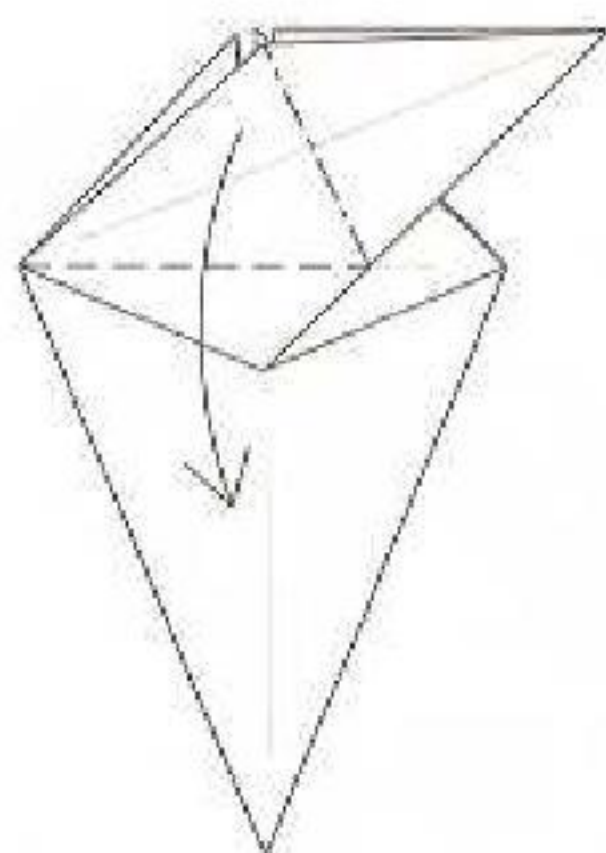
7. Asymmetrical squash.
カドを開いてつぶすように折る。
左右対称ではないことに注意。



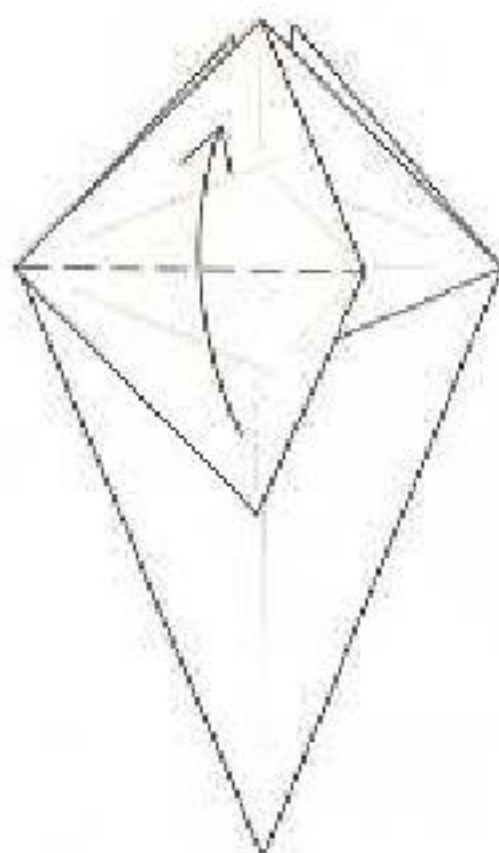
8. Squash.
カドを右へ開いてつぶすように折る。



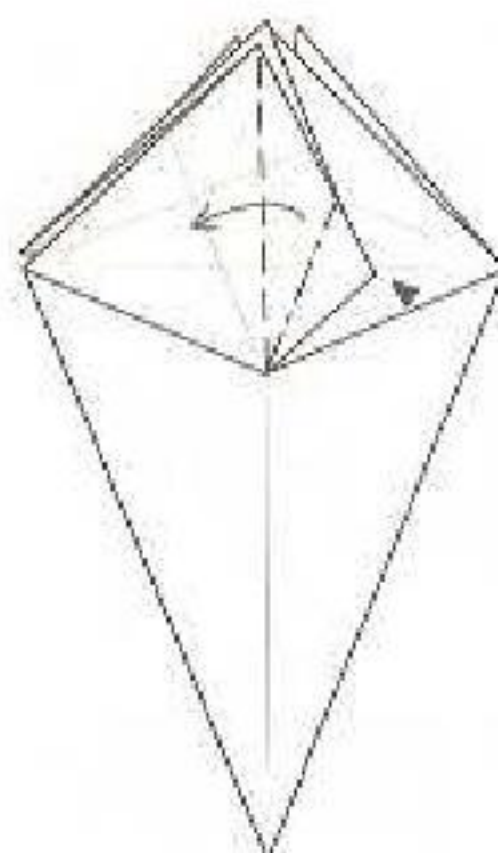
9. Pull out a single layer to match the other side.
内側の縁を下の縁に合わせるように引き出す。



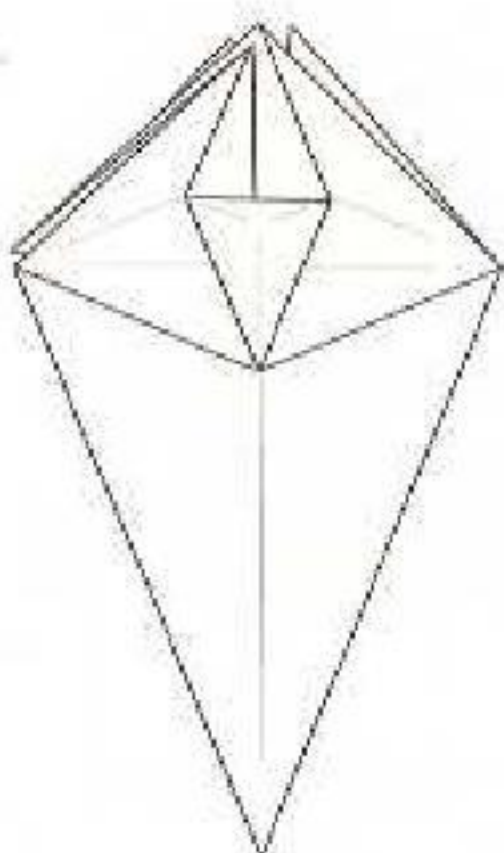
10. Squash.
開いてつぶすように折る。



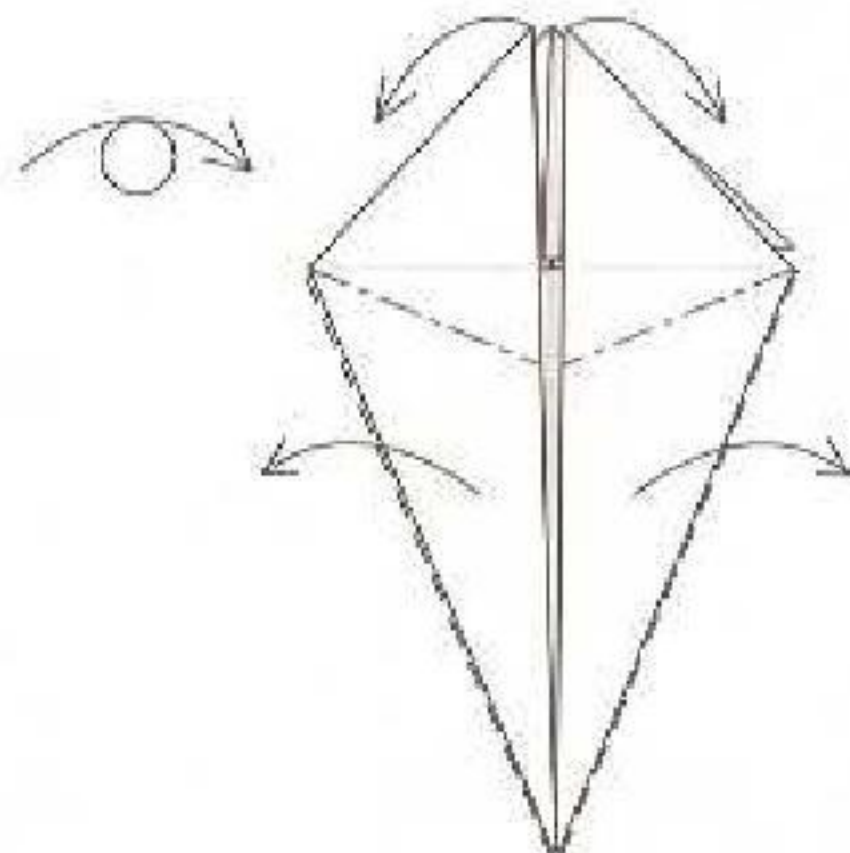
11. Valley up.
カドを上へ折る。



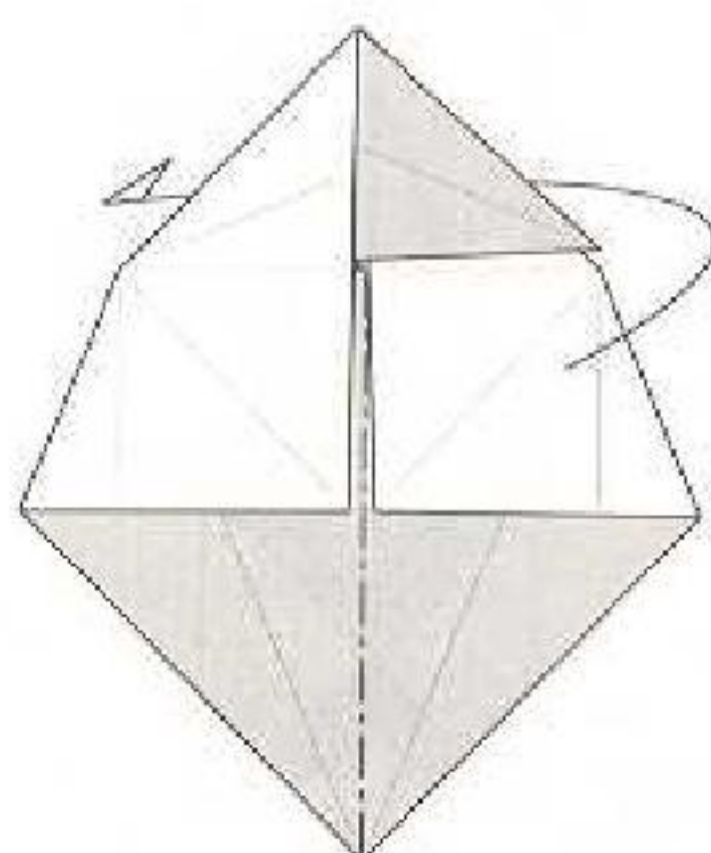
12. Squash the center flap.
中央のカドを開いてつぶす。



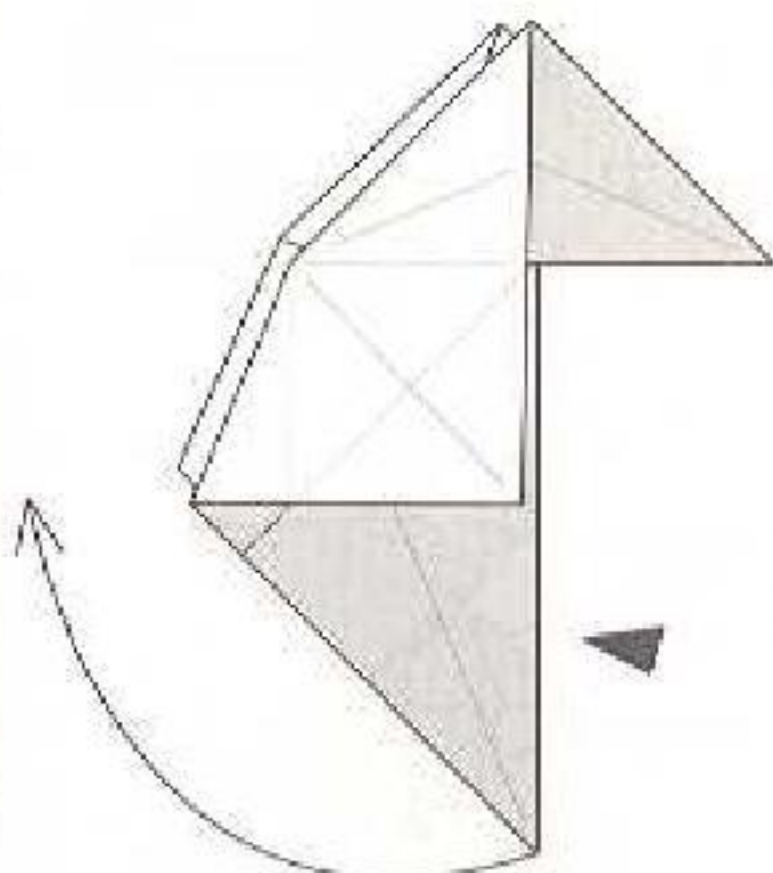
13. Turn over.
裏返す。



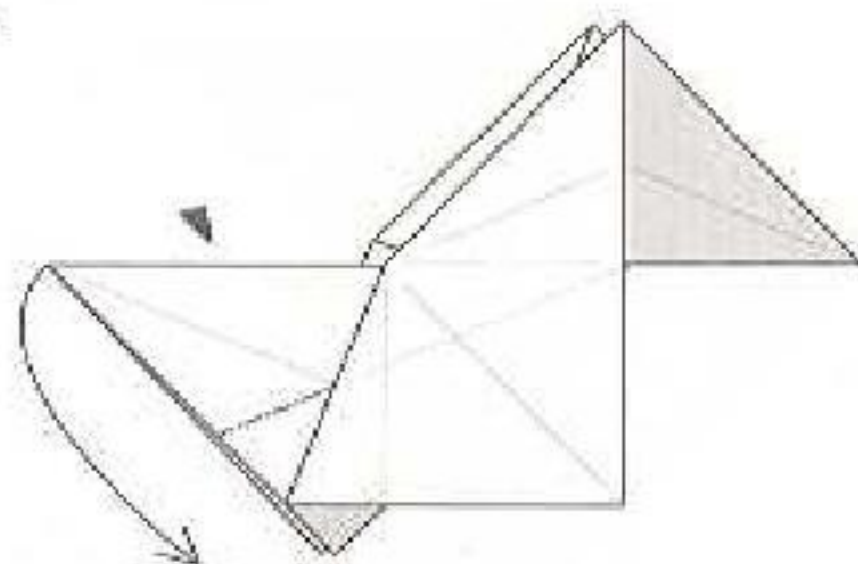
14. Spread out the top layer.
中央の縁を開いてカドをつぶすように折る。



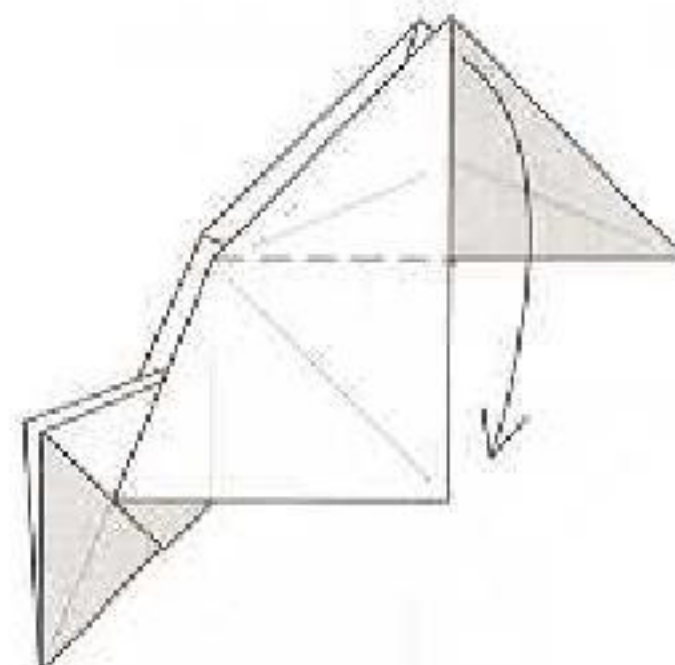
15. Mountain fold in half.
山折りで半分に折る。



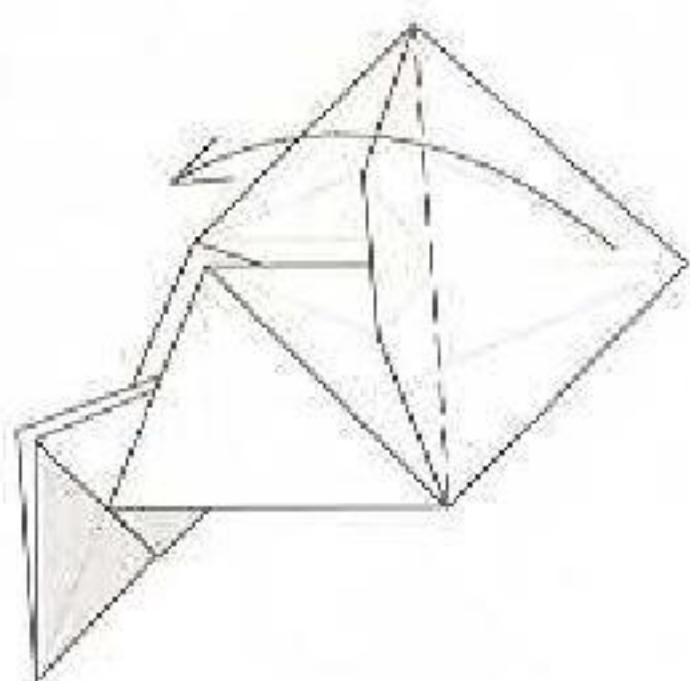
16. Reverse fold through all layers.
中割り折り。



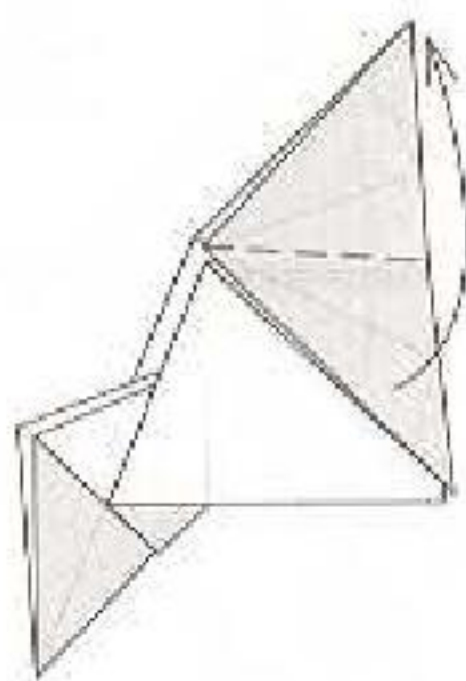
17. Reverse fold again through all layers.
中割り折り。



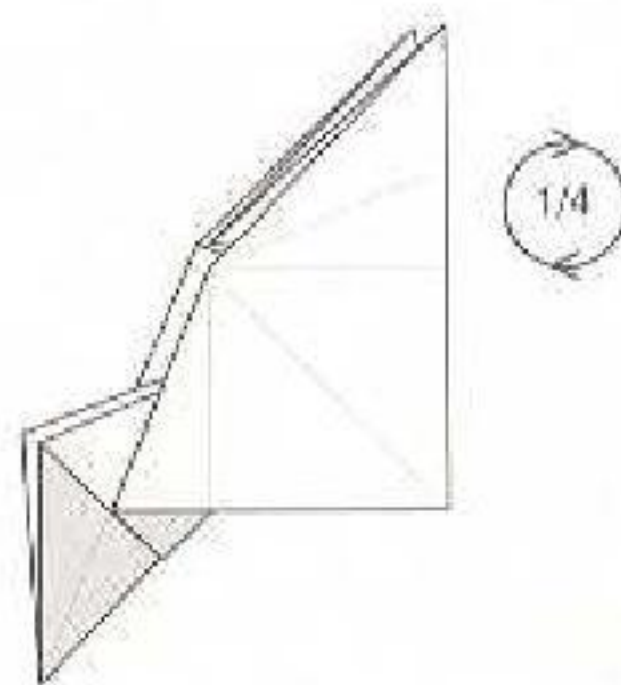
18. Swing down, allowing the center to stretch flat.
カドを下へ折り、真ん中の層を引き伸ばす。



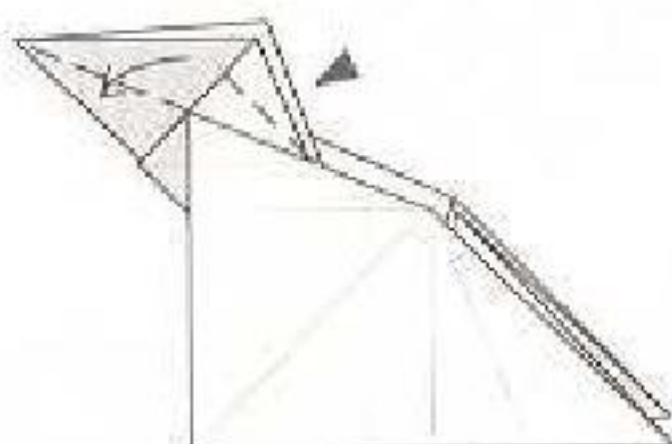
19. Valley over.
カドを左へ谷折り。



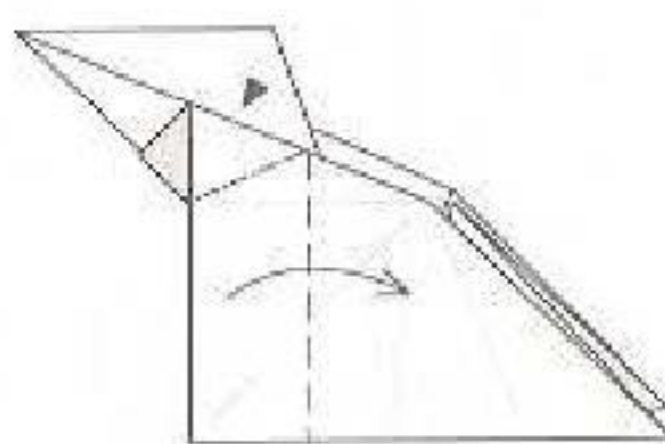
20. Valley up.
カドを上へ折る。



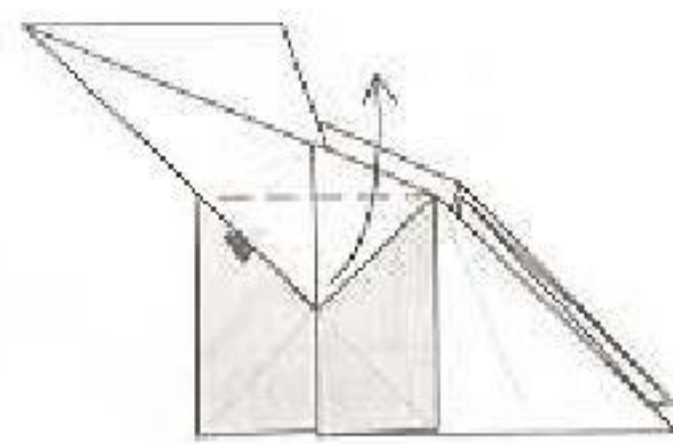
21. Rotate 1/4 turn.
90度右へ回転。



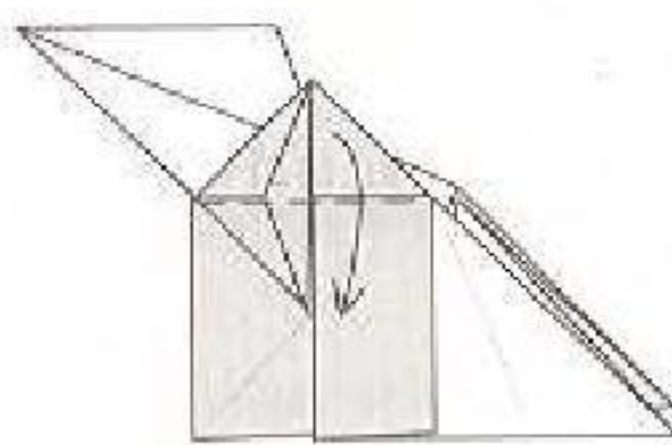
22. Reverse fold.
中割り折りのように折る。



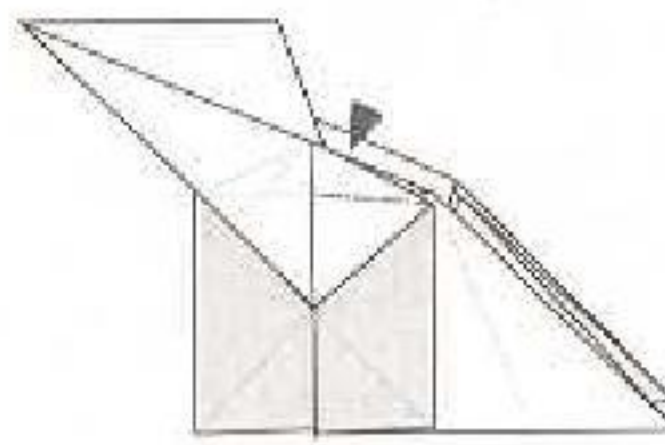
23. Squash fold.
開いてつぶすように折る。



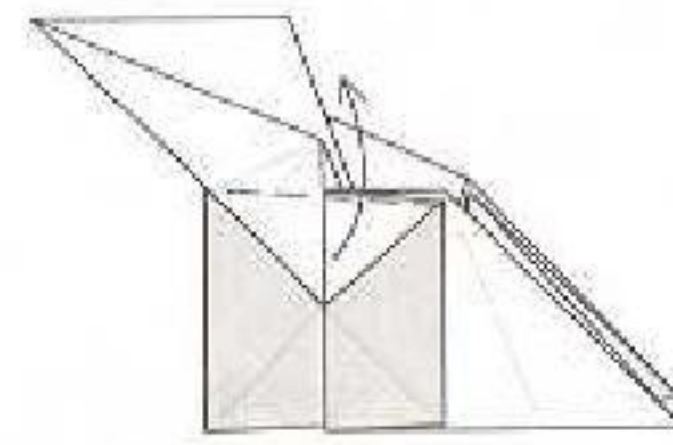
24. Valley up, allowing a
squash to form.
カドを谷折りで上へ折り、
内側の紙を開いてつぶす。



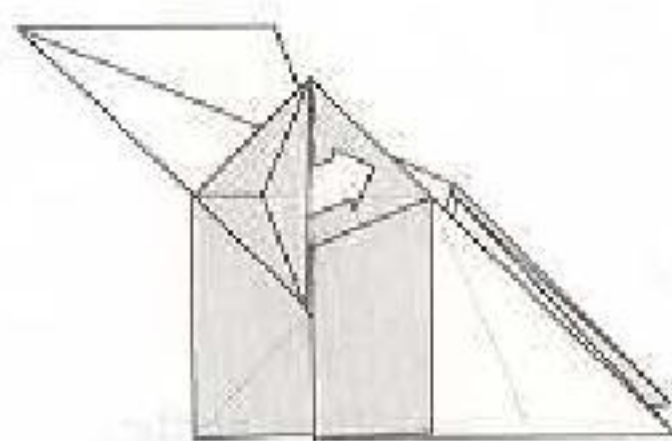
25. Swing the flap down.
カドを下へ戻す。



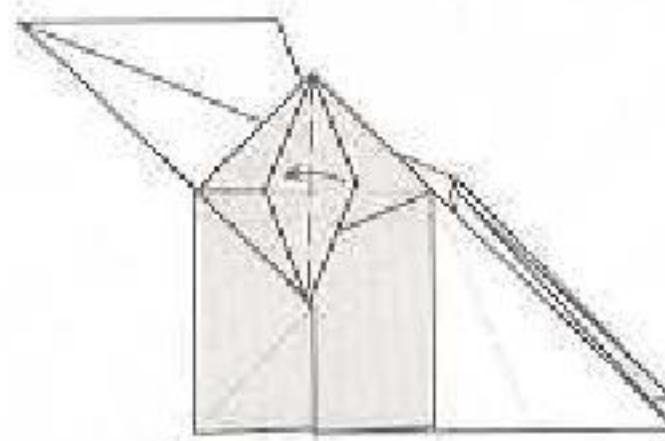
26. Open sink the trapped
corner.
下側のカドを沈め折り
(open sink)。



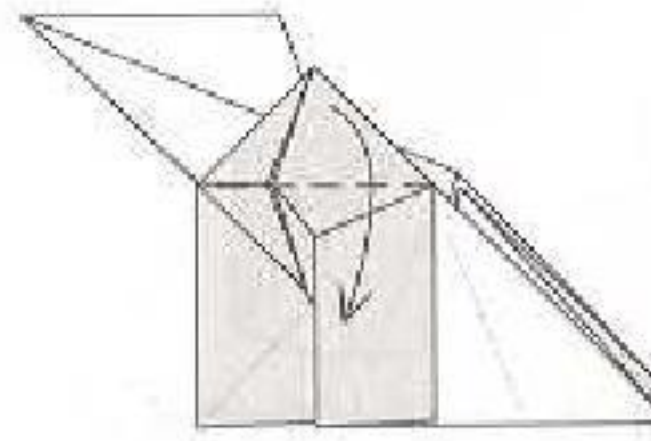
27. Swing up again.
カドを再び上へ折る。



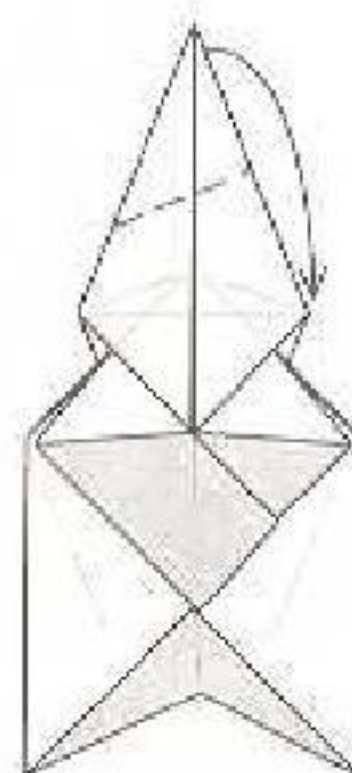
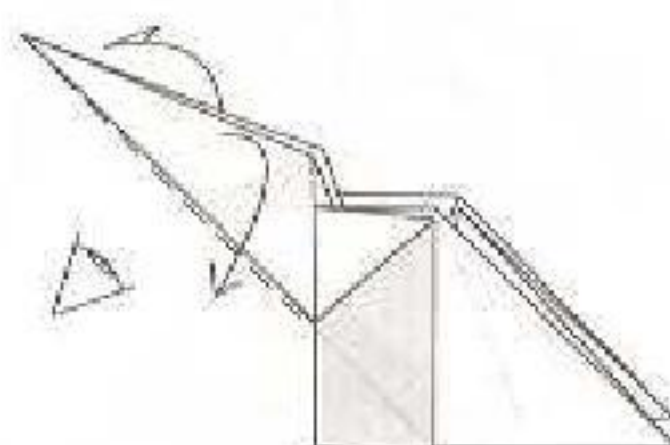
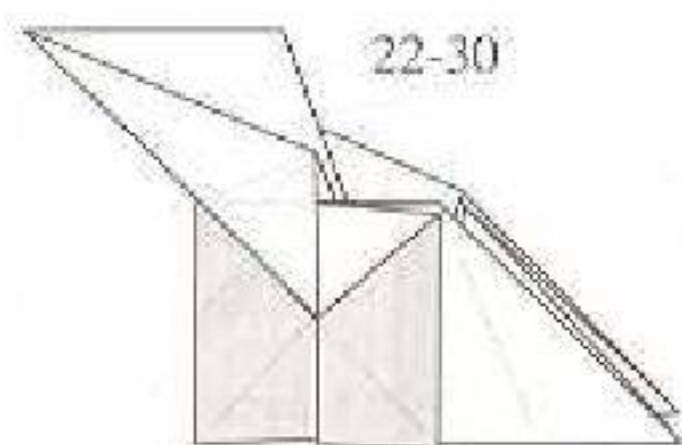
28. Unsink.
隠れている層を引き出す。



29. Valley over.
谷折りでカドを左へ。



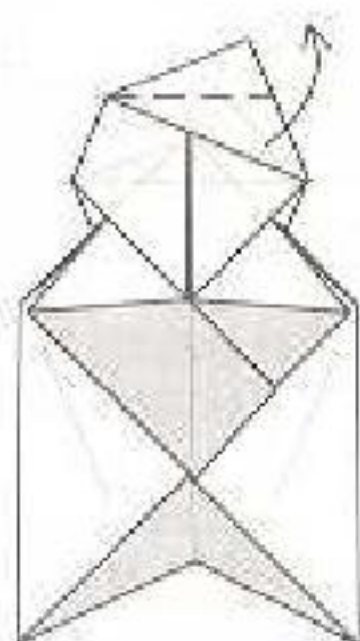
30. Valley back down.
カドを再び下へ折る。



31. Repeat steps 22-30 behind.
22-30を後ろ側でも繰り返す。

32. Spread apart the front flap.
The remainder of the model
will not lie flat.
前(左)側のカドを開く。
平らにはなりません。

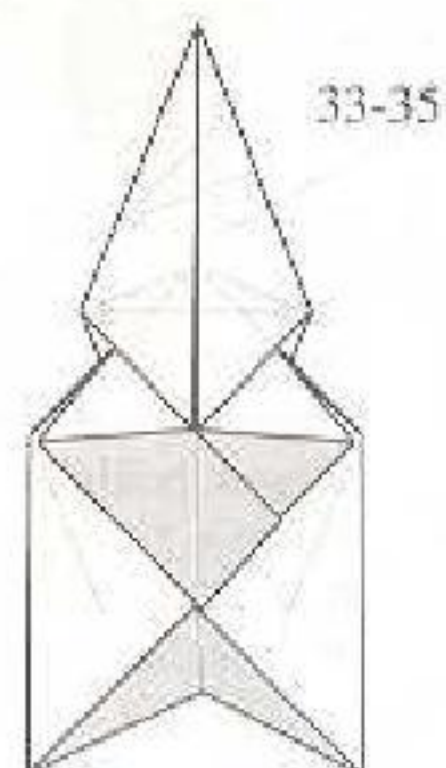
33. Valley the tip to the
corner.
谷折りでカドを右下の
カドへ折る。



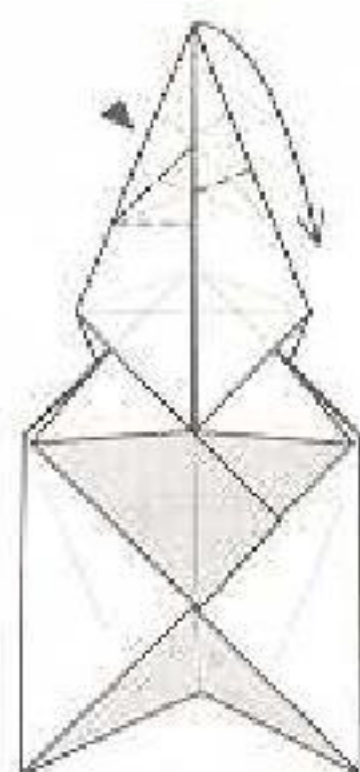
34. Valley up.
水平にカドを
上へ折る。



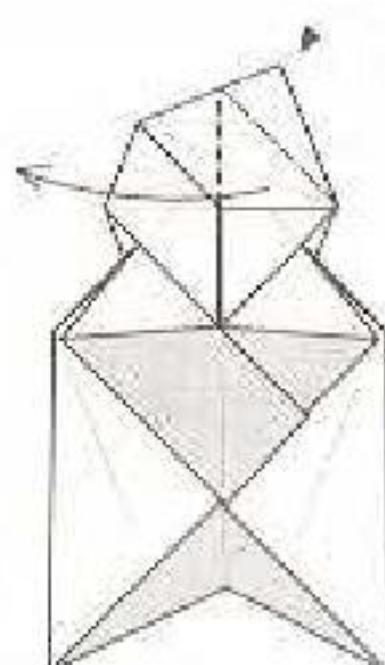
35. Unfold the pleat.
段折りを開く。



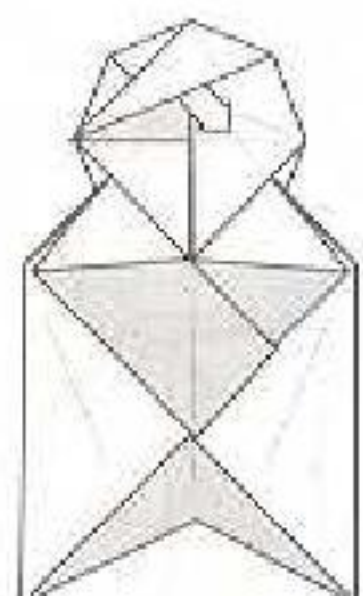
36. Repeat steps 33-35 in
mirror image.
33-35を左向きにも
繰り返す。



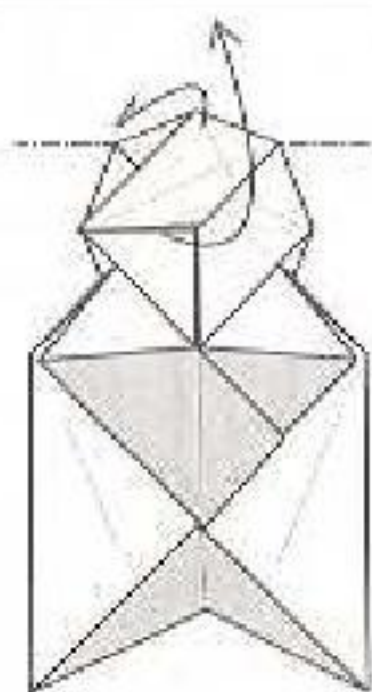
37. Squash fold,
開いてつぶすように
折る。



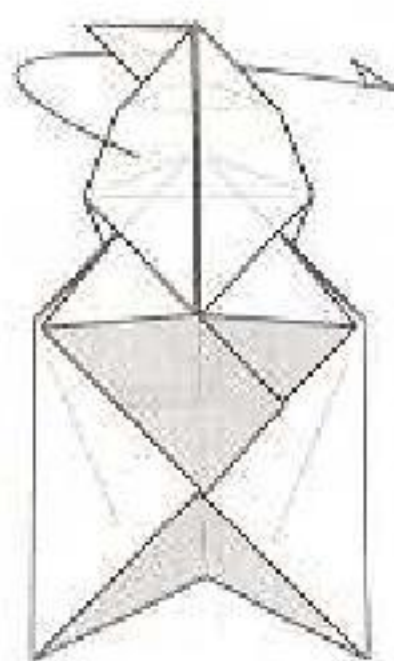
38. Squash again.
カドを開いてつぶすように
折って左へ。



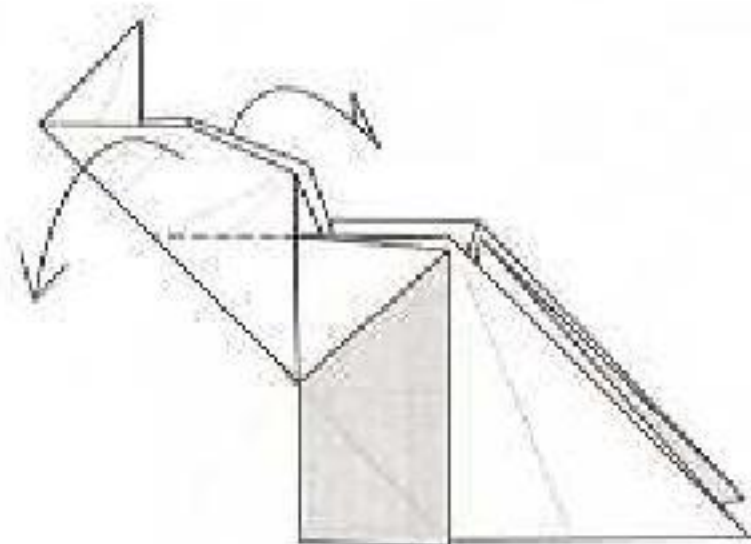
39. Pull out a single layer.
紙を一枚引き出す。



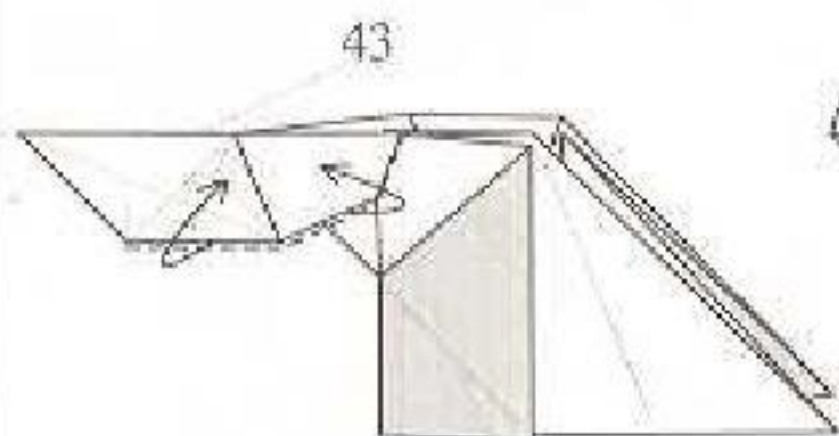
40. Flip the top section.
上のカドを回転して裏側へ折る。



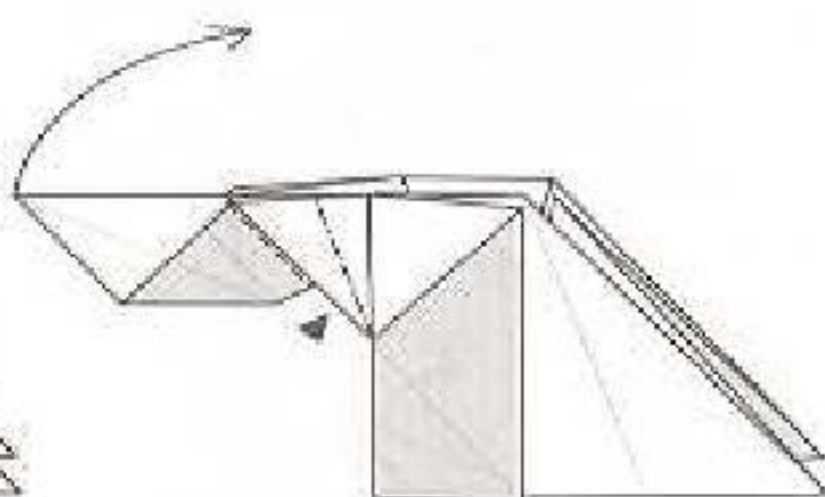
41. Close the model back up.
再び閉じる。



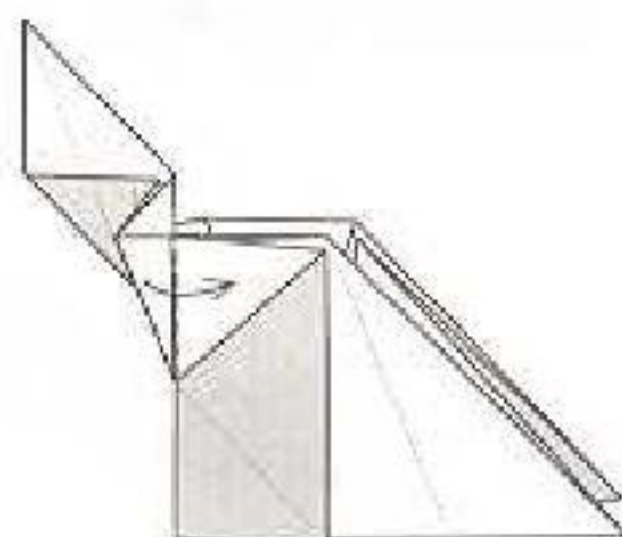
42. Outside reverse fold the front section.
前(左)側をかぶせ折り。



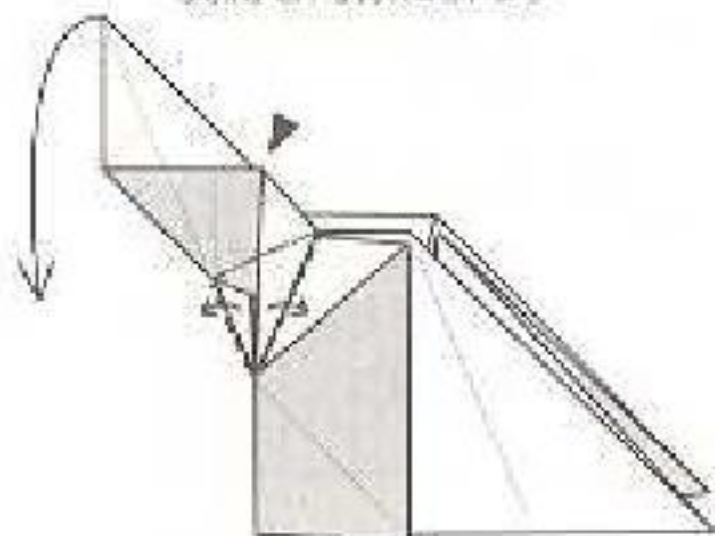
43. Wrap a single layer to the surface. You will have to invert a corner to accomplish this. Repeat behind.
カドのところで下から1枚紙を裏返して表に折り返す。裏側も同様に折る。



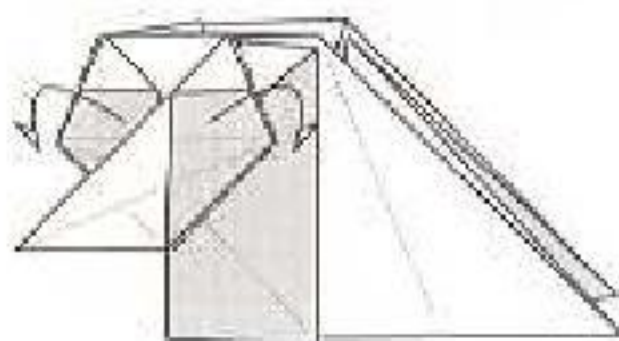
44. Crimp upwards.
内側に斜めに段折り。



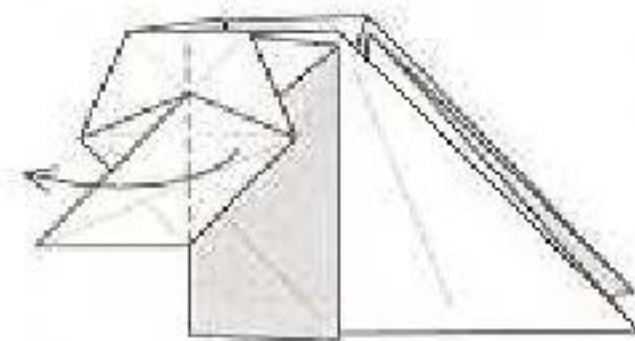
45. Swing over one flap.
カドを1枚右へ折る。



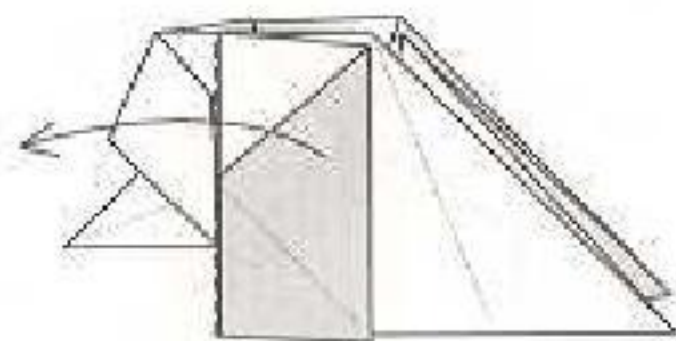
46. Squash the top section down.
左のカドを開いてつぶすように折る。



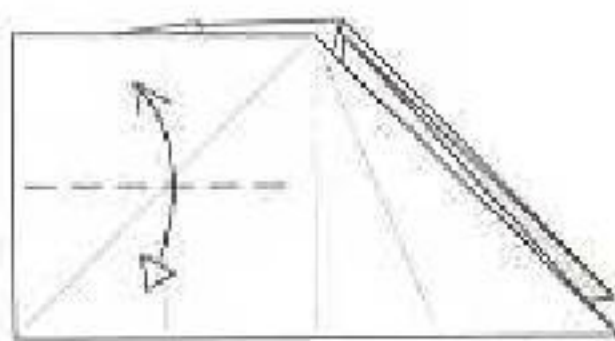
47. Wrap a single layer around each side.
紙を裏返してカドの表裏を逆にする。



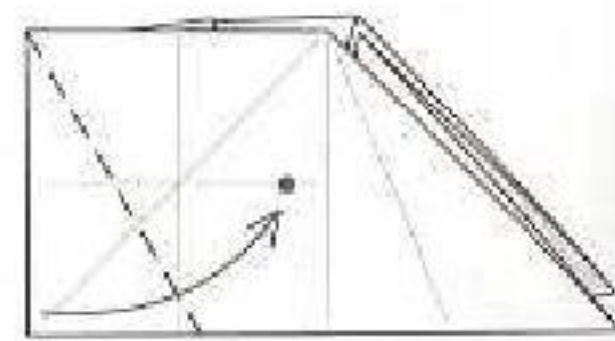
48. Swing over one flap.
カドを1枚左へ折る。



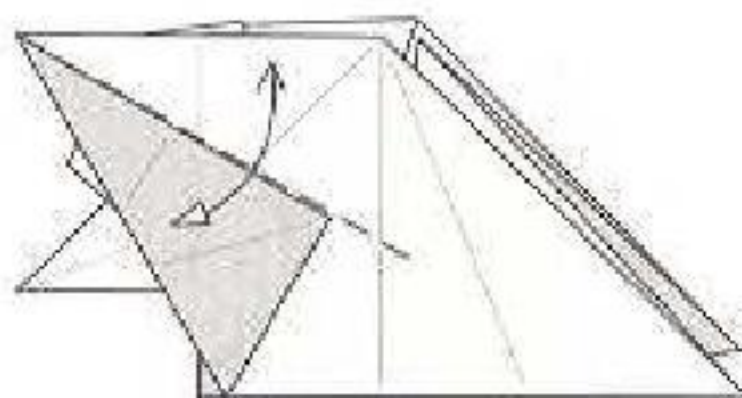
49. Swing over a flap.
縁を1枚左へ折る。



50. Lightly precrease the single layer in half.
中心で軽く折り筋をつける。

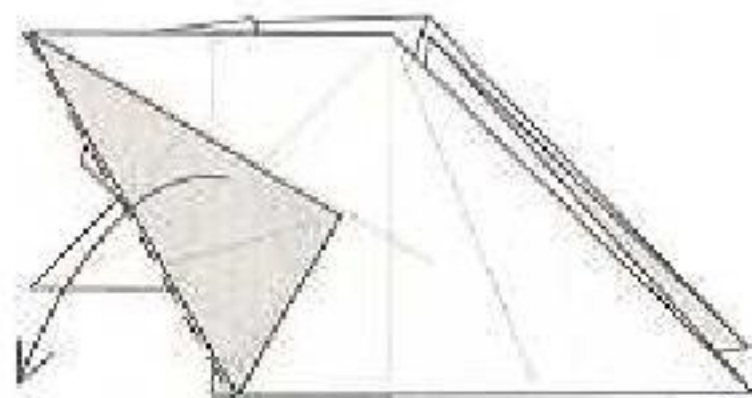


51. Valley the corner over to meet the crease.
50の折り筋に合わせるようにカドを折る。



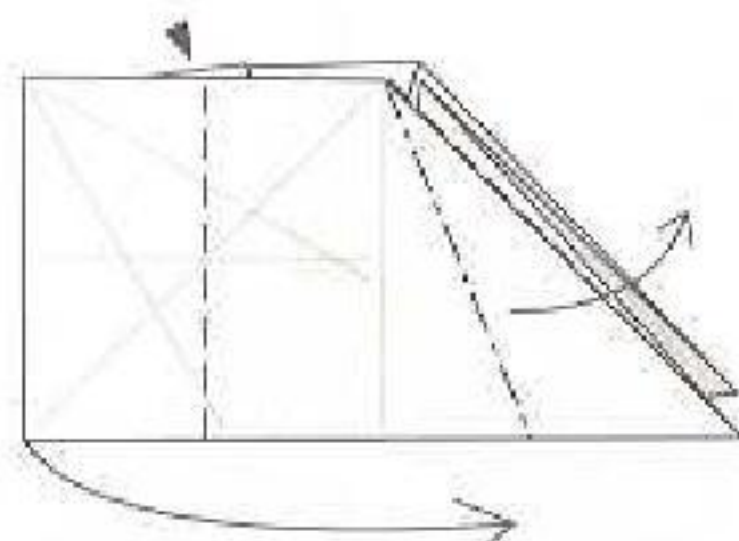
52. Precrease along the angle bisector.

カドを2等分するように
折り筋をつける。



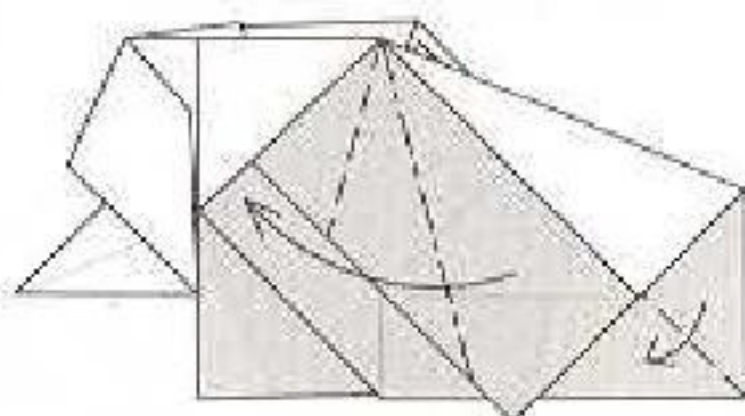
53. Unfold.

カドを元に戻す。



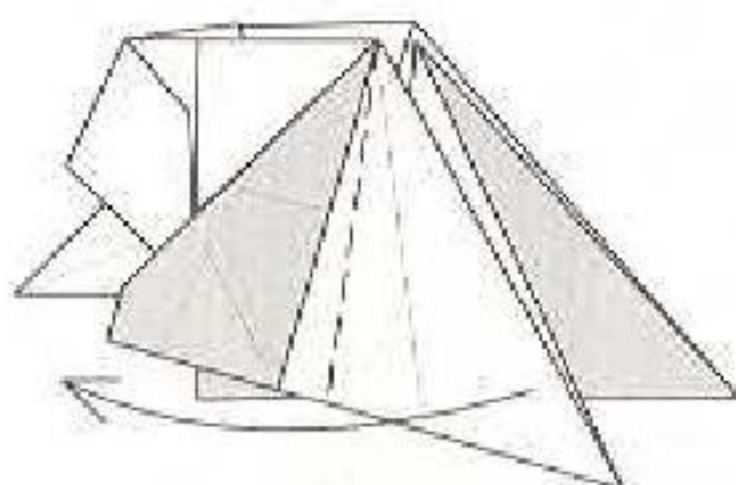
54. Stretch the single layer back while folding the left side in half.

カドの紙を折り筋に沿ってずらし、
左の四角形を縦に半分にする。



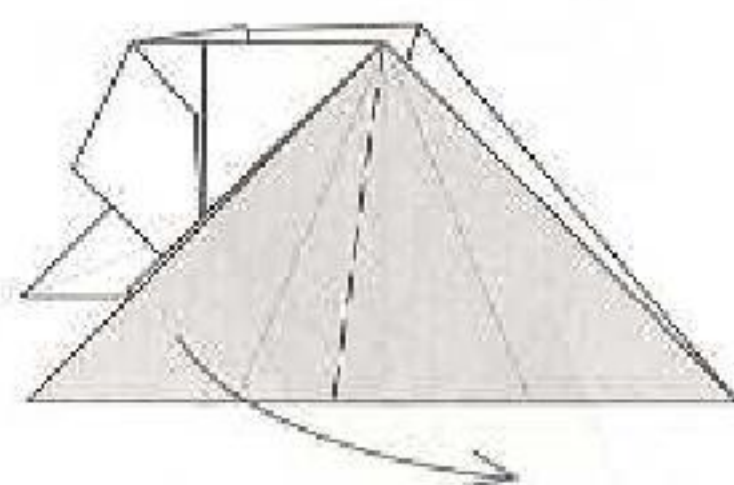
55. Pleat the top layer over along the existing creases. The right side will not lie flat.

ついている折り筋を使って
一番上の層を段折りする。
平らにはなりません。



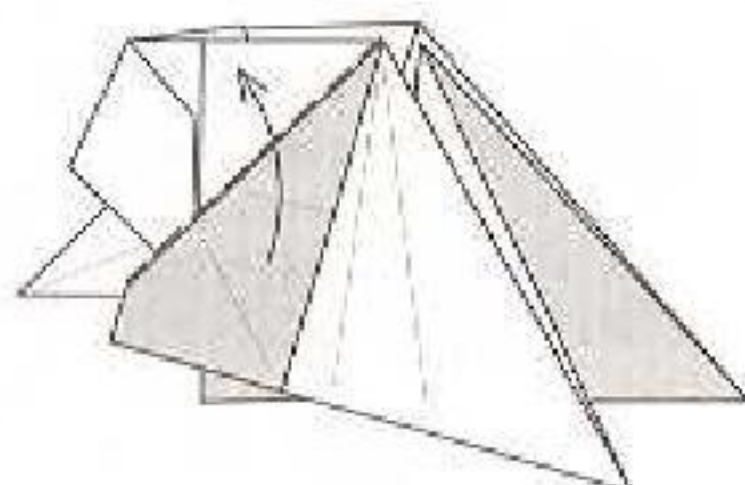
56. Valley over to meet the other edges to flatten.

谷折りをして端と端を合わせる。
平らにまとまります。



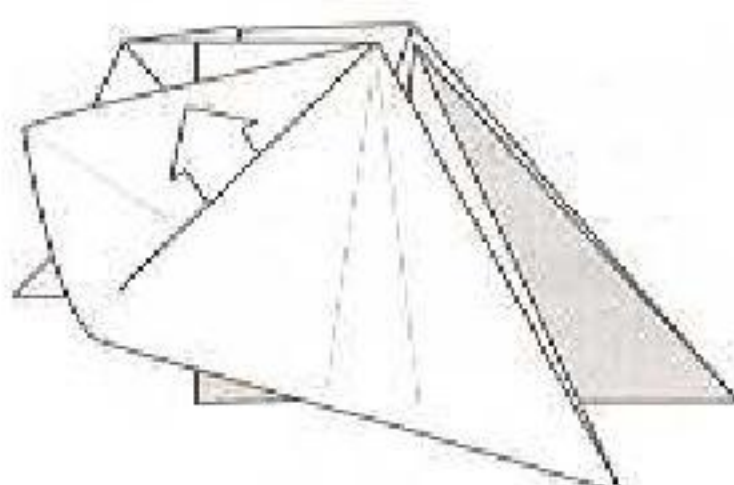
57. Valley the flap back as far as possible.

いけるところまでカドを
右に折る。



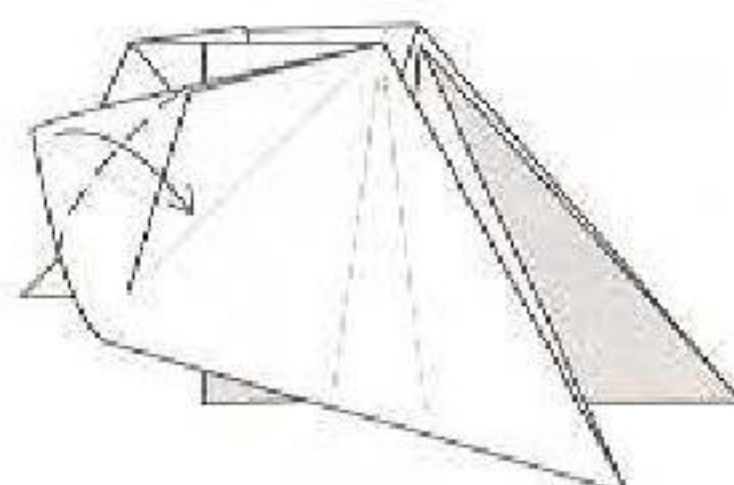
58. Lift up a single layer (it will not lie flat).

紙を1枚めくる。
平らにはなりません。



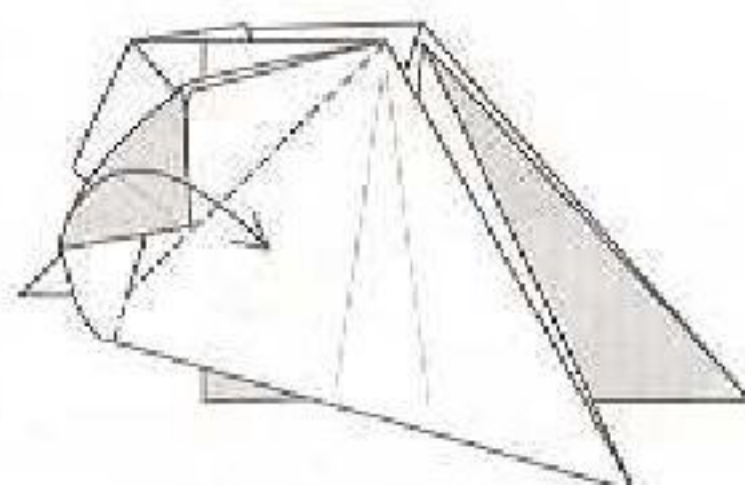
59. Unsink.

内側のカドを引き出す。



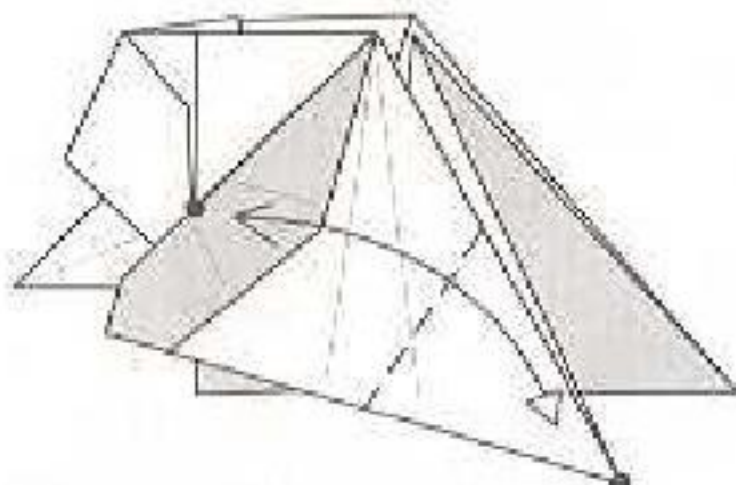
60. Valley the corner to the crease.

左のカドを折り筋の
ところまで折る。



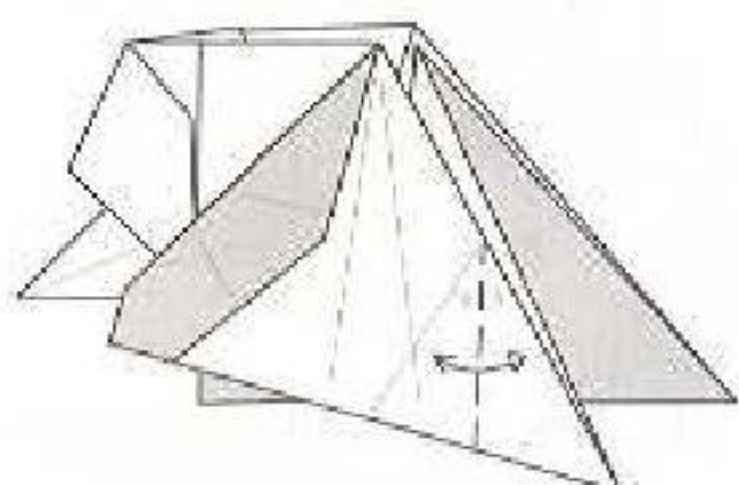
61. Close the flap back up.

紙を開じる。



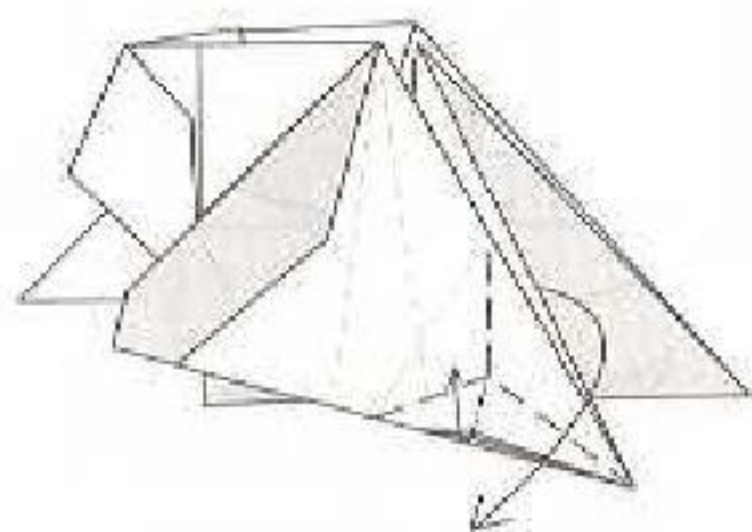
62. Precrease by bringing the flap to the indicated point and unfolding.

●の所までカドを折って戻す。

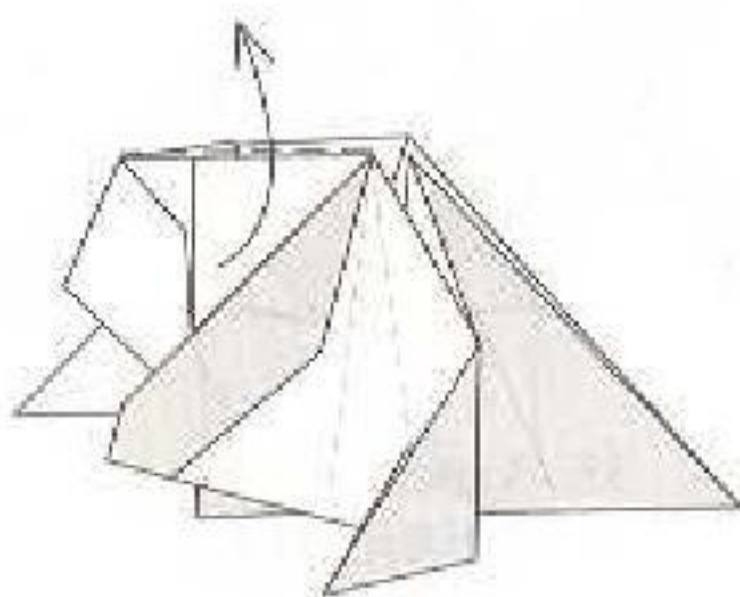


63. Precrease along the angle bisector.

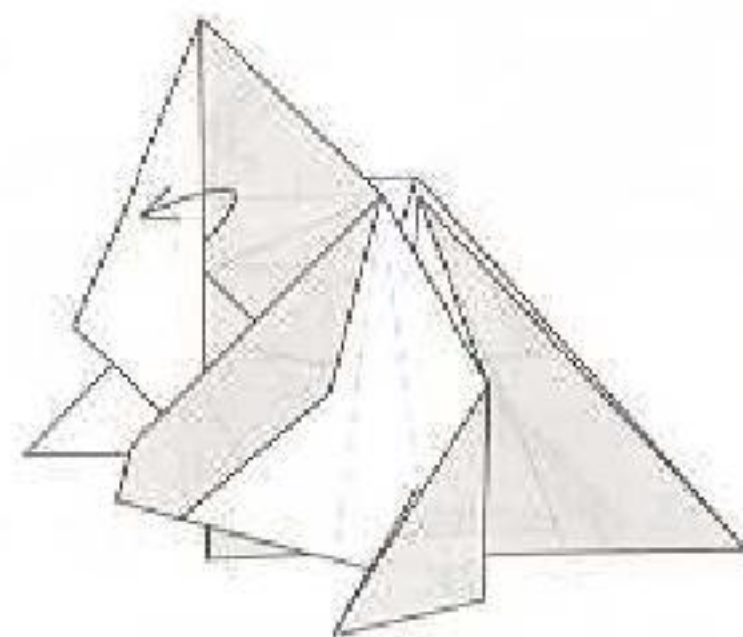
62の折り筋によって出来た
カドを二等分する。



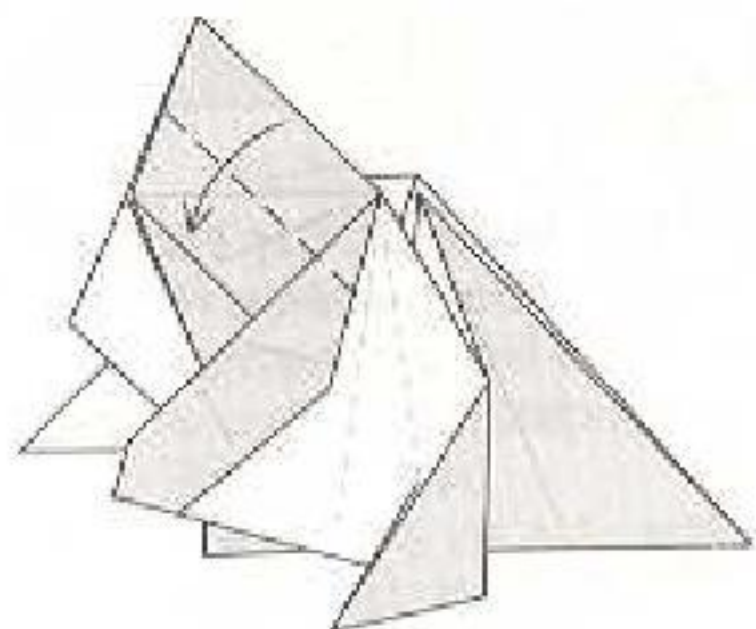
64. Valley over while incorporating a rabbit ear on the top two layers.
内側の縁を中割り折りのように折りながら、63の折り筋で谷折りをする。



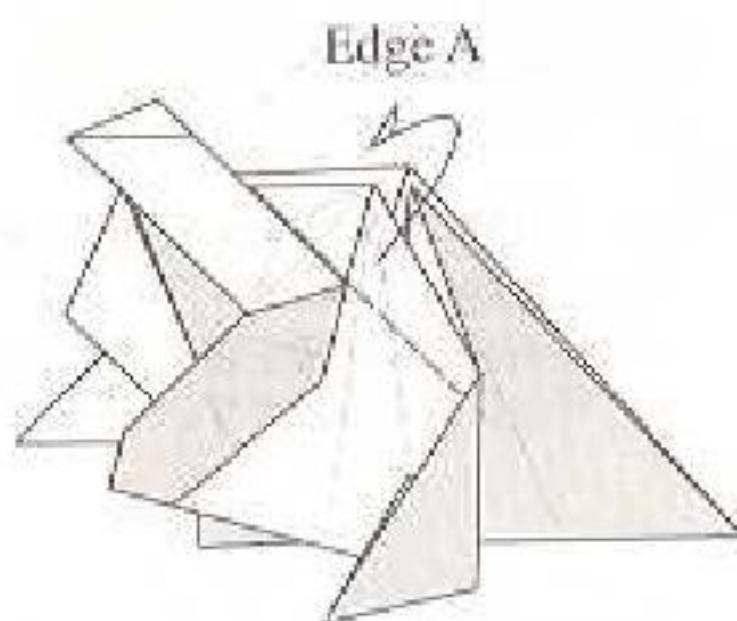
65. Lift up the trapped flap.
内側にあるカドを上へ引き出す。



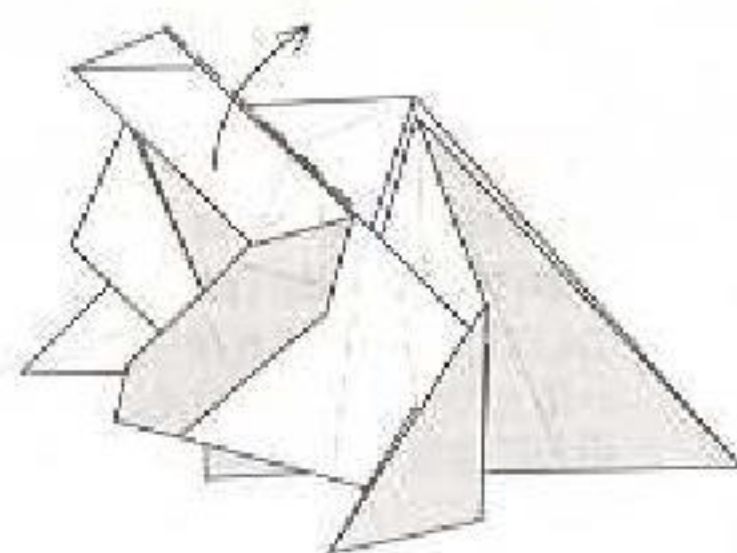
66. Bring two colored flaps to the surface.
色の層を2枚外へ引き出す。



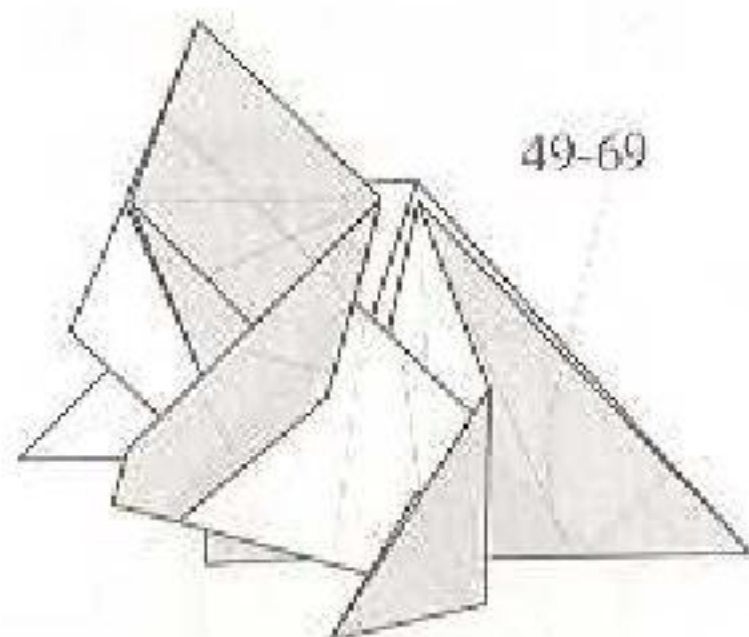
67. Valley the flap in half.
谷折りで層を半分にする。



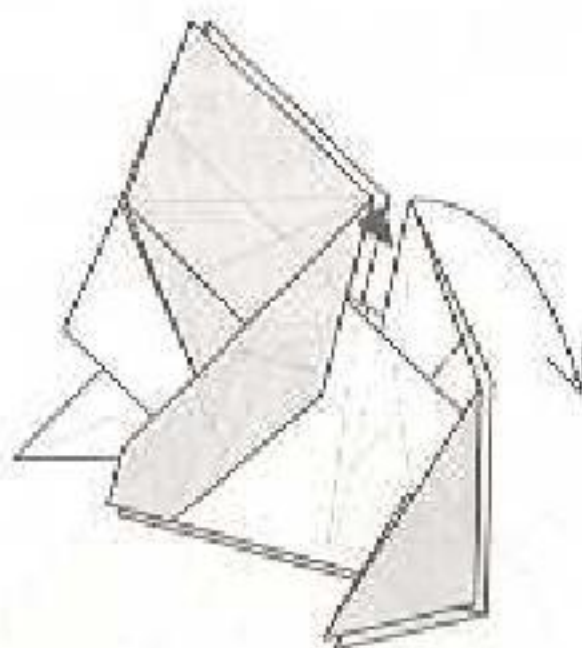
68. Mountain fold, so as to align with edge A.
Edge Aと対した縁に合わせて山折り



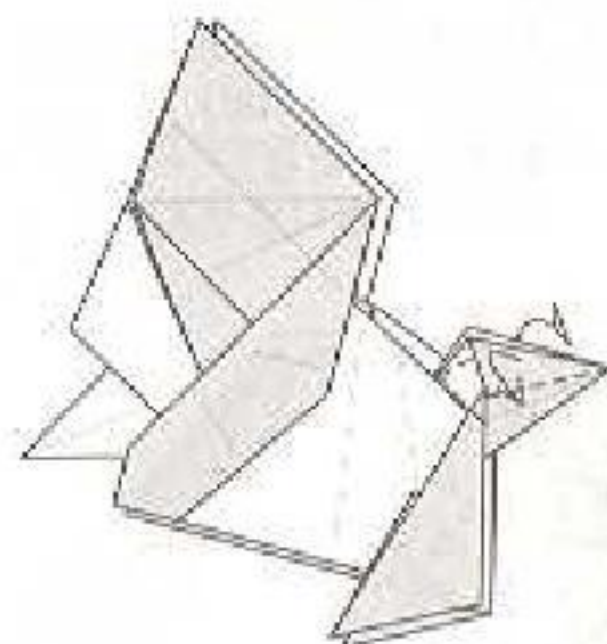
69. Unfold the flap.
67の折りを元に戻す。



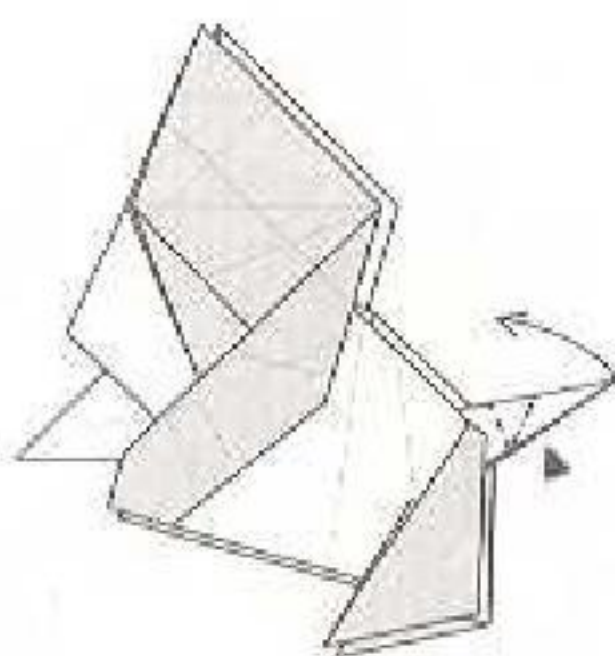
70. Repeat steps 49-69 behind.
裏側も49-69と同様に折る。



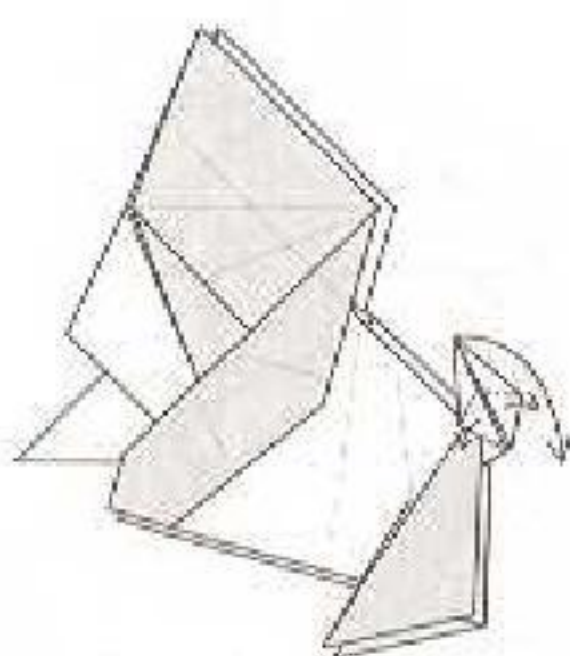
71. Reverse fold, allowing the tiny pleat in the flap's center to come undone.
中割り折り。この時、中心にある段折りが開くことになる。



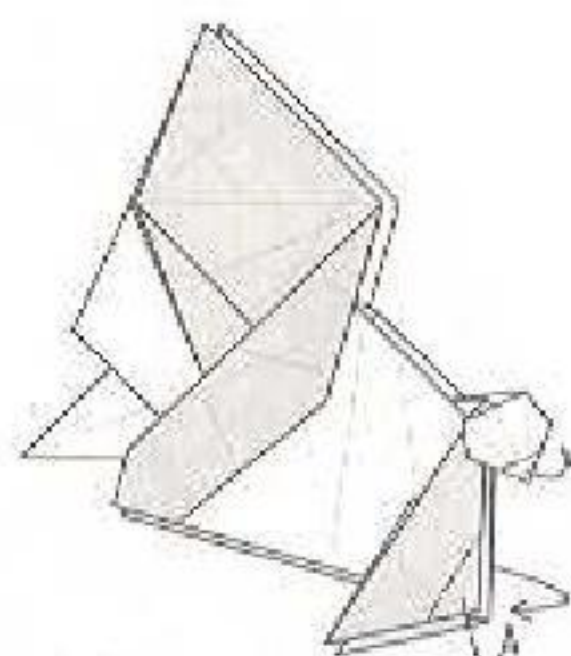
72. Swivel the side of the flap in along the angle bisector.
カドを二等分して、中割り折りのように折る。



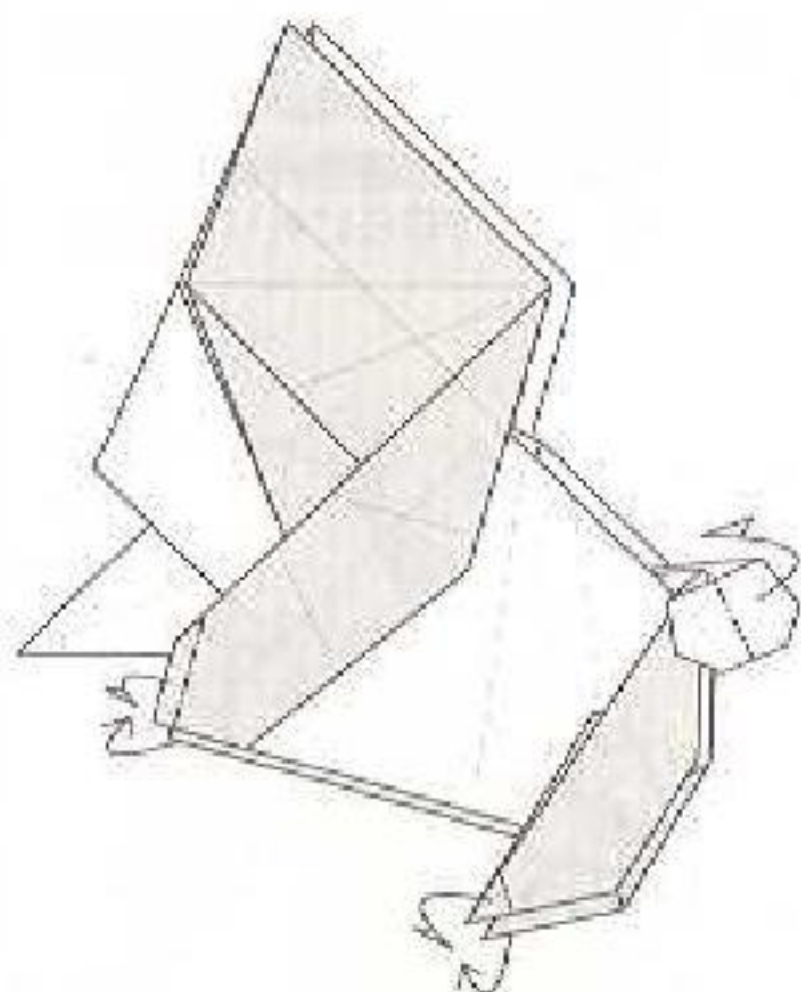
73. Squash the flap flat.
カドを開いてつぶすように折る。



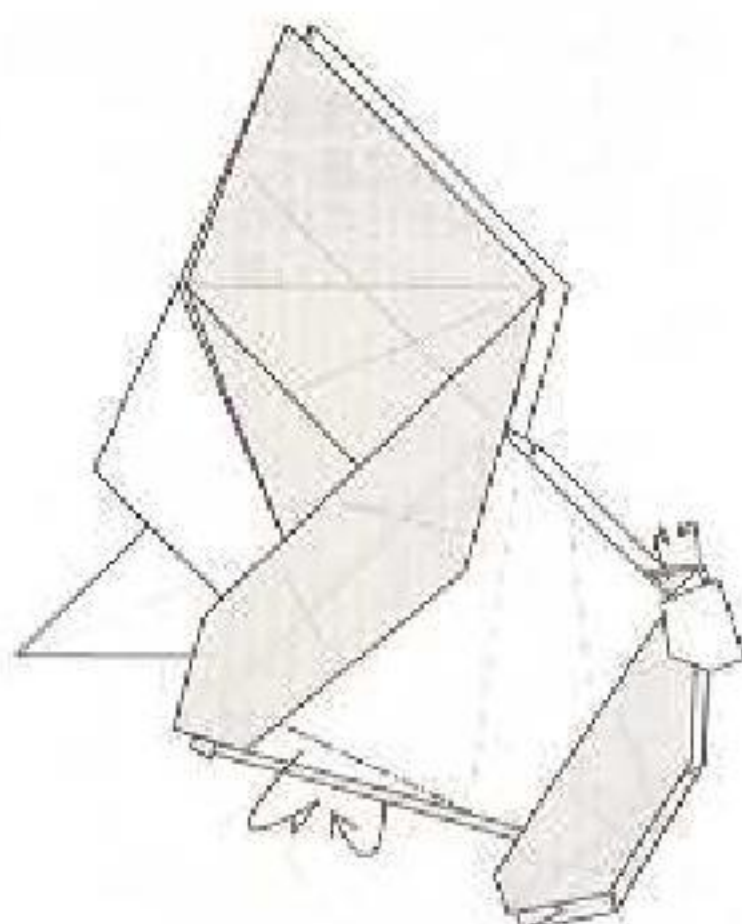
74. Pull out the side layers while swinging down.
カドを下へ折りながら、縁を開く。



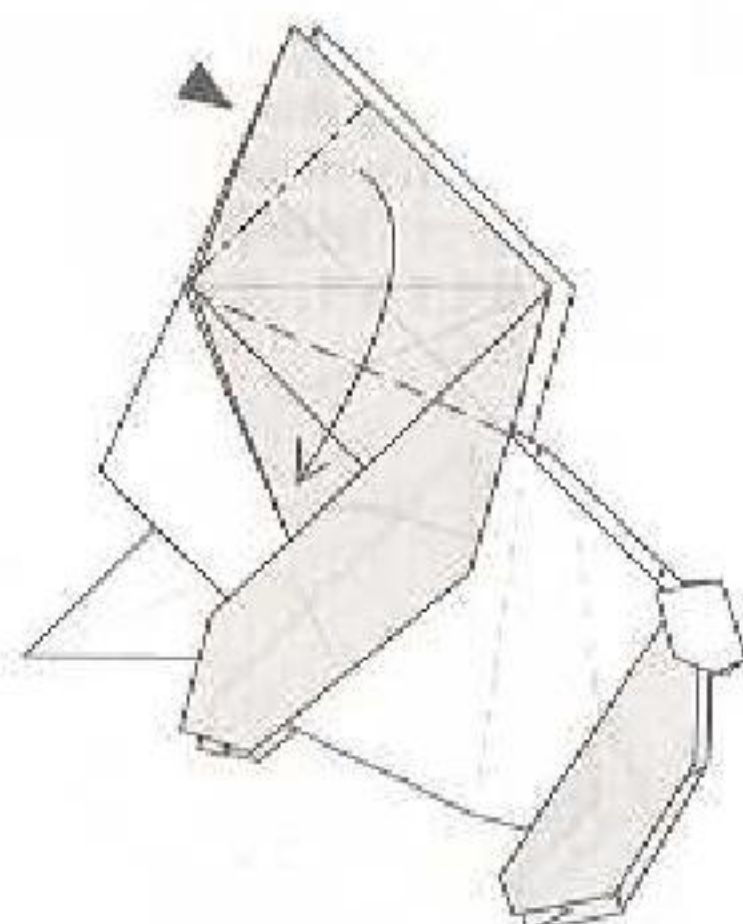
75. Mountain fold the indicated corners.
カドを図に示したように山折り。



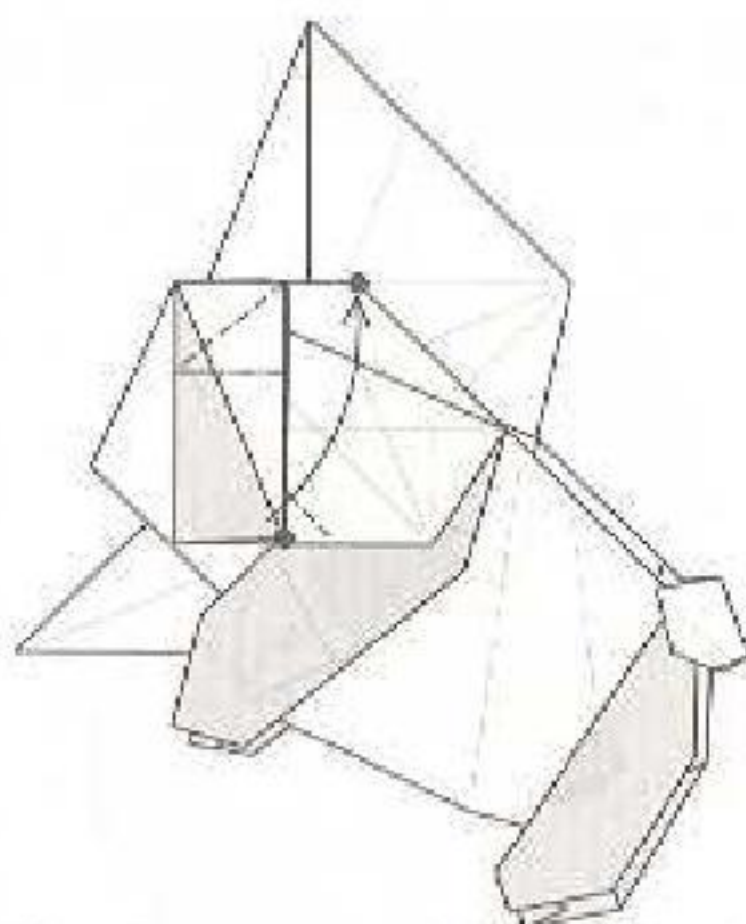
76. Mountain fold the tail in half, and mountain fold the feet as indicated.
尾を半分に折る。
足を図に示したように山折り。



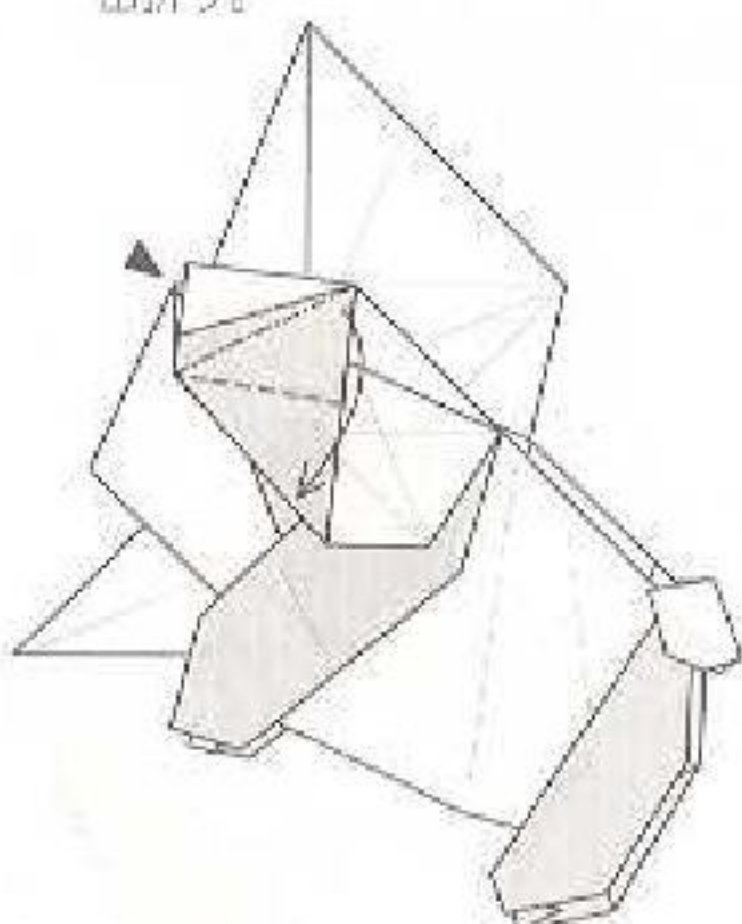
77. Tuck in the flaps at the tail, and swivel in the bottom of the body.
尾の根元の紙を内側に差し込む。
胴体の縁を引き寄せるように山折り。



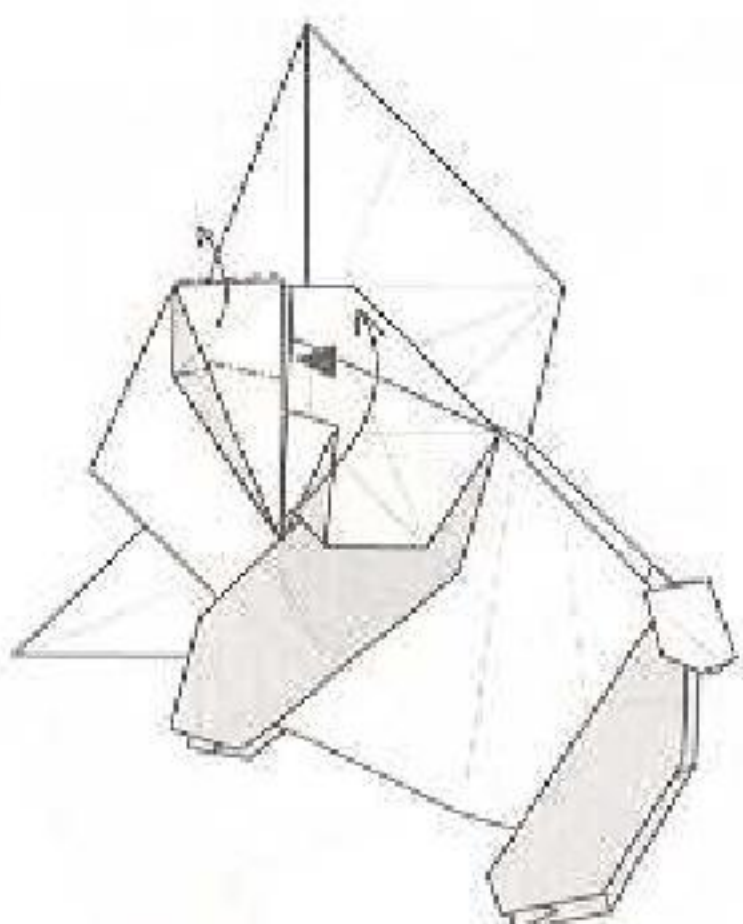
78. Squash fold the top flap.
開いてつぶすようにカドを折る。



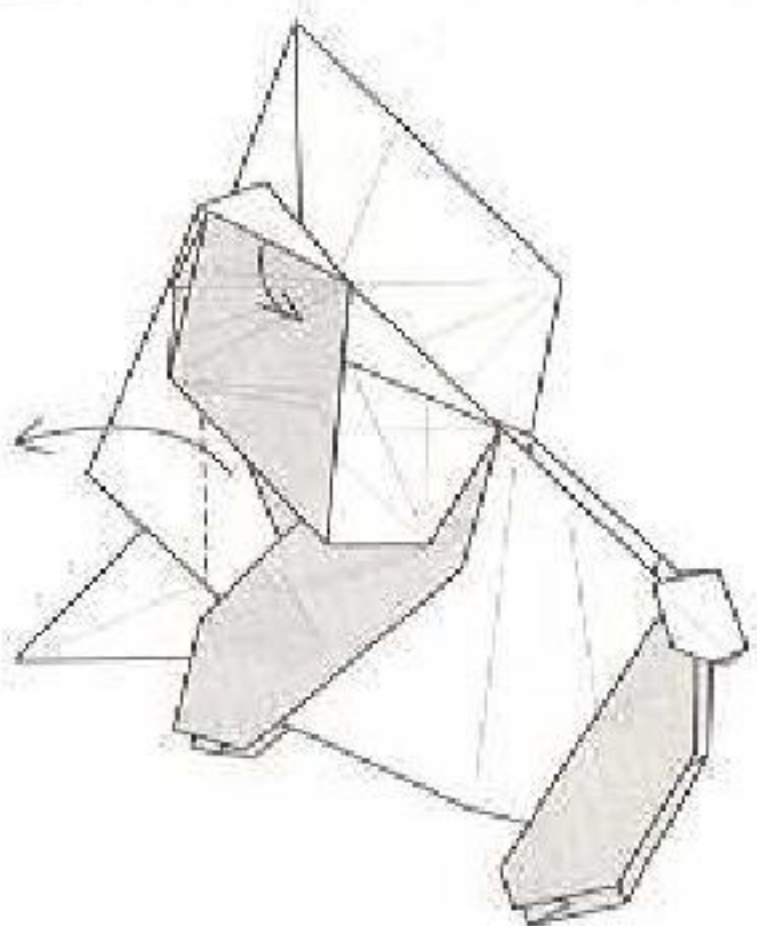
79. Form a squash fold, such that the indicated points meet.
●を含ませて開いてつぶすように折る。



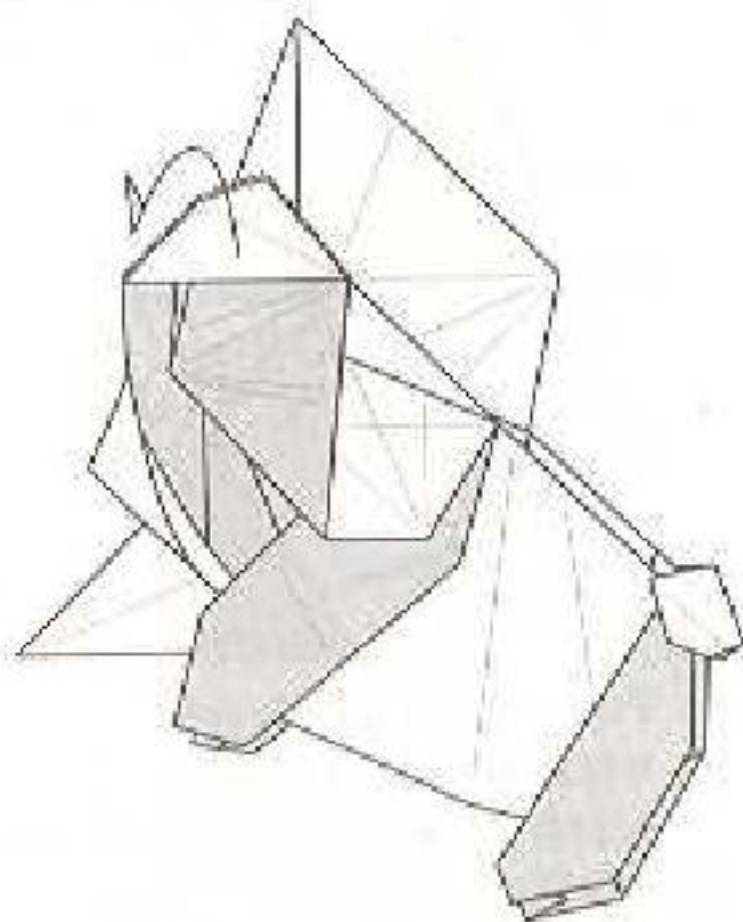
80. Squash the corner down as far as possible.
カドを開いてつぶすように下へ折る。



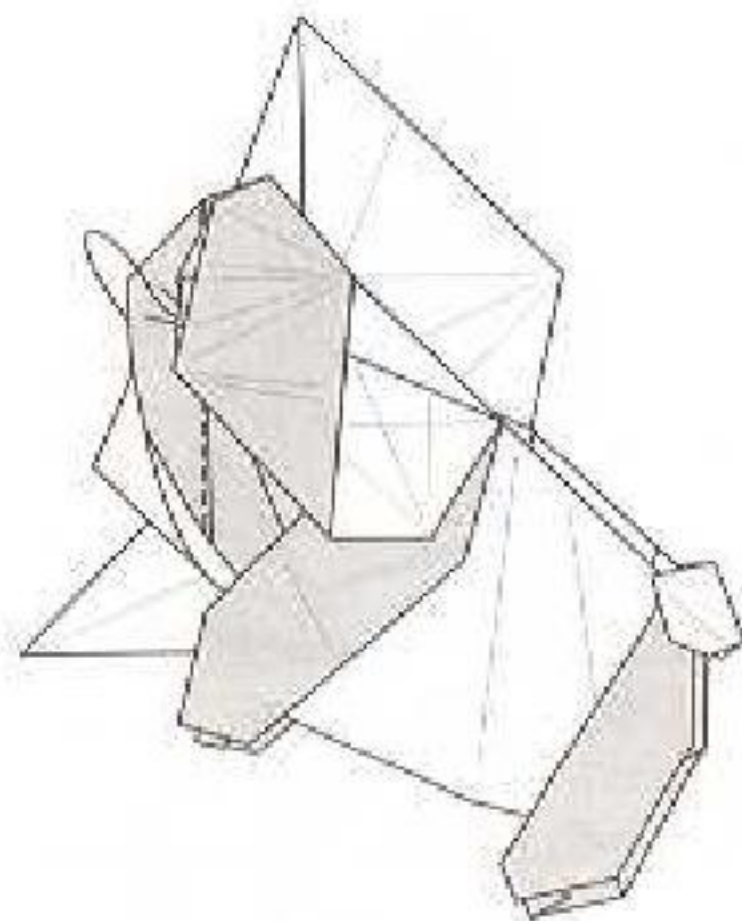
81. Spread apart the center ridge, squashing the flap upwards.
カドを上へ引き出すように開いてつぶす。



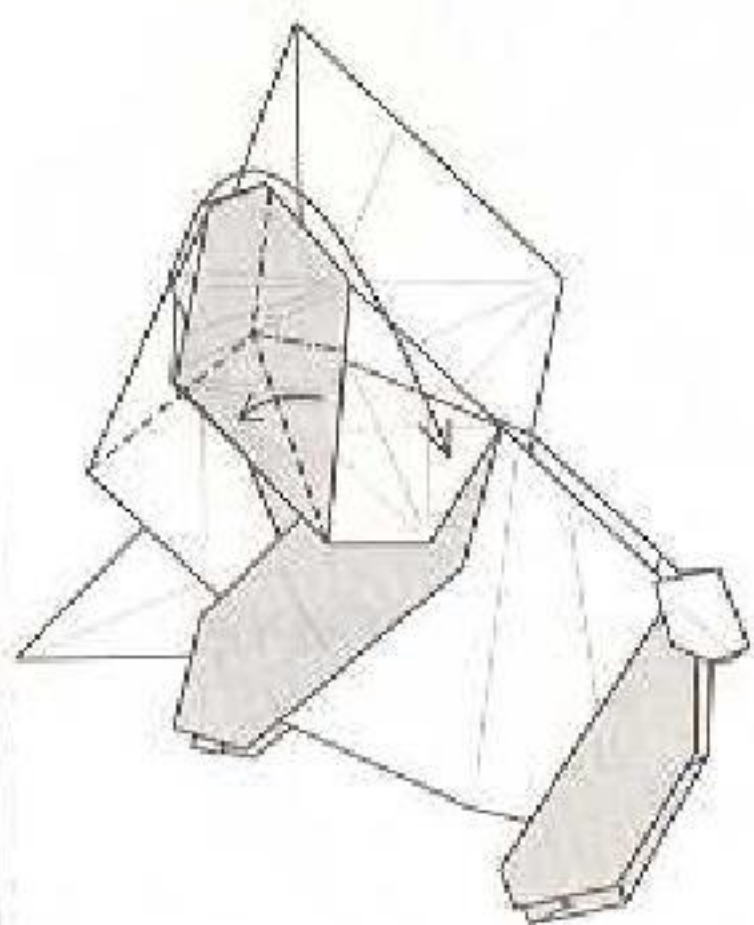
82. Pull out the trapped paper while valley folding the flap at the left (the bottom will not lie flat).
内側に隠れている紙を引き出し、カドの縁をずらす。平らにはなりません。



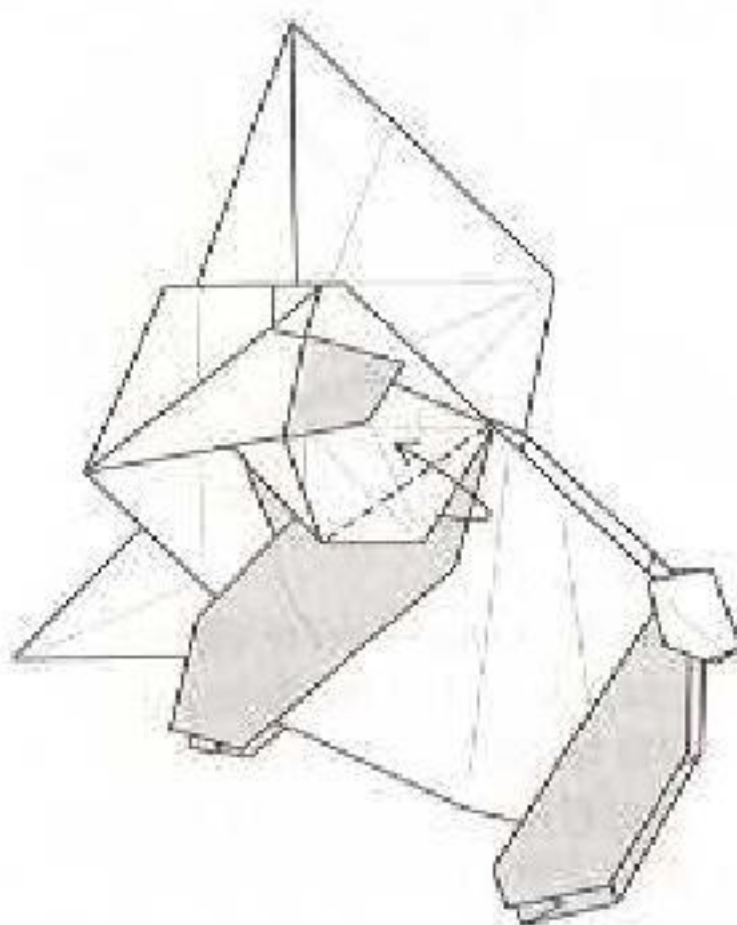
83. Wrap around a single layer.
カドの紙を裏表逆にし、色の面を表に出す。



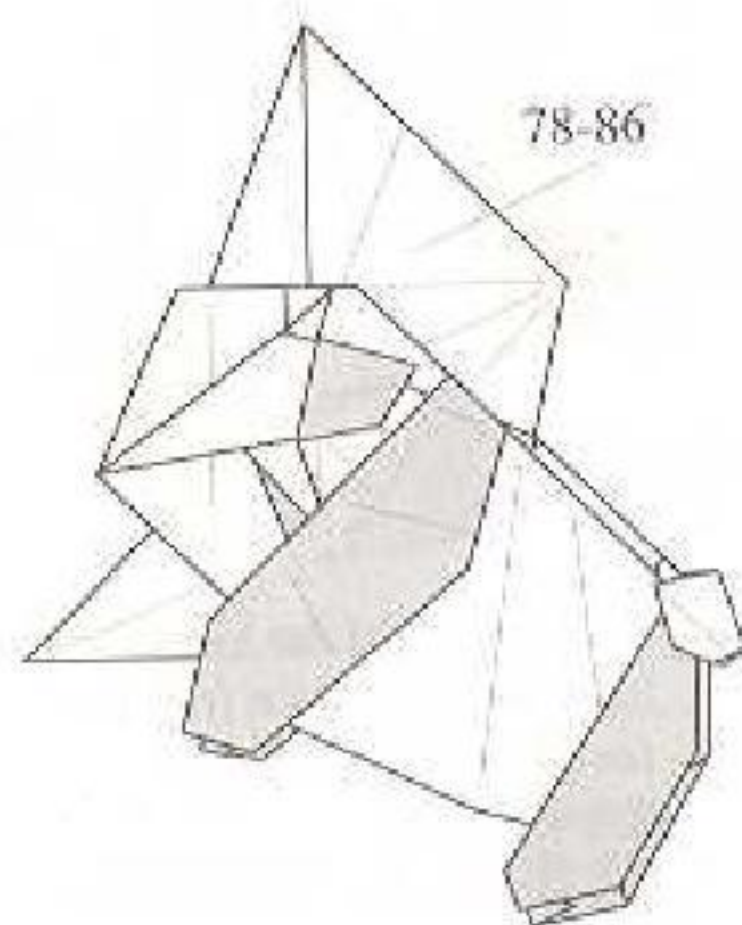
84. Flatten, by tucking the flap beneath all of the layers.
一番下の色の層を内側に差し込んで平らに折りたたむ。



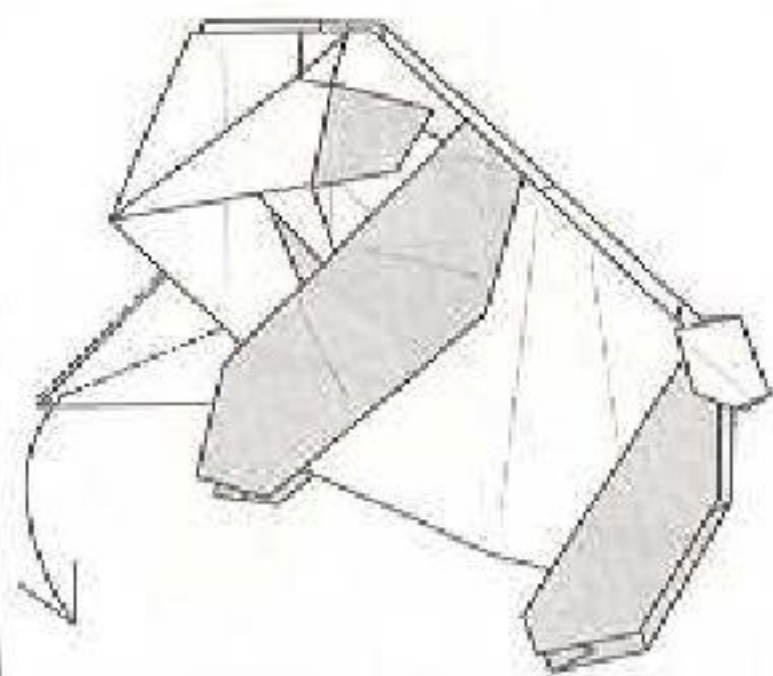
85. Valley down while incorporating a reverse fold.
中割り折りのようにしてカドを下へ折る。



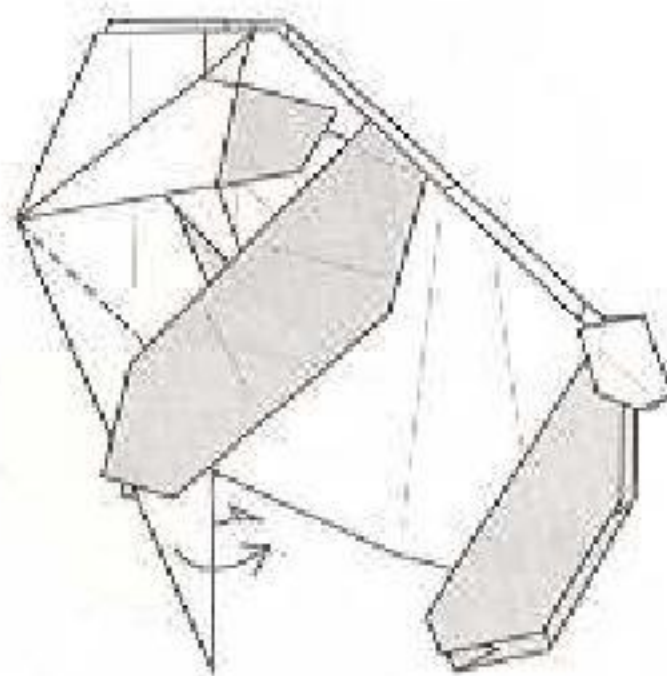
86. Wrap the colored portion around to the surface.
色の面を上へ出す。



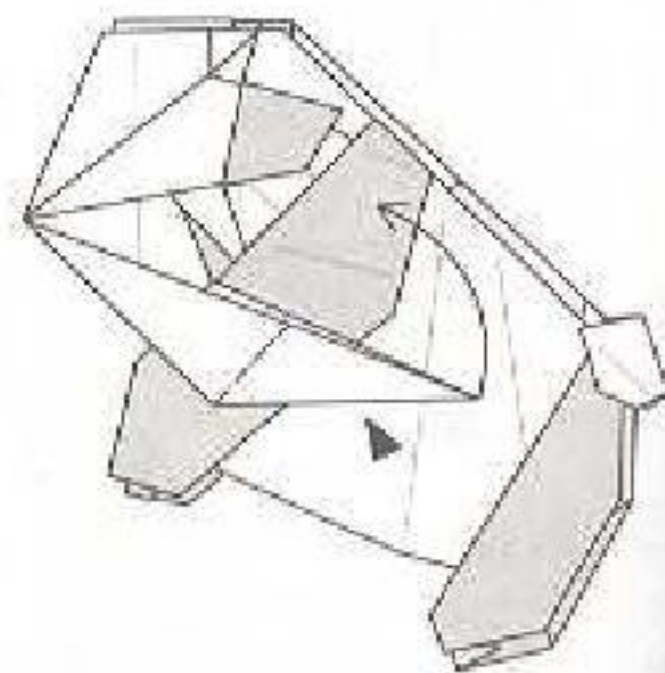
87. Repeat steps 78-86 behind.
裏面も78-86と同様に折る。



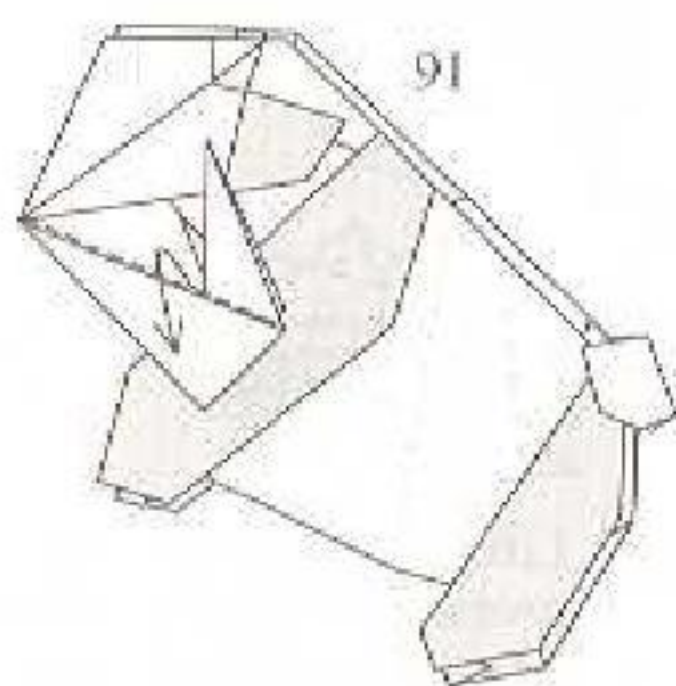
88. Stretch the point downwards.
カドを下へ引き伸ばす。



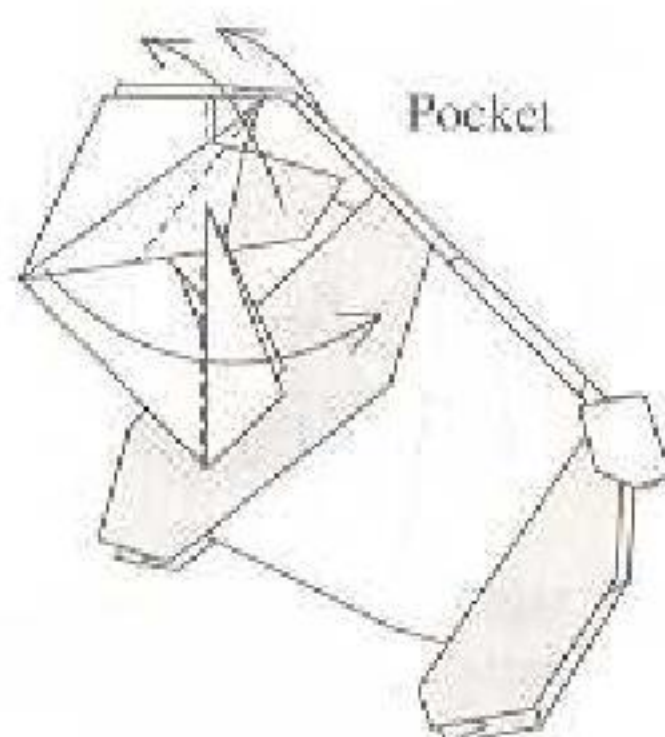
89. Outside reverse fold, allowing the flap to lie on the surface.
かぶせ折り。カドは表側に出す。



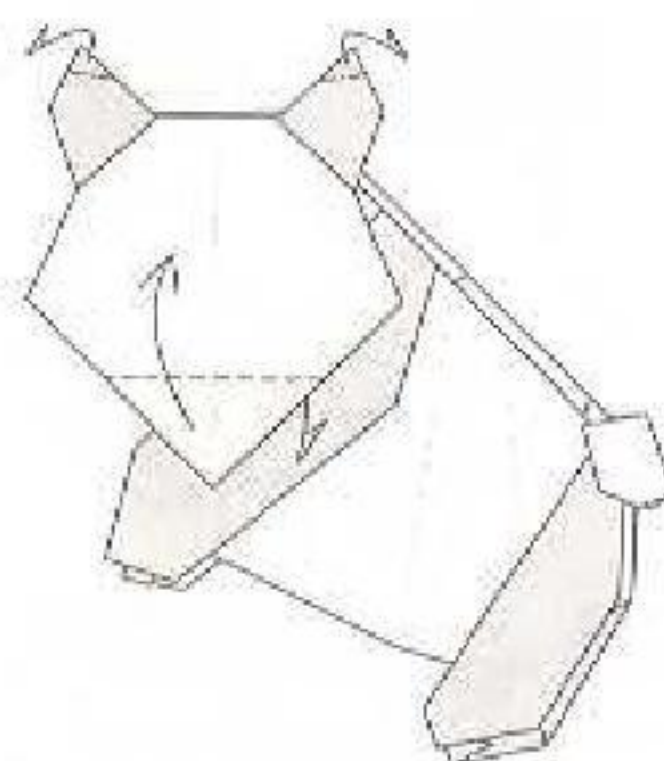
90. Reverse fold upwards.
中割り折り。



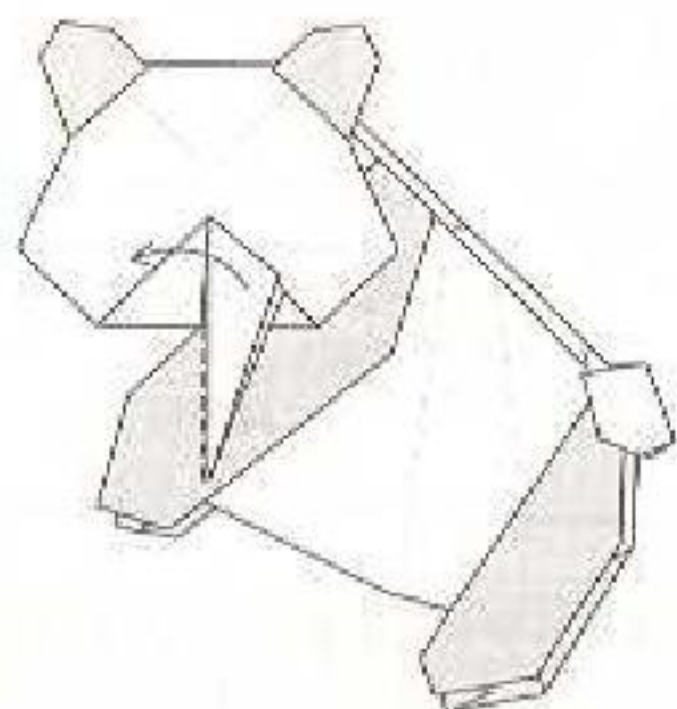
91. Wrap a single layer around.
Repeat on the other side of
the flap.
内側の紙を表側に引き出す。
裏側も同様に折る。



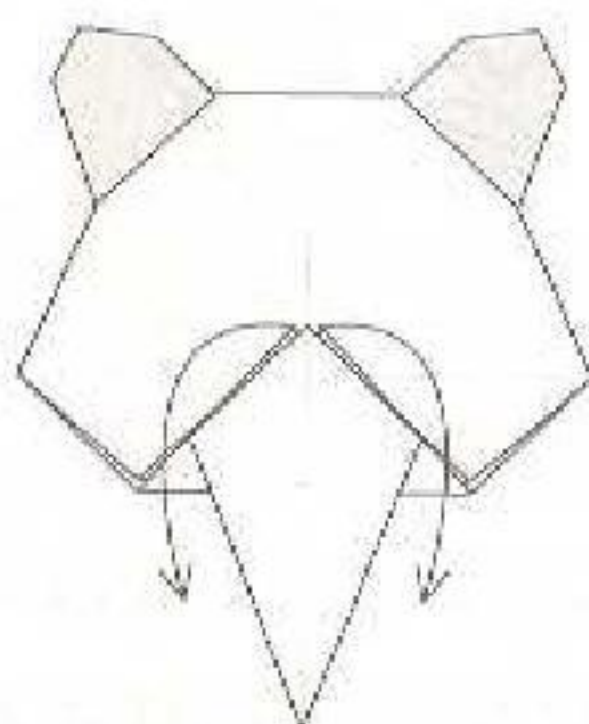
92. Open out the face, while
pulling the ears up. Tuck the
corners of the head into the
indicated pockets.
顔を開く。耳を上へ折る。
顔の上側のカードを図に示した
隙間に差し込む。



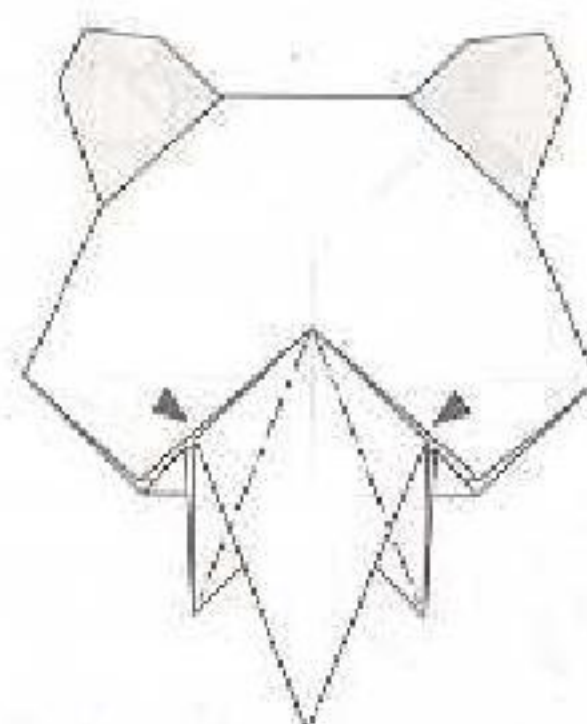
93. Flip the hidden flap as
indicated. Mountain fold the
corners of the ears.
後ろ側に隠れているカードを
回転して前に出す。
耳の先を山折り。



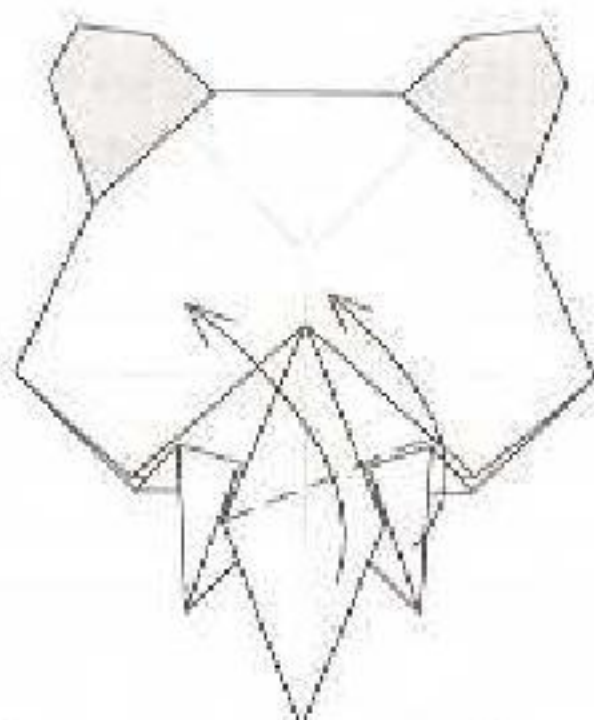
94. Flip over one layer.
紙を1枚左へ折る。



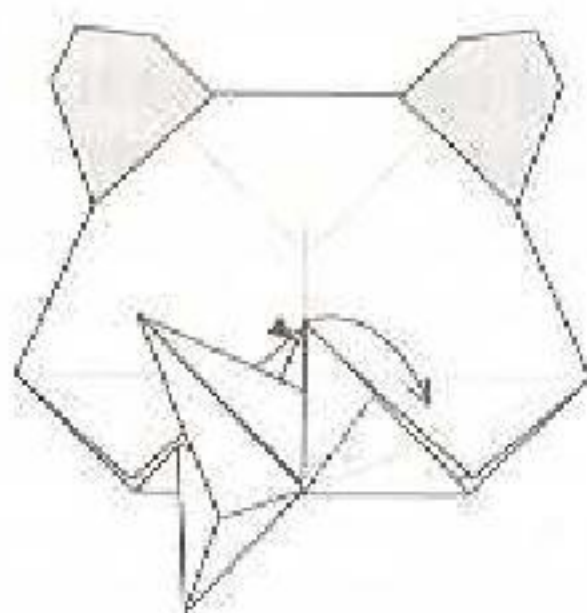
95. Reverse fold the points
straight down.
中割り折りでカードを下へ折る。



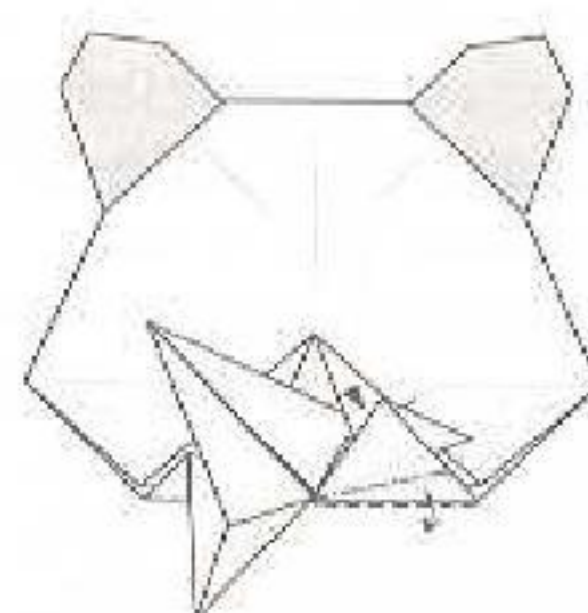
96. Open sink along the angle
bisectors.
カードを二等分するように
込め折り(open sink)。



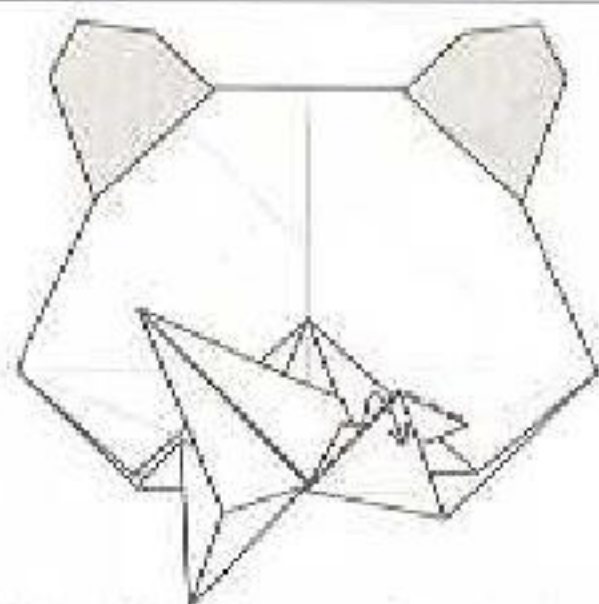
97. Swing up the two flaps.
カードを2枚上へ折る。



98. Reverse fold along the angle
bisector.
カードを二等分するように
中割り折り。

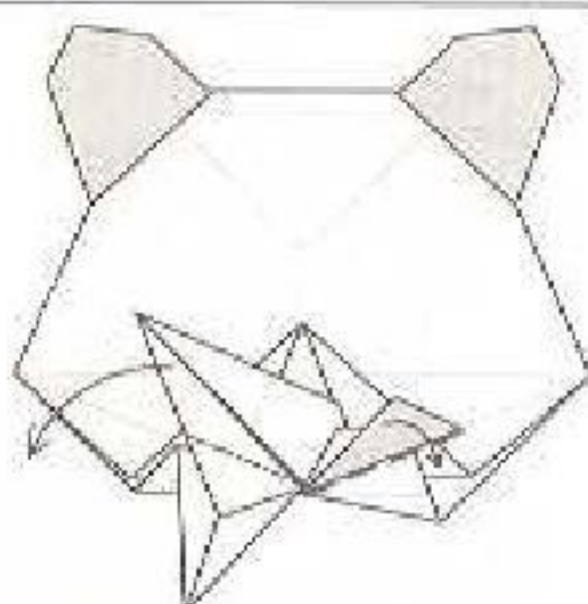


99. Slide some paper down.
紙をずらす。



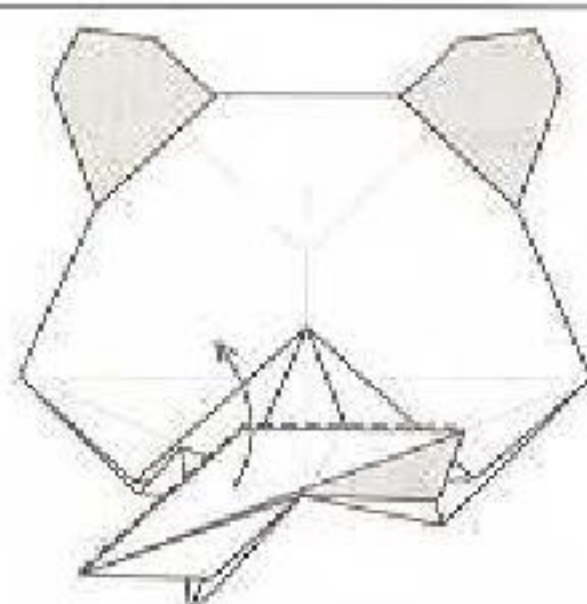
100. Wrap around a single layer.

カドの紙を裏返して色面を出す。



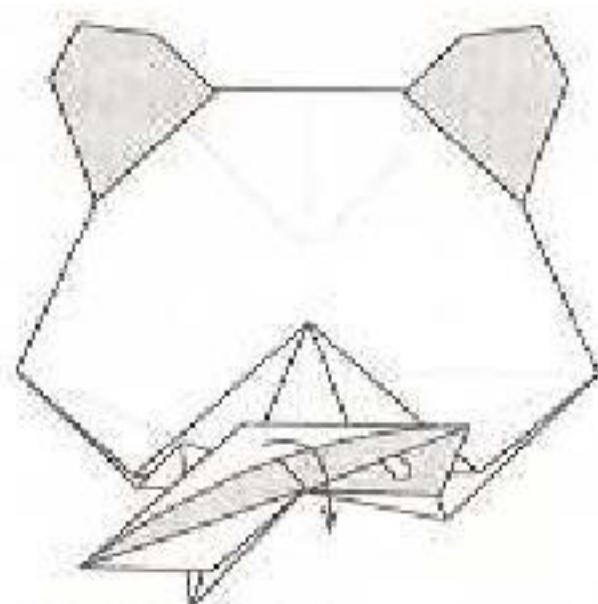
101. Valley down the colored section. Pull the point to the side, releasing a pleat.

谷折りて色の部分を下へ折る。中央のカドを左へずらして段折りを開く。



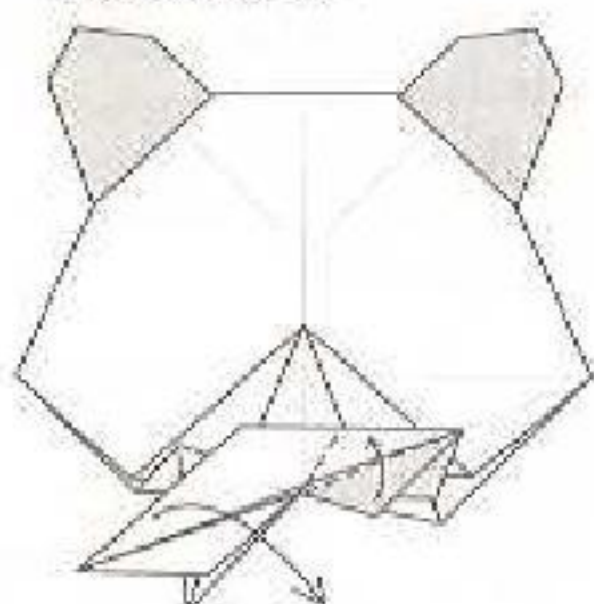
102. Lift up the top layer to reveal the colored portion.

一番上の紙を開いて色面を出す。



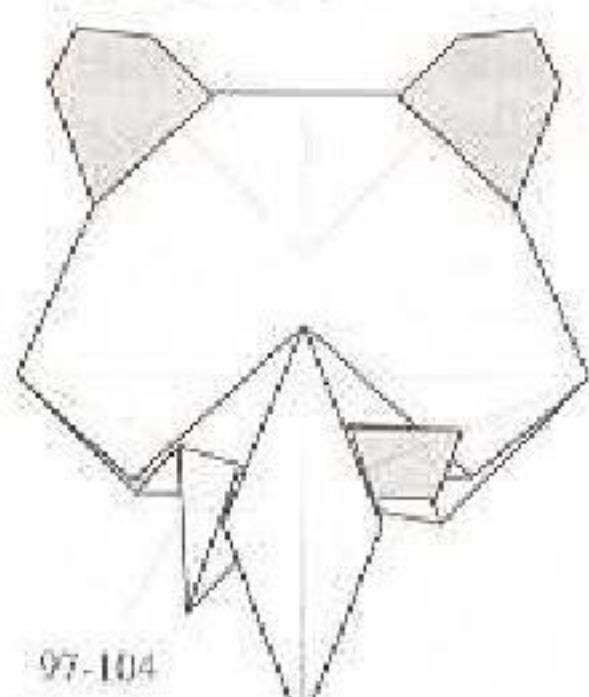
103. Unsink, and then close the top flap.

内側のカドを引き出して閉じる。



104. Valley the colored flap, and swing the center flap back down.

谷折りて色のカドを上へ折って、白のカドを下へ折る。



97-104

105. Repeat steps 97-104 in mirror image.

左側も97-104と同様に折る。



Origami ("Fold-Creases")

東京コンベンション10周年を迎えて

Celebrating the 10th Year of Origami Tanteidan Convention

猪ノ口洋子

Inoguchi Yoko

静岡コンベンションレポートでメジャーデビュー?して以来、「私なんか書いていいのかなあ?」と自問自答しながら、久しぶりに書かせて頂きます。

今年で折紙探偵団コンベンション、10回を迎えるんですね〜(注、感慨深げ)。ほうすの皆さん、スタッフの皆さん、本当にお疲れ様です。そして、ありがとうございます。皆さんのお陰で、コンベンションではいつも楽しい時間を過ごす事が出来ます。

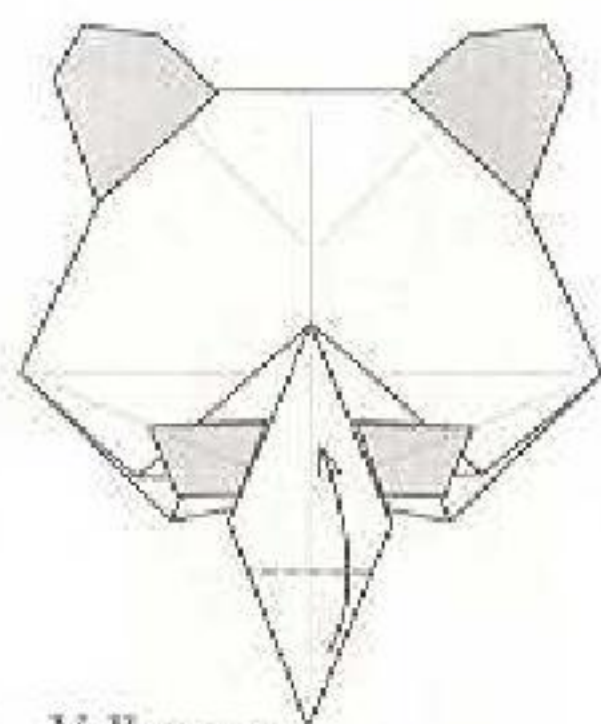
コンベンションを始めた頃、地区の夏休み子供教室で折り紙を担当していて参加できず、今でも残念

で、心残りに思っている事が一つだけあります。それは、コンベンションで外国の折り紙作家を招待している「吉野一生基金」の名前の由来でもある吉野さんに、とうとう会うことができなかったことです。恐竜の全身骨格等で有名な吉野さんの作品は、コンプレックス系の好きな私にとって、とても衝撃的なものでした。「こんな作品考える人っていったいどんな人だろう?頭の中っていったいどんな構造になっているんだろう?」ってよく思ったものでした。しかし、今ではそんな人達が山のように出現しちゃって……。

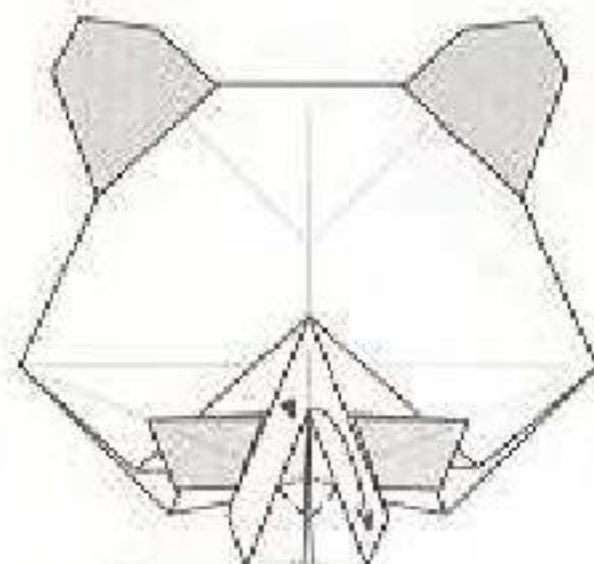
初めてコンベンションに参加した時の感動は、今でも忘れられないですね。折

り紙愛好家にとって、いつもは紙面上でしか会えない雲の上のような人達に直接折り紙を指導してもらって、しかも話すことが出来るんですよ。おばさんとしては、もう大感激ですよ。その時小学生だった娘が、初めて山口さんにお会いした時私に言った言葉。これも忘れられないですね。えっ?何で言ったかですか?書いていいのかなあ、「わー、〇〇さんみたい。」〇の中は漢字一文字、ひらがな二文字、あとはご想像にお任せします。

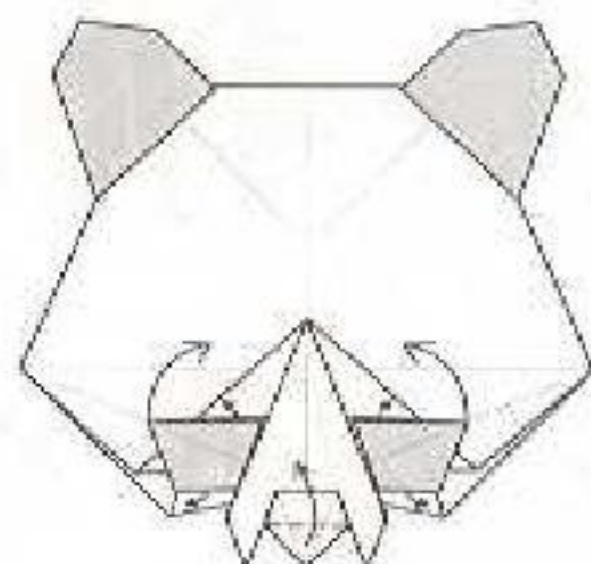
では、また、コンベンションでお会いしましょう。答えはその時にでも……。



106. Valley up.
カドを上へ折る。

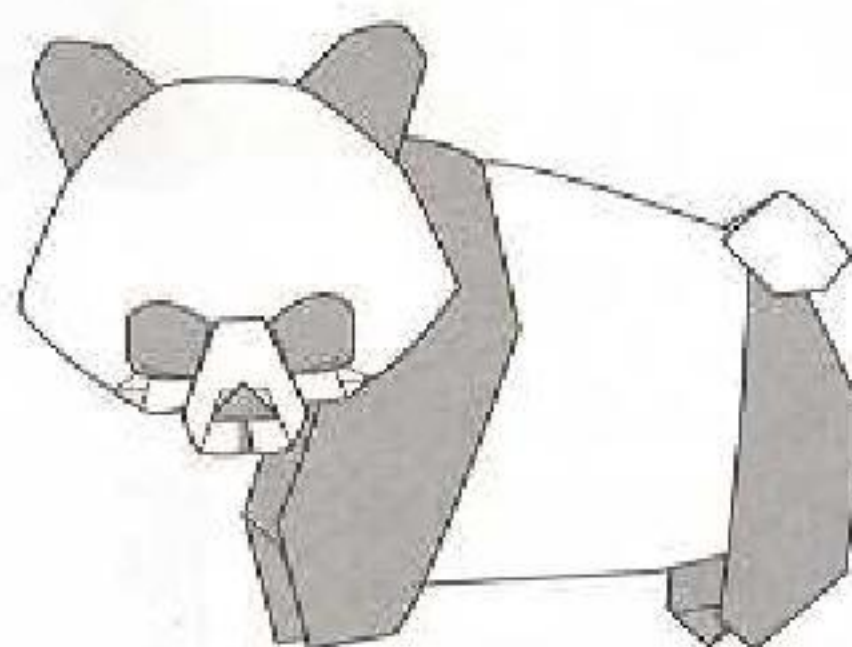
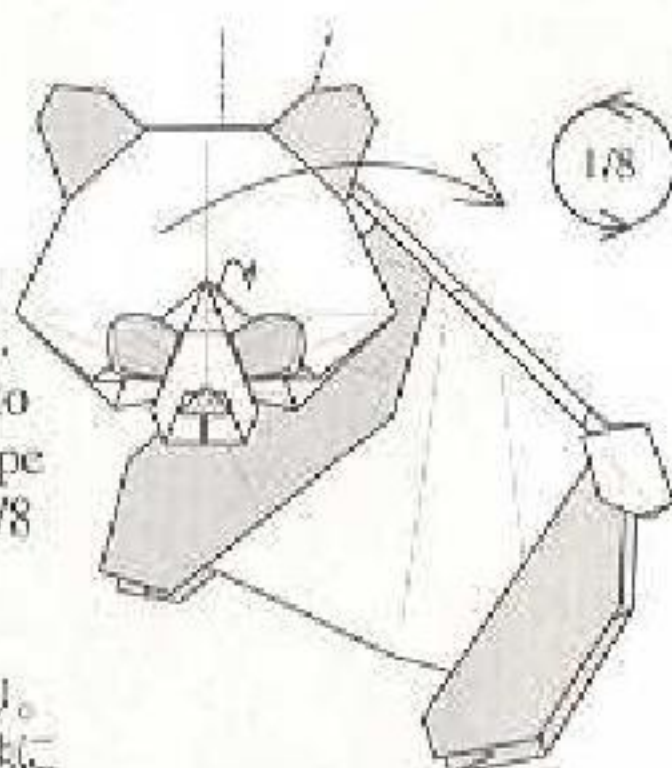


107. Squash fold.
カドを開いてつぶすように折る。



108. Valley the nose, and pull up the eyes, spreading apart the layers.
鼻を谷折り。目を紙の層を開いて吊り上げる。

109. Mountain fold between the eyes. Pleat the head into position, and shape to taste. Rotate 1/8 of a turn.
目の間を山折り。首のところで段折り。形を整える。足を地に付ける。



110. Completed Giant Panda
出来上がり。
©1994 Marc Kirschenbaum

折紙三昧

Origami-Zanmai (This Origami and That)

第10回記念折紙探偵団国際コンベンション 10th Anniversary Origami Tanteidan International Convention

いよいよ10回目の折紙探偵団コンベンションが近付いてきました。参加申し込みも、この原稿を書いている時点で既に300名を超えようとしています。きれいなポスターも仕上がって、テンションがますますあがっていきます。

10年前、OrigamiUSAのコンベンションを模してスタートした折紙探偵団コンベンションは、文京区民センターの会場が意外に安く借りられることに偶然気がついて、「取りあえずやってみよう」とはじめたもの。当時の「折紙探偵団新聞」を読み返すと「ミニ」コンベンションと表してスタートしています。OrigamiUSAのコンベンションが600名くらいが集まると知ってのことですから、ミニと言いたくなるのもうなずけます。第3回からは、東洋大学

キャンパスをお借りできるようになり(第5回は東京成徳短期大学)、ついに10回目の今大会は400名の参加を見るのはほぼ間違いない状況となってきました。第3回コンベンションから始まった吉野一生基金による海外作家招待者も、今回の4名を加えると15名となります(第6回コンベンションからは毎年2名招待)。

例年の2倍近くの参加者を想定して、今大会は教室数も例年の2倍程度を予定、プログラム作りも大変です。学会業務、コンベンション準備、ポスター制作などなど実質的にかなりの労力を傾けていただいているおりがみはうスタッフの松浦さん(一般参加者時代から実はコンベンション管轄)や神谷さん(10年前は中学1年生)には、学会評議員を代表してあらためて感謝いたし

ます。そしてなんと、この節目の大会を迎える今年は、そのおりがみはうオーナーであり学会評議員、事務局長の山口さんの選任の年でもあります。いつもアクティブで、えっいつの間にかという感じが、自身の作家活動を充実させつつ学会やコンベンションの切り盛りのエネルギー、思いの強さに敬服するしかありません。その求心力は海外の折紙愛好家をも魅了して、今大会の海外参加者予定者50名を超えそうです。

第10回折紙探偵団コンベンション、あっと驚く素敵な折紙三昧の3日間となるに違いありません。

西川誠司 Nishikawa Seiji
日本折紙学会 評議員代表

展開図折りに

Crease Pattern
Challenge!

挑戦

第32回

ガブリエル (第三作)

Gabriel (Version 3)

北條高史

Hojyo Takashi

Created : 2004.06.12

Paper Size : 79×79 cm

Height : 36cm



制作途中



展 開図内で、上側の左半分(灰色の折り線)を施してある部分)は、第二作のときの折り線を示しています(おまけです)。これを左右とも同様に折れば第二作の基本構造に、また右半分の白い部分をもとにすれば第三作の形状が得られます。クローズアップ記事本文とあわせて、どの部分に改善が施されているか比較してみるとおもしろいかもしれません。なお、用紙下部に関しては第二作・第三作とも共通の構造となっています。洞の段差を生み出す構造が、途中で表裏反転しているところにもご注目ください。

さて、図示されている折り線の通りに折ると平面的な状態にはならず、写真に示すような中途半端に開いた状態となります(写真は第三作のものですが、第二作でもほぼ同様のイメージです)。図中で灰色の丸を付けた部分(第二作では3か所、第三作では5か所)の周辺が、きちんと平面にたためない部分です。が、こうした部分は立体的になったままで、あまり気にしないで作業を続けてかまいません。写真の状態が得られたら各部をひねり出すように整形していきますが、この先はみなさん各自の工夫を加え、より魅力的な完成形を目指してみてください。

第二作	第三作
共通部分	

